

飲酒・喫煙・くすりの使用についてのアンケート調査(2013年)

通称：薬物使用に関する全国住民調査(2013年)

分担研究者 和田 清(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部長)
研究協力者 邱 冬梅(同研究部流動研究員)、嶋根卓也(同研究部室長)

研究要旨 わが国の飲酒・喫煙・医薬品をも含めた薬物使用・乱用・依存状況を把握するために、住民基本台帳から層化二段無作為抽出法(調査地点数：350)により選ばれた全国の15歳以上64歳以下の5,000人に対して、戸別訪問留置法による自記式調査を実施した。特に今回の2013年調査は、脱法ドラッグ乱用の拡がりについて全国レベルで調査したわが国初の調査となった。調査期間は2013年10月17日～10月27日である。回収数及び有効回答数は、2,948(59.0%)及び2,926であった。

【飲酒】① 生涯経験率(これまでに1回でも飲酒したことのある者の率)は、男性で94.1%(2011年調査では95.2%。以下同じ)、女性で94.5%(94.6%)、全体で94.3%(94.9%)であった。(以上、補正值)② 1年経験率(この1年間で1回でも飲酒したことのある者の率)は、男性で85.7%(88.9%)、女性で79.1%(81.9%)、全体で81.9%(85.3%)であった。(以上、補正值)③ 飲酒の機会、禁酒経験等、わが国の飲酒はライフ・サイクルと深く結びついており、飲酒問題を論じる際には、飲んだことがあるかないかを基準にしても、さほど意味がなく、機会、頻度、量等の質的要因を考慮する必要があることが示唆された。

【喫煙】① 1年経験率は、男性で39.4%(43.4%)、女性で16.5%(16.2%)、全体で27.2%(29.3%)であった。この1年経験率は過去最低の記録であった。(以上、補正值)② 年代別に見た生涯経験率、1年経験率共に、10歳代、20歳代での経年的減少傾向が顕著であった。

【医薬品】① この1年間に1回でも使用したことのある医薬品としては、①風邪薬65.1%、②鎮痛薬60.8%、③目薬49.5%、④湿布薬45.1%、⑤胃腸薬40.3%の順で頻度が高かった。② 鎮痛薬、精神安定薬、睡眠薬の1年経験率は、鎮痛薬で61.4%(58.6%)、精神安定薬で6.2%(5.6%)、睡眠薬で5.6%(5.6%)であった(補正值)。医薬品を常用(週3回以上)している者の割合は、鎮痛薬で3.6%(2.4%)、精神安定薬で2.9%(3.0%)、睡眠薬で2.1%(1.9%)であった。④ 以上より、鎮痛薬、精神安定薬、睡眠薬の使用に関しては、明かな問題点は見あたらなかったが、今後もモニタリングが必要である。

【違法薬物】①この1年間で、身近に違法薬物を乱用したことがある人を知っている率は、高い順に、大麻0.9%、有機溶剤0.8%、脱法ドラッグ0.8%、覚せい剤0.5%、MDMA0.1%の順であった。2011年調査までは、この割合が最も高い薬物は有機溶剤であったが、今回の2013年調査で大麻が初めてトップとなった。同時に、脱法ドラッグが有機溶剤と同じ割合で2位として記録されたことも、今日的薬物乱用状況を反映していると推定できる。② 生涯被誘惑率(これまでに1回でも誘われたことのある者の率)は、大麻で2.7%(2.0%)、有機溶剤で2.6%(2.9%)、覚せい剤で0.9%(0.9%)、MDMAで0.4%(0.2%)、コカインで0.3%(0.2%)の順に高かった。ヘロインのそれは、統計誤差内であった。また、これら6種のうちのいずれかの薬物の使用への生涯被誘惑率は4.8%(4.6%)であり、有機溶剤を除いたいずれかの生涯被誘惑率は3.3%(2.8%)であった。この生涯被誘惑率は、2011年まで一貫して、有機溶剤>大麻>覚せい剤>MDMAないしはコカインの順に高かったが、今回の2013年調査で大麻が初めて第一位となった。また、対2011年で見ると、有機溶剤で低下し、覚せい剤で変化がなく、それ以外の薬物では微増傾向を示していた。経年的観点からみると、ほとんどの薬物で生涯被誘惑率が横ばい傾向である中で、唯一、大麻だけが確実に漸増傾向を示していた。③ 生涯経験率は、有機溶剤で1.9%(1.6%)、大麻で1.1%(1.2%)、覚せい剤で0.5%(0.4%)、MDMAで0.3%(0.1%)、脱法ドラッグで0.4%であった。コカイン、ヘロインでは統計誤差内であった。また、これらのうちのいずれかの薬物の生涯経験率は、2.5%(2.7%)で、有機溶剤を除いたいずれかの薬物の生涯経験率は1.3%(1.5%)であった。有機溶剤と脱法ドラッグを除いたいずれかの薬物の生涯経験率は1.3%であった。

対2011年で見ると、大麻、覚せい剤で変化がなく、有機溶剤、MDMAで微増していたが、いずれかの薬物、および、有機溶剤を除いたいずれかの薬物で微減していた。経年的観点から見ると、ほとんどの薬物で生涯経験率が横ばい傾向である中で、唯一、大麻だけが確実に漸増傾向を示していた。それぞれの薬物の生涯経験者の平均年齢は、有機溶剤で43.8歳と最も高く、有機溶剤の生涯経験率は「過去の経験」の反映であることが強く示唆された。それ以外の薬物の生涯経験者の平均年齢は40歳代初めがほとんどであったが、脱法ドラッグのみ33.8歳であり、脱法ドラッグの乱用が現時点での重要問題であることが強く示唆していた。④ 脱法ドラッグ乱用経験者の75%の者には大麻の乱用経験もあり、50%の者には有機溶剤乱用経験、33.3%の者には覚せい剤の乱用経験が認められた。生涯脱法ドラッグ乱用経験者がこれまでに使用した脱法ドラッグは、男女の全体では、「ハーブ系」58.3%、「リキッド系」50.0%、「パウダー系」33.3%であった。男性では、「ハーブ系」62.5%、「リキッド系」37.5%、「パウダー系」37.5%であったが、女性では「リキッド系」75.0%、「ハーブ系」50.0%、「パウダー系」25.0%であった。男性では脱法ドラッグに大麻類似の効果を期待し、女性では覚せい剤類似の効果を期待する者が多いと推測したいところであるが、そもそも調査対象の人数が少なく、推測の域を出ない。⑤ 従来通り、薬物の呼称には年代による違いがあることが再確認された。この知見は、薬物乱用防止のための啓発活動や教育に生かしてゆく必要がある。⑥ 違法薬物の入手可能性については、2011年調査まで、有機溶剤のみが入手可能群が入手不可能群を上回っていた（生データ）が、2013年調査では、初めて、すべての薬物について、入手不可能群の数が入手可能群を上回る結果であった。⑦ わが国の薬物乱用・依存状況が多くの人に比べて良好を保ってきた背景には、遵法精神の高さがあると思われるが、2013年調査でも、その傾向は保たれていた。⑧ 違法薬物乱用防止の教育・啓発が進み、同時に、取締の強化が図られれば図られるほど、回答者側での「正直に答えたくない」という心理的バイアスが高くなり、本調査のような方法論による調査の結果は、実際の状況よりはますます低い結果を示す特質にあることは否めない。毎回のことではあるが、今日的状況の把握には、1年被誘惑率、1年経験率が知りたいところではあるが、毎回、統計誤差内となってしまう。しかし、この種の調査では本研究で採用した調査法が国際的に認知された調査法であると同時に、それ以外の調査方法が事実上不可能なことも国際的現実である。地味ながら、今後も本調査を継続してゆく必要がある。⑨ **【結論】** 今回の2013年調査は、2011年下半期に突如として社会問題化した脱法ドラッグの乱用の拡がりを調べる、わが国初の全国調査となった。薬物乱用の生涯誘惑率、生涯経験率は、経年的視点からは、ほとんどの薬物で「横ばい」傾向を示す中で、唯一、大麻だけが生涯誘惑率、生涯経験率ともに確実な漸増傾向を示していた。特に生涯被誘惑率は、2011年まで一貫して、有機溶剤>大麻>覚せい剤>MDMAないしはコカインの順に高かったが、今回の2013年調査で大麻が初めて第一位となった。このことは、今日の大麻乱用の拡がりを反映しているようである。生涯経験率は、有機溶剤>大麻>覚せい剤>MDAM>脱法ドラッグの順に高いが、有機溶剤の生涯経験率は「過去の経験」であり、現時点で最も乱用されている薬物は大麻であると考えられる。今回初めて脱法ドラッグ乱用の拡がりを調べたが、脱法ドラッグ以外の薬物の生涯経験者の平均年齢は40歳代初めがほとんどであるのに対して、脱法ドラッグ生涯経験者のみが33.8歳であり、脱法ドラッグの乱用が現時点での重要問題であることが強く示唆していた。脱法ドラッグの害知識の周知率は高くなく、この脱法ドラッグ乱用に対する啓発活動、教育活動と大麻乱用対策が今日的急務であると考えられる。

A. 研究目的

薬物乱用・依存問題は各国にとって重要な問題である。戦後のわが国での歴史は、覚せい剤、有機溶剤の乱用・依存問題との戦いであり、特に覚せい剤の三度にわたる乱用期を基準に考えられてきた歴史がある。終戦後という混乱した時代に発

生した第一次覚せい剤乱用期、オイル・ショックに象徴される経済不況による第二次覚せい剤乱用期を経て、1990年頃からは、国際化の実質化としての乱用薬物の多様化が顕著となり、バブル経済の破綻後の1995年以降は、第三次覚せい剤乱用期となった⁹⁾¹⁴⁾。しかし、第三次覚せい剤乱用期が

表1 地区・都市規模による調査票本数と地点数－上段：標本数、下段：(地点数) 2013年

	大 都 市						20万 以上 の市	10万 以上 の市	10万 未満 の市	郡部 (町 村)	計
	東京都 区部	横浜	川崎・ 京都	千葉・ 名古屋 ・大阪	さいたま ・静岡・ 神戸・広 島・北九 州	その 他の 大都 市					
北海道						79 (6)	24 (2)	35 (3)	38 (3)	38 (3)	214 (17)
東北						43 (3)	93 (6)	45 (3)	107 (7)	68 (5)	356 (24)
関東	365 (24)	149 (10)	60 (4)	38 (3)	51 (4)	29 (2)	407 (27)	307 (20)	231 (15)	77 (5)	1714 (114)
北陸						32 (3)	61 (4)	23 (2)	73 (5)	20 (2)	209 (16)
東山							40 (3)	33 (3)	86 (6)	33 (3)	192 (15)
東海				88 (6)	28 (2)	31 (2)	115 (8)	113 (8)	101 (7)	33 (3)	509 (36)
近畿			55 (4)	103 (7)	60 (4)	33 (3)	250 (17)	108 (7)	156 (10)	45 (3)	810 (55)
中国					46 (3)	27 (2)	63 (5)	70 (5)	55 (4)	21 (2)	282 (21)
四国							60 (4)	20 (2)	47 (3)	23 (2)	150 (11)
北九州					37 (3)	60 (4)	67 (5)	37 (3)	91 (6)	39 (3)	331 (24)
南九州						29 2	53 (4)	40 (3)	71 (5)	40 (3)	233 (17)
計	365 (24)	149 (10)	115 (8)	229 (16)	222 (16)	363 (27)	1233 (85)	831 (59)	1056 (71)	437 (34)	5000 (350)

表2 回収数(率)

調査対象数	5,000
有効回収数(率)	2,948 (59.0%)
調査不能数(率)	2,052 (41.0%)
不能内訳	
転居	236 (4.7%)
長期不在	80 (1.6%)
一時不在	647 (12.9%)
住居不明	71 (1.4%)
拒否	934 (18.7%)
その他(家族記入)	38 (0.8%)
その他(上記以外)	46 (0.9%)

表3 調査不能ケースの性別・年代別内訳(%)

	男性	女性
	1,065人(51.9%)	987人(48.1%)
15～19歳	3.5	3.3
20歳代	9.0	8.9
30歳代	11.3	11.2
40歳代	12.9	10.9
50歳代	9.2	7.4
60歳以上	6.0	6.3

表4 地区別標本数と回収不能数（率）

	標本数	回収不能数	回収不能率
北海道	216	100	46.3%
東北	358	122	34.1%
関東	1706	788	46.2%
北陸	208	55	26.4%
東山	191	60	31.4%
東海	508	190	37.4%
近畿	813	389	47.8%
中国	286	96	33.6%
四国	152	48	31.6%
北九州	330	128	38.8%
南九州	232	76	32.8%
総計	5000	2052	41.0%

始まって、既に20年近くが経過しており、その間の乱用状況の変化は著しく、特に最近では、「使うと捕まる薬物から、使っても捕まらない薬物へのシフト」が著しく²⁰⁾、その象徴は2011年下半期から急激に社会問題化した「脱法ドラッグ」問題である²²⁾。

薬物乱用・依存問題は時代・社会の変化と共に刻々と変化しており、その対策もその時々の実情に即したものでなければならない。そのためには、乱用・依存の実態を経年的に把握する多面的な疫学的調査が必須である。しかも、医薬品が乱用されることもあることを考えると、違法薬物のみならず医薬品をも含めた使用の実態把握が必要である。

本調査は、薬物使用・乱用に関して存在する幾つかの経年的全国調査の中の一つであるが、全国の一般住民を対象とした薬物乱用・依存の実態把握調査としては、わが国唯一・最大のものである。

この住民調査は、厚生労働科学研究費補助金により実施されてきた。1992年には千葉県・市川市（対象：1,100人）¹⁾で、1993年には東京圏、大阪圏（対象：3,000人）²⁾、1994年には東京圏、大阪圏、北九州圏（対象：3,300人）³⁾に対して実施され、その成果のもとで、1995年には、わが国初の「薬物使用に関する全国住民調査」（対象：5,000人）⁴⁾となった。その後、全国規模の調査は1997年～2011年と隔年実施され^{5)、11)、15)、17)、18)、19)、21)、2}

³⁾、今回の2013年調査となった。

本調査研究の成果は、わが国における薬物乱用・依存の予防・啓発、介入対策策定の際の基礎資

料となるものであることは言うまでもないが、飲酒・喫煙はもちろん、常備薬をも含めた医薬品のあり方を考える際の基礎資料にもなり得るものである。特に、今回の2013年調査は、「脱法ドラッグ」の乱用の拡がりについて、全国規模で調査した唯一の調査でもある。

B. 研究方法

研究計画は下記の通りである。

- ・地域 全国
- ・対象 市区町村に住む満15歳以上64歳以下の男女（平成25年10月1日現在）

注：1995年調査～2007年調査では満15歳以上を対象としたが、2009年調査より、年齢の上限を64歳とし、対象を変更した。その理由は、1)そもそも薬物乱用問題は思春期・青年期・壮年期を中心とする問題であること、2)国民の高齢化を反映して、対象者の年代別割当数が高齢者に多くなる傾向があること、3)それらを考慮したときの調査の質と経済性を考慮したためである。

標本数：5,000人

- ・抽出方法 層化2段無作為抽出
(調査地点数：350)
(社団法人 新情報センター に委託)
- ・調査方法 調査員による個別訪問留置法
(社団法人 新情報センター に委託)
- ・調査内容 巻末資料の通り
- ・調査期間 2013年10月17日～10月27日

層化2段無作為抽出について

この種の疫学的調査において最も大切なことは、全国の地区町村に住む15歳以上64歳以下の男女5,000人を如何に適切に無作為抽出するかである。そのための方法として、一連の本調査では層化2段無作為抽出法を採用している。その概略は以下の通りである。

(1) 全国の地区町村を都道府県を単位として、以下の11地区に分類した。

- 北海道地区＝北海道
- 東北 地区＝青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 関東 地区＝茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北陸 地区＝新潟県、富山県、石川県、福井県
 東山 地区＝山梨県、長野県、岐阜県
 東海 地区＝静岡県、愛知県、三重県
 近畿 地区＝滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 中国 地区＝鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
 四国 地区＝徳島県、香川県、愛媛県、高知県
 北九州地区＝福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
 南九州地区＝熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

(2) さらに各地区内を、都市規模によって表1のように10分類し、それぞれを第1次層として、表1のように計64層とした。

- ・大都市＝東京23区、横浜市、川崎市、京都市、千葉市、名古屋市、大阪市、さいたま市、静岡市、神戸市、広島市、北九州市、その他の政令市（計20層）
- ・人口20万人以上の都市（計11層）
- ・人口10万人以上の都市（計11層）
- ・人口10万人未満の都市（計11層）
- ・郡部（町村）（計11層）

(注)：ここでいう都市とは、平成25年4月1日現在による市制施行の地域である。また、人口による都市規模の分類は、平成24年3月31日現在の住民基本台帳に基づく「住民基本台帳人口要覧」（公益財団法人 国土地理協会 発行）によった（15歳以上64歳以下の人口：80,206,724）。

(3) 標本数5,000人を、上記64層の各層における人口密度に基づき、各層に比例配分し、各調査地点の標本数が10～16になるように調査地点を決めた。

(4) 第1次抽出単位となる調査地点には、平成22年国勢調査時に設定された調査地点を使用し、調査地点（調査区）の抽出は、以下の手順によった。

- ・層内での調査地点（調査区）数が1の場合には、乱数表により無作為に1地点を抽出した。
- ・調査地点（調査区）数が2以上の場合には、抽出間隔（＝<層における国勢調査時の15歳以上64歳以下人口の(計)>÷<層で算出された調査地点数>)を算出し、等間隔抽出法によって、調査地点（調査区）を無作為抽出した。調査地点（調査区）を抽出する操作を1段という。

(5) 抽出に際しての各層内市区町村の配列順序は、平成22年国勢調査時の市町村コードに従った。

(6) 調査地点（調査区）における対象者の抽出は、抽出間隔（＝<調査区における国勢調査時の15歳以上64歳以下の人口>÷<各層での調査区抽出標本数>)を算出し、住民基本台帳または選挙人名簿より等間隔抽出法により無作為抽出した。調査

地点（調査区）から対象者を抽出する操作を2段という。

以上の操作によって得られた層別標本数と調査地点（調査区）数を表1に示した。

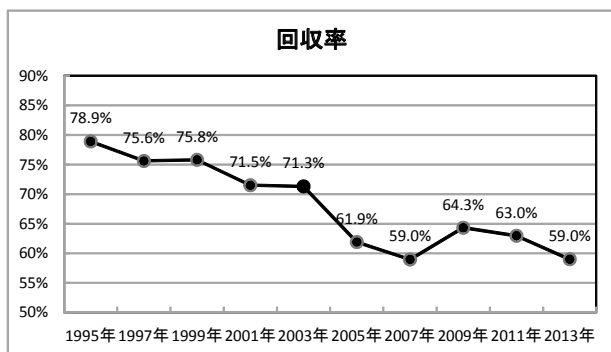
なお、本報告書では薬物使用・被誘惑の経験率等については、性別、年齢層について調査地区毎に実際の人口比を元に調査結果を補正した補正值を用いているところがあり、その箇所は補正值と明記した。補正值の箇所ではその値は生データによる表での結果とは異なっている。

なお、2011年調査時の「表1 地区・都市規模による調査標本数と地点数－標本数(地点数) 2009年」(平成23年度厚生労働科学研究費補助金 H23-医薬一般-014)研究報告書. p.17) は、内容的には2011年度調査のものであるが、見出しを2009年と誤記してしまった。2011年に訂正して頂きたい。

C. 研究結果

1. 回収結果（表2～表6）

回収数（率）は2,948（59.0%）であり、調査不能ケースの内訳は表2、表3の通りである。地区別標本数と回収数（率）は表4の通りである。本調査は1995年から始められたが、回収率は1995年の78.9%を最高に、年毎に低下傾向を示し、2001年では71.5%と低下したものの、何とか70%台は維持してきた。しかし、2005年調査では一気に61.9%と低下し、2007年調査ではとうとう50%台になってしまった。2009年調査では、回収率が64.3%にまで急上昇したが、その背景には、2008年秋に角界及び大学生での大麻乱用が社会問題化したことと、2009年8月に芸能人OによるMDMA乱用問題、芸能人Sによる覚せい剤乱用が立て続けに発覚し、2009年を代表する一大社会問題となり、薬物乱用問題が世間の関心を集めたという特殊事情があると考えられる。2011年調査では、その余韻もあつてか、回収率は63.0%を確保できたが、今回の2013年調査では59.0%になってしまった。個人情報に対する意識が高まり、その保護制度が進めば進むほど、この種の調査に於ける回収率の低下傾向は避けられず、今後が危惧される点である。



なお、有効回答の基準を「78の質問中39問以上に答えてくれたもの」とした。その結果、有効回答数は2,926となった。本報告書ではこの2,926通について、結果を分析した。

対象の性・年齢・学歴は表5に示した。

対象の職業・身分は表6に示した。

2. 調査結果 (表7～表135)

調査結果は男女別/年代別に表7～表131に示した。また、調査結果の中で重要と思われる項目については図1～図35、表125～131に示した。

なお、以下の文章中、94.1% (95.2%) 等の () 内の数字は2011年調査での結果である。

D. 考察

1. 飲酒習慣について

飲酒生涯経験率（これまでに1回でも飲酒したことのある者の割合）は、男性で94.1% (95.2%)、女で94.5% (94.6%)、全体で94.3% (94.9%) であった（補正值）。

表7-2に飲酒経験率の年代別比較を示したが、10歳代を除けば、男女ともに年代に関わらず90%を越えていた。このことは、わが国の成人では、ほとんどの者に飲酒の生涯経験があり、「飲んだことがあるか、ないか」を基準に飲酒関連問題を論じてもさほど意味がなく、機会、頻度、量等の質的因子を絡めて論じる必要があることを示唆している⁷⁾¹⁰⁾¹²⁾。

これまでに飲酒したことのある機会（表8）では、男性では「友人・同僚と」（79.4% (80.7%)）、「家の食事・団らん」（72.3% (74.0%)）、「冠婚葬

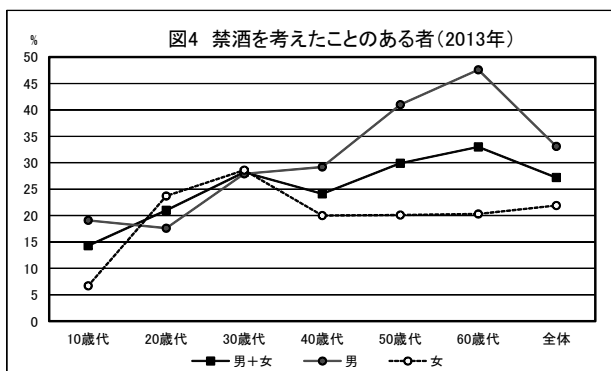
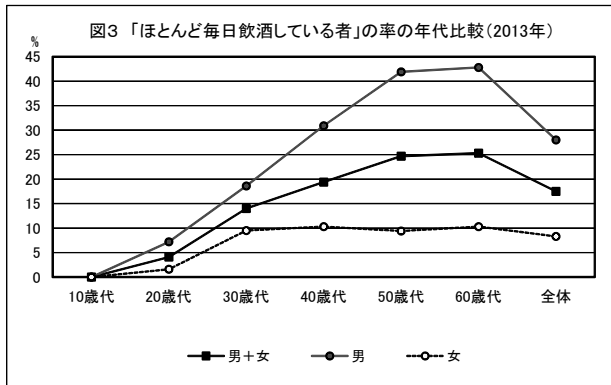
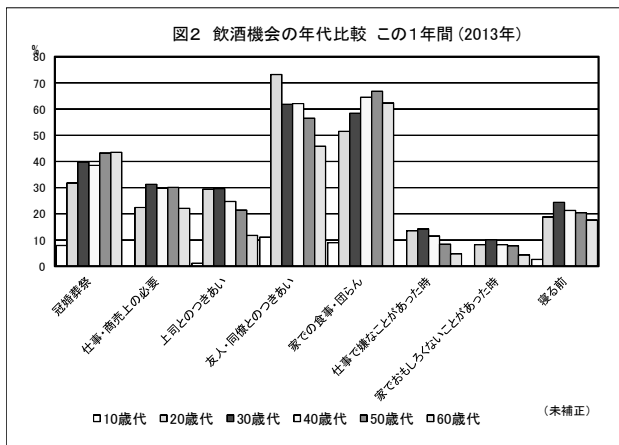
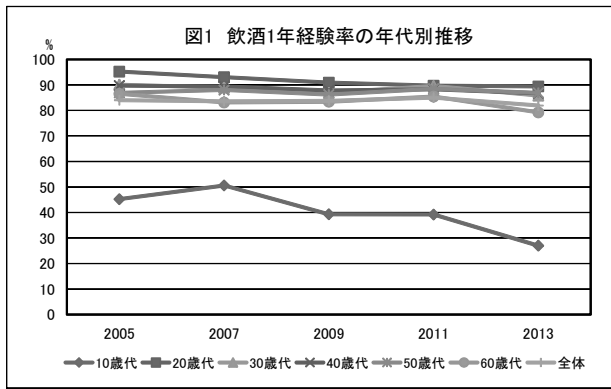
祭」（71.6% (71.8%))が多く、女性でも「友人・同僚と」（78.5 (79.7%)）、「家の食事・団らん」（71.2% (70.3%)）、「冠婚葬祭」（67.4% (67.0%)）の順に多かった。2009年調査以降では、それまでと比べて、男女ともに第一位の機会は同じであったが、女性では第二位と第三位が入れ替わった。

初飲年齢（初めて飲酒した年齢）は表9の通りである。男性では「18～19歳」で始めた者が最も多く、女性では「20歳以降」で始めた者が最も多かった。これは従来通りである。

飲酒経験者が「それなりに飲酒するようになった時期」は表10の通りである。男女共に「20歳以降」の者が最も多く、次いで「18～19歳」が多かった。「それなりに飲酒」という聞き方は、定義が不明瞭であるため、2003年調査からは、「一回の量にかかわらず、月に一回以上飲酒すること」と定義付けた。同時に、2003年調査からは「それなりに飲酒するまでには至ったことがない」という選択肢も設けている。

飲酒1年経験率（この1年間で飲酒経験のある者の割合）は、男性で85.7% (88.9%)、女性で79.1% (81.9%)、全体で82.2% (85.3%) であった（補正值：表125）。表11-2、図1に、飲酒1年経験率の年代別推移を示した。2009年までは全ての年代で下降傾向を示していたが、2011年調査では、10歳代では横ばいで、20歳代では下降気味で、それ以外の年代では上昇傾向が伺われ、2013年調査では、すべての年代で下降傾向が見られた。

過去1年間で飲酒した機会（表12）は、男性では「友人・同僚と」（73.3% (74.3%)）、「家の食事・団らん」（71.6% (73.1%)）、「冠婚葬祭」（53.8% (57.5%)）、「外の食事・団らん」（53.4% (51.5%)）が多く、女性では「家の食事・団らん」（71.2% (66.9%)）、「友人・同僚と」（64.1% (62.8%)）、「外の食事・団らん」（48.3% (44.1%)）、「冠婚葬祭」（39.1% (44.5%)）が多かった。1位～2位の順は、2009年調査以降同じであったが、女性では、2011年調査で3位と4位が入れ替わったが、2013年調査では、再度以前に戻っていた。図2は、過去一年間に飲酒した機会の頻度を年代別に示しているが、「上司とのつきあい」では20歳代～30歳代で最も高く、「友人・同僚とのつきあい」での飲酒経験は20歳代で最も高く、「仕事・商売上の必要」は30～50歳代、「冠婚葬祭」では50歳代～60歳代で高く、ライフサイクルの影響を反映していると



考えられた。

過去1年間の飲酒頻度(表13)は、男性では「ほとんど毎日」の者が32.5%(31.1%)と最も多く、「週3~6回」の者も含めると、49.4%(47.4%)にのぼった。女性では「1年間に数回」の者が32.8%(34.6%)と最も多かった。

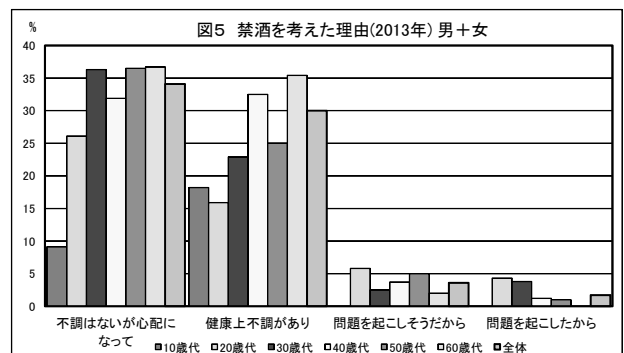
「この1年間で、ほとんど毎日飲酒している者」の割合は、年代的には、男性では60歳代でピークを迎えているが、女性では10歳代~20歳代は、さほど変わりがなかった(図3)。

生涯飲酒経験者での禁酒に対する考え・実態は表14に示した。禁酒中の者も含めて禁酒を考えたことのある者は、男性で33.1%(31.1%)、女性で21.9%(21.1%)、全体で27.2%(25.9%)であった。

図4は禁酒を考えたことのある者の割合の年代比較であるが、女性では20歳代~30歳代以外、年代の変動が少ないのに対して、男性では年齢と共に割合が高くなるのがわかる。図3及び図4から、20歳代~30歳代女性では、妊娠への配慮があるのだろうと想定できる。

生涯飲酒経験があり、かつ禁酒を考えたことがある者が、禁酒を考えた理由としては、男女ともに「健康上の不調は感じないが可能性が心配になったから」と「健康上の不調を感じたから」がほとんど同じ割合で多かった(表15)。「健康上の不調は感じないが可能性が心配になったから」の割合の高さは、「健康志向」ブームを反映している可能性がある。

図5は、生涯飲酒経験があり、かつ禁酒を考えたことがある者での禁酒を考えた理由の年代別比較である。年代と共に健康上の心配の割合は増加するが、実際の不調を原因とする者は60歳代で最も多かった。



2. 喫煙習慣について

これまでに1回でも喫煙したことのある者の割合（喫煙生涯経験率）を表16に示した。男性で79.2%（81.3%）、女性で51.2%（50.2%）、全体では64.3%（65.2%）であり（補正值）、男性では2001年の85.6%から調査毎に減少しているが、女性では2003年の43.5%以降、調査毎に微増しているのが特徴である。

表16-2は年代別喫煙生涯経験率であり、図6はその年次推移である。すべての年代で、喫煙生涯経験率の低下傾向が認められるが、特に、10歳代、20歳代での生涯喫煙経験率の低下が顕著である。

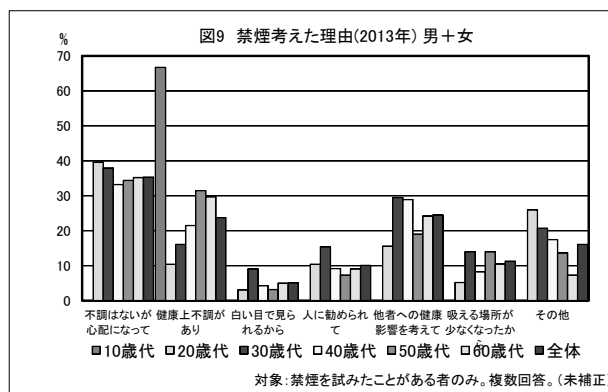
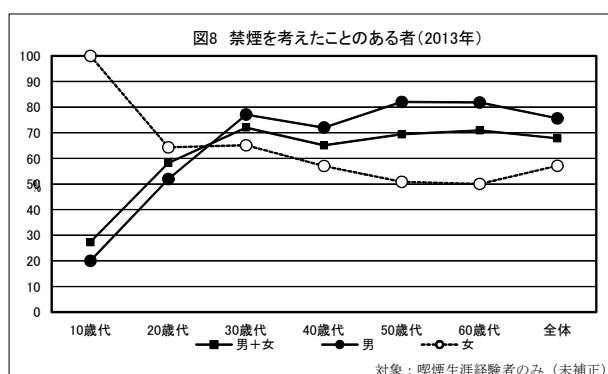
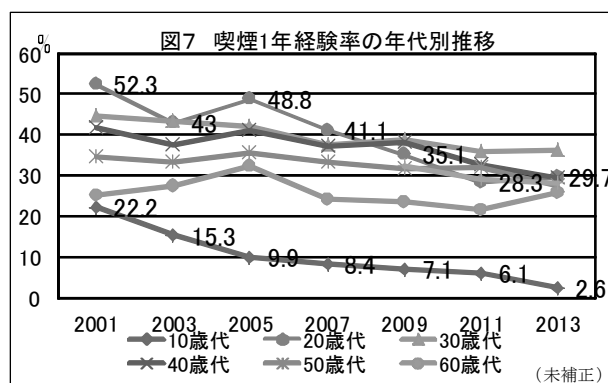
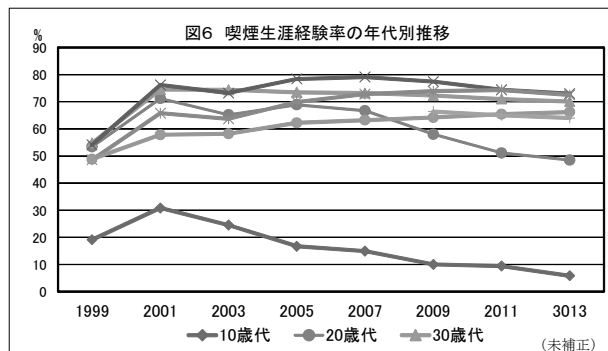
喫煙生涯経験者について、初めて喫煙した時の年齢を表17に示した。これまで通り、男性では「18-19歳」で始めた者が最も多く、女性では「20歳以降」始めた者が最も多かった。

また、喫煙生涯経験者について、「それなりに喫煙するようになった時期」を表18に示した。ここでも「それなりに」という設問に関しては飲酒の場合と同様に、2003年調査より定義を明確化し、「それなりに喫煙する」とは一回の喫煙の量にかかわらず、「週1回以上、喫煙すること」と定義付けている。

喫煙1年経験率（この1年間で1回でも喫煙したことのある者の割合）を表19、19-2に示した。男性で39.4%（43.4%）、女性で16.5%（16.2%）、全体で27.2%（29.3%）であり、1999年以降の最低であった（補正值：表125）。年代別喫煙1年経験率の年次推移（図7）を見ると、60歳代では2011年調査の結果よりは増加を示し、20歳代、30歳代で下げ止まりの感はあるが、それ以外の年代では減少傾向を保っていた。10歳代での減少傾向が顕著であった。

喫煙1年経験者に関して、過去1年間の喫煙頻度を表20に示した。「ほとんど毎日」の者が男性では85.5%（87.9%）、女性で79.8%（82.9%）、全体で83.7%（85.6%）であり、飲酒に比べて高率であった。これは同じ依存性薬物でも薬物による薬理作用の違いを反映していると考えられる。

喫煙生涯経験者に関して、禁煙を考えたこと、有無と禁煙状況とを表21に示した。また、図8は、喫煙生涯経験者に関して、禁煙を考えたことのある者の割合を年代別に示したものである。男性で



は年代が上がるにつれて、割合が増加する傾向が認められたが、女性では妊娠との関連か、20歳代～30歳代で割合が高かった。

喫煙生涯経験者で、禁煙したことがある者に関して、その禁煙理由を表22に示した。男女ともに、「健康上の不調を感じたことはないが、その可能性が心配になったから」を選んだ者が最も多く、次に「健康上の不調を感じたから」ないしは「家族や他者への影響」を選んだ者が多かった。

図9は生涯喫煙経験があり、かつ禁煙を考えたことがある者での禁煙を考えた理由の年代別比較である。年代と共に健康上の心配が現実のものとなっていることがわかる。

3. 常備薬・医薬品について

1. 常備薬について

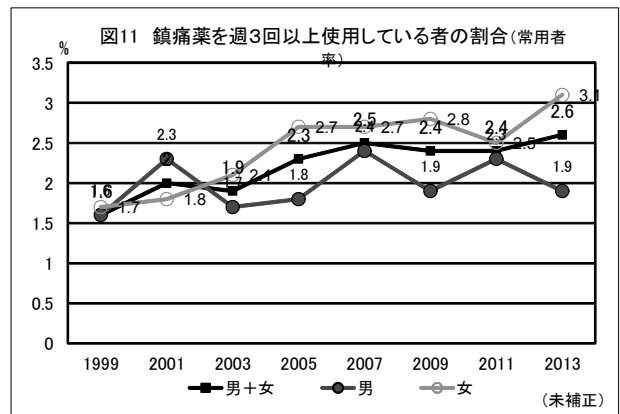
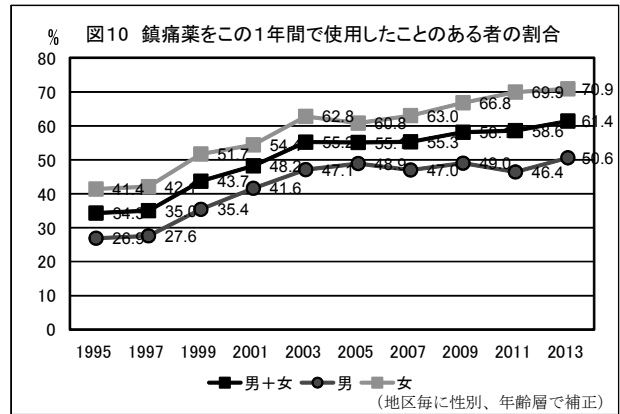
家庭の常備薬の常備状況については表23に示した。常備薬としては、①風邪薬 (66.3% (67.4%))、②湿布薬 (55.5% (54.2%))、③胃腸薬 (52.5% (55.7%))、④目薬 (52.2% (54.4%))、⑤鎮痛薬 (46.4% (45.4%)) の順に頻度が高かった。この順番は、2007年調査で胃腸薬と目薬の順番が逆転したことはあったが、それ以外の調査では、毎回、①風邪薬、②胃腸薬、③目薬、④湿布薬、⑤鎮痛薬の順であった。今回の結果は、これまでと少々異なることになる。

また、過去1年間で1回でも使用したことがある医薬品としては、①風邪薬 (65.1% (63.8%))、②鎮痛薬 (60.8% (58.6%)) 表25)、③目薬 (49.5% (50.0%))、④湿布薬 (45.1% (43.7%))、⑤胃腸薬 (40.3% (40.4%)) の順で頻度が高かった (表24)。この順番は2007年～2011年調査の結果と同じであった。(2003年～2005年調査では湿布薬、胃腸薬の順であった。)

2. 鎮痛薬使用について

鎮痛薬をこの1年間に1回でも使用したことがある者の割合 (補正值) は、男性で50.6% (46.4%)、女性で701.9% (69.9%)、全体で61.4% (58.6%) であった (図10、表125 (補正值))。

1年使用経験率を算出するための質問は、2003年調査からは、鎮痛薬、精神安定薬、睡眠薬に関しては他の医薬品とは完全に切り離して、それぞ



れ個別に問う形式に変更した。この方法が回答上、最も矛盾も少なく、結果的に最も妥当な方法と考えられる。ただし、2009年調査から対象の年齢上限を64歳に変更したことから、図10での推移は簡単には論じられない。ただし、男性よりも女性での1年経験率が高いのは、毎回、同じである。この性差は鎮痛薬の使用理由として、女性では「生理痛」による使用の割合が高いことが最大の要因であると推定できる (表27)。

鎮痛薬のこの1年間で使用頻度は表25の通りである。使用した者の頻度は、「1年間に数回」使用した者が男性で34.6% (31.3%)、女性で34.5% (35.1%)、全体で34.6% (33.3%) と最も多かった。

鎮痛薬の使用には、慢性疼痛に対する使用もあり、使用頻度のみから乱用・依存を判定することは困難であるが、表25の「週に3～6回」と「ほとんど毎日」とを常用的使用と定義した場合、男性では1.9% (2.3%)、女性では3.1% (2.4%)、全体では3.6% (2.4%) であった (未補正值)。図11に常用使用者の割合の推移を示した。

また、鎮痛薬の入手先 (表26) としては、従来

の結果では、「薬局・薬店」「家族から」が際だって多く、男性では「薬局・薬店」が、女性では「家族から」が最も多くなっており、その結果は2003年～2007年調査で一定していたが、2009年調査から、男女ともに、順番は別として、「薬局・薬店」、「医院・病院」が多いという結果となっている。

鎮痛薬の使用目的（表27）としては、全体では①「頭痛」、②「生理痛」、③「歯痛」の順であった。ただし、男性では①「頭痛」、②「歯痛」、③「腰痛」の順であり、女性では①「頭痛」、②「生理痛」、③「歯痛」の順であった。これらは2011年調査の結果と同じである

「遊び・快感目的」での使用者は女性で1名いたただけである。

鎮痛薬には概して依存惹起作用があるものが多いが、その鎮痛薬の使用についての心情・実情を表28に示した。男性では、「使う必要がないので、考えたことがない」と答えた者が最も多かったが、女性では、「必要な時には心配せずに使っている」が最も多く、「心配もあるがどちらかというを使う」と答えた者が「使う必要がないので、考えたことがない」と答えた者と同様くらい多かった。（表28）。

3. 精神安定薬使用について

精神安定薬をこの1年間に1回でも使用したことのある者の割合（補正值、表125）は、男性で5.7%（4.8%）、女性で6.6%（6.3%）、全体で6.2%（5.6%）であった（図12）。年次推移では、2007年調査の結果をピークに、以後、低下を示したが、2009年から対象の年齢の上限を64歳までに変更した影響の可能性が高いと推定される。ただし、今回の2013年調査では対前回に対して、微増であった。

使用頻度は、表29の通りである。

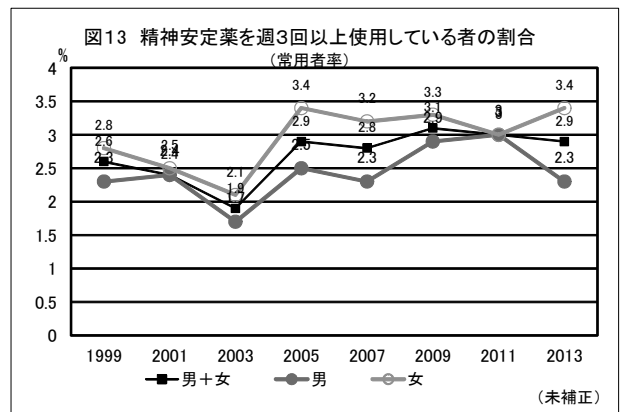
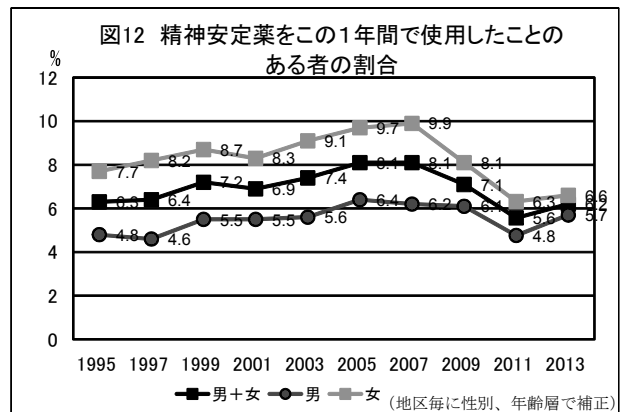
精神安定薬の使用には、高血圧及び慢性的精神疾患に対する使用もあり、使用頻度のみから乱用・依存を判定することは困難であるが、表29の「週に3～6回」と「ほとんど毎日」とを常用的使用と定義した場合、男性では2.3%（3.0%）、女性では3.4%（3.1%）、全体では2.9%（3.0%）であった。この常用者率（未補正值）の推移は図13の通りであり、2005年調査以降、「男+女」では横ばいであるが、2013年調査の結果では、男女での乖離が著しくなった。

精神安定薬の入手先（表30）は、「医院・病院」

が86.8%（85.9%）と圧倒的に多かった。

精神安定薬の使用目的（表31）としては、男女ともに、順番は別として、「不眠改善」「不安解消」が多かった。「遊び・快感目的」で使用した者は認められなかった。

精神安定薬には概して依存惹起作用があるものが多いが、その精神安定薬の使用についての心情・実情を表32に示した。男女ともに「使う必要がないので、考えたことがない」と答えた者が圧倒的に多かったが、使ったことのある人では、男女ともに「必要な時には心配せずに使っている」、「心配もあるがどちらかというを使う」を選んだ者が比較的多かった（表32）。



4. 睡眠薬使用について

睡眠薬をこの1年間に1回でも使用したことのある者の割合（補正值：表125）は、男性で5.6%（4.9%）、女性5.6%（6.3%）、全体で5.6%（5.6%）であった（図14）。

使用頻度は表33の通りである。使用経験のある者では、男性では「ほとんど毎日」「1年間に数回」

の順で、女性では「1年間に数回」「ほとんど毎日」の順に多く、同時に、そのいずれかの2極に分かれることが示唆された。

睡眠薬の使用には、高血圧及び慢性的精神疾患に対する使用もあり、使用頻度のみから乱用・依存を判定することは困難であるが、表33の「週に3～6回」と「ほとんど毎日」とを常用的使用と定義した場合、未補正值で、男性で2.3% (2.0%)、女性で2.0% (1.8%)、全体で2.1% (1.9%)であった。この年次推移は図15の通りである。2009年調査から対象の年齢には上限があるため、その推移を論じにくい。

また、睡眠薬の入手先(表34)は、「医院・病院」が圧倒的に多く、精神安定薬の場合と同じであった。

睡眠薬の使用目的(表35)としては、男女共に「不眠改善」目的が最も多く、「不安解消」がそれに続いていた。「遊び・快感目的」で使用した者は、認められなかった。

睡眠薬には多かれ少なかれ依存惹起作用があるが、その睡眠薬の使用についての心情・実情を表36に示した。男女ともに「使う必要がないので、

考えたことがない」と答えた者が最も多かったが、使用した人では、男女ともに「必要な時には心配せずに使っている」「心配もあるがどちらかというを使う」が多かった(表36)。

4. 違法薬物について

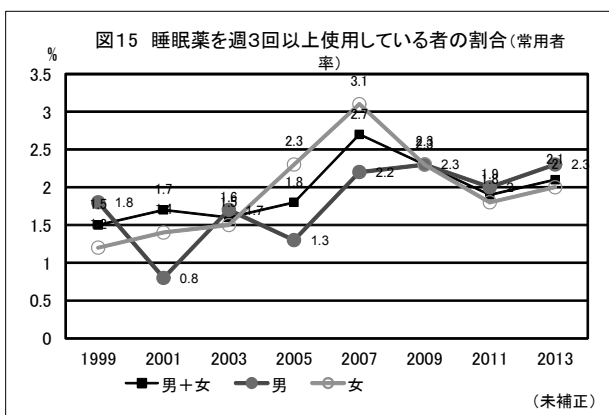
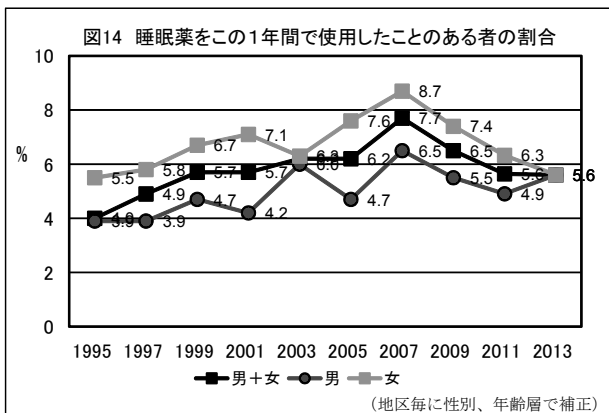
1. 違法薬物について

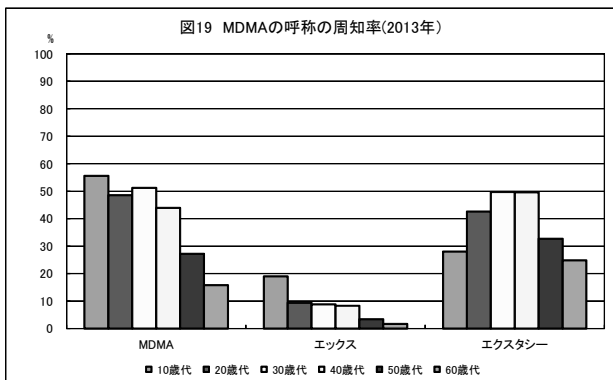
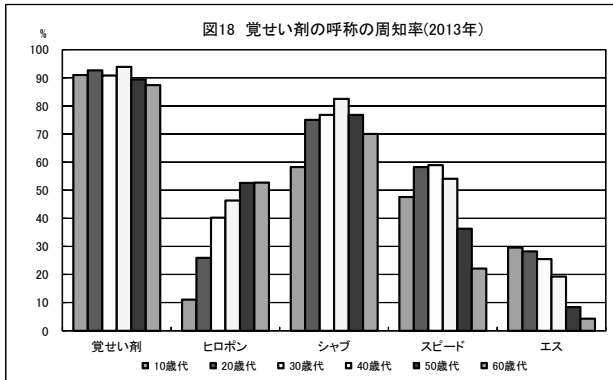
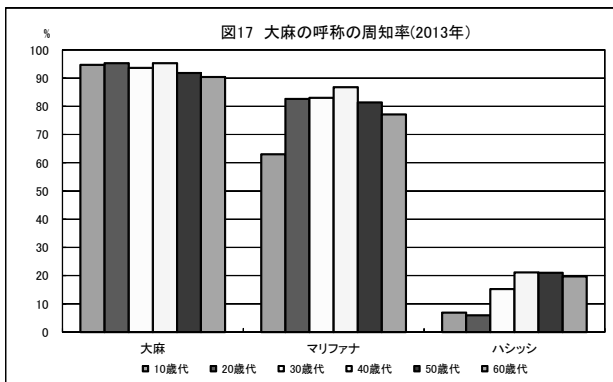
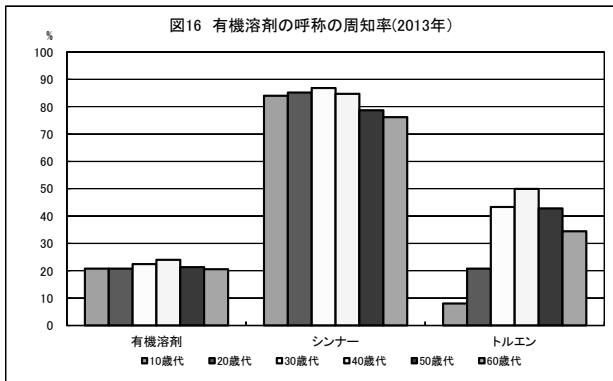
違法薬物の名前をどの程度聞いたことがあるか(周知度)を、表37示した。また、その年代での違いを図16～19に示した。

有機溶剤に関しては、「シンナー」という呼称は50歳代及び60歳代以上の年代以外の全ての年代で80%以上の者が周知しているが、「有機溶剤」というと、年代に関係なく周知率が激減していた(図16)。また、「トルエン」に関しては、30歳代以上の年代では36～52%の者が周知していたにも関わらず、かつては、トルエンを主流とする「シンナー遊び」の最頻年代であった15～19歳では、約11%の者しか周知していなかった。この年代でのトルエンに対する周知度は、2001年調査では約30%であったが、この周知度の激減は、この年代での有機溶剤乱用の激減を象徴している。

「大麻」という呼称は93.3% (93.3%)の者が知っており、「マリファナ」は81.2% (79.6%)、「ハシッシ」は17.0% (17.0%)であった(図17)。「大麻」の周知率は、「シンナー」のそれよりも高かった。この背景には、2008年秋に、角界や大学生による大麻乱用騒動の報道が頻発すると同時に、社会での乱用薬物が有機溶剤から大麻にシフトした実情を反映している可能性がある。今や「大麻」は名実ともに最も知られている薬物になったと言える。

覚せい剤については、「覚せい剤」自体は全体の約90% (91%)の者が周知していたが、「シャブ」「スピード」「ヒロポン」「エス」の順番に周知度が低下していた(表37)。2007年調査までは、「シャブ」「ヒロポン」「スピード」「エス」の順番であったが、この変化は時代と共に呼称が変化することの好例であろう。特に、年代別に見てみると(図18)、「スピード」は50～60歳代以外で、「エス」は若い年代ほど周知率が高かった。その逆が「ヒロポン」であり、年代が高いほど周知している傾向が伺えた(図18)。





第3次覚せい剤乱用期の特徴の一つに、「シャブ」と言われた覚せい剤を「スピード」「エス」と称して、若者がファッションブル感覚で使用するという面があるが、以上の結果は、その傾向を強く示唆するものである。

MDMAの周知度は、有機溶剤、大麻、覚せい剤に比べて明らかに低かった。しかし、「MDMA」の周知率は2007年調査では約11%にしか過ぎなかったが、2009年調査及び2011年調査では、それぞれ約48%、47%にまで急上昇し、「エクスタシー」のそれは、27%から51%、47%にまで急上昇した。その背景には、2009年8月の某芸能人による死者まで出たMDMA乱用事件の影響があると推定できる。

このMDMAは、現在、世界的に乱用が拡大しており、今後も「クラブドラッグ」として、その乱用が拡大する可能性を秘めた薬物である。薬物乱用防止教育のなかで、このMDMAについて、その害をどう教えていくかを検討しながら、対応してゆく必要がある。

以上のように、規制（違法）薬物の呼称周知率は年代と共に差異があることが明かである。薬物乱用防止教育、啓発活動に際しては、この点に関しても考慮する必要がある。

2. 違法薬物の乱用拡大傾向について

大麻、覚せい剤、ヘロイン、コカイン、MDMA乱用者の増減傾向についての印象を調べた（表52、表64、表75、表85、表95）。これまでの調査でも、今回の2013年調査でも、いずれの薬物においても「わからない」と答えた者が最も多かった。ただし、2009年調査のみ、「大麻」「覚せい剤」では「以前より増えている」と答えた者が最も多かったが、これも2008年の大麻乱用報道、2009年の某女優による覚せい剤乱用報道の影響であろうと思われる。

「以前より増えている」を選んだ者の割合の年次推移（図20）を見ると、2009年の結果のみ、特異的であるが、その原因は、2008年の大麻乱用報道、2009年の某女優による覚せい剤乱用報道の影響であると推定される。この種の「印象」は、各種メディアによる影響を受けやすいのは確かであり、2007年のリタリン問題、2008年秋の大麻問題、2009年夏のMDMA、覚せい剤問題報道が如何に薬物問題に関する世論の関心を喚起したかが推定できる。

3. 違法薬物乱用者の認知率

この1年間で、身近に違法薬物を乱用したことがある人を知っているかどうかを表43、表54、表66、表76、表86、表96、表106に示した（1年経験者認知率）。その内、「知っている」と答えた者の割合の推移を図21に示した。2007年調査まで圧倒的に割合の高かった有機溶剤の割合が急落し、有機溶剤、大麻、覚せい剤の割合はさほど変わらなくなったことがわかる。

今回の2013年調査では、この1年間で、身近に脱法ドラッグを乱用したことがある人を知っているかどうか、初めて調査した。その結果、この1年間で、身近に違法薬物を乱用したことがある人を知っている率は、高い順に、大麻0.9%、有機溶剤0.8%、脱法ドラッグ0.8%、覚せい剤0.5%、MDMA 0.1%の順であった。2011年調査までは、この割合が最も高い薬物は有機溶剤であったが、今回の2013年調査で大麻が初めてトップとなった。同時に、脱法ドラッグが有機溶剤と同じ割合で2位として記録されたことも、今日的薬物乱用状況を反映していると推定できる。

1年経験者認知率を年代別に表44、表56、表67、

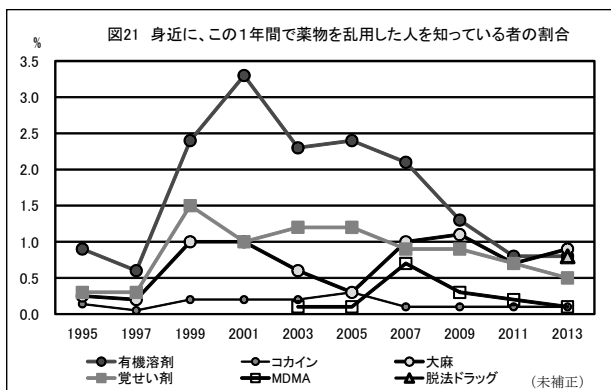
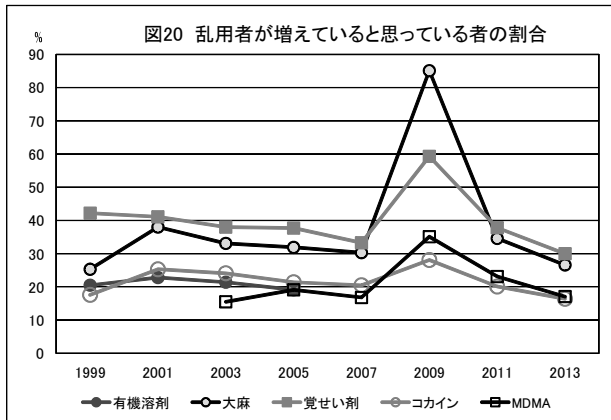


表77、表87、表97、表107に示した。これらの結果をまとめたものが図22である。20歳代で脱法ドラッグ、大麻、有機溶剤の1年経験者認知率が高く、覚せい剤は30歳代で1年経験者認知率が高かった。1年経験者認知率は、1年乱用経験率と年代的に同じになると推定されるが、以上の結果は、薬物依存症外来での「経験」と一致するようである。

4. 違法薬物乱用へ誘われた経験

これまでに違法薬物の乱用に誘われたことがあるかないかの結果を、表46、表58、表69、表79、表89、表99に示した（生涯被誘惑経験率）。表126、表127、図23は、その年次推移を示している。

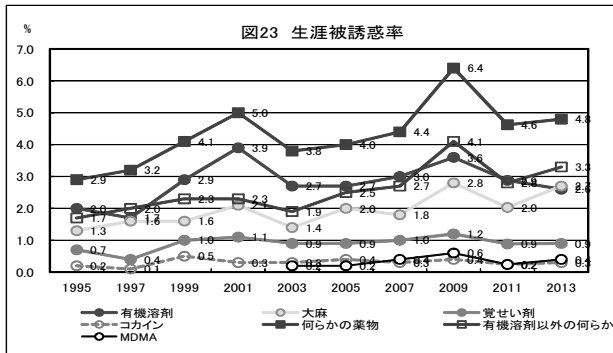
経年的に、有機溶剤、覚せい剤ともに横ばい状態であるが、大麻だけが増加傾向を示している（2009年の結果は、事件報道の影響を受けた「特殊」な結果と推定される）。2011年までは、生涯被誘惑経験率は常に有機溶剤がトップであったが、今回の2013年調査では、大麻が初めてトップになったことは特筆すべきことである。

薬物乱用の実態を推測する際には、生涯乱用経験率が第一に重要であることは論を待たないが、「正直に答える」という意味でのバイアスを考えると、わが国のように、薬物乱用防止の第一次予防が極めて有効に機能している国では、生涯被誘惑経験率は生涯乱用経験率以上に重要視すべきかもしれない。その意味でも、今回の2013年調査で、大麻が初めてトップになったことの意味は大きい。

生涯被誘惑経験率は、年代別では、有機溶剤は35歳以上で高く（表47）、既に過去の経験であることを如実に示している。大麻も生涯被誘惑経験率は35歳以上で高いが、「この1年間にのみあった」者は39歳以下であり、30歳代以下での被誘惑の高さが推測できる（表59）。このことは覚せい剤の当てはまりそうである（表70）。

また1年被誘惑経験率（この1年間で乱用に誘われたことのある者の率）は表128に示した。しかし、値自体が小さく、ほとんどが統計誤差内であり、論じることができない。

この種の違法薬物に関する調査では、知られたいくないという心理が働きがちであり、結果の信憑性が問題になる（後述する乱用の経験では特にそ



うである)が、重要なのは同じ方法論による結果の推移である。その意味では、バイアスの強弱を考えると、乱用経験率よりは被誘惑率の方が信憑性は高いと考えられる。また、1年間での率よりは、これまでの生涯被誘惑率の方が信憑性は高いと推定できる。

5. 違法薬物乱用経験

違法薬物のこれまでの乱用経験についての結果を、表49、表58、表72、表82、表92、表102、表111に示した(未補正の生涯経験率)。表129、表130、図24はその補正值による年次推移を示している。

生涯経験率は2011年調査の結果に比べて、有機溶剤、覚せい剤、MDMAで微増し、大麻、いずれかの薬物、有機溶剤以外のいずれかの薬物で微減していた(図24)。有機溶剤の生涯経験率は過去の薬物乱用経験を反映していると考え、今日的に最も乱用されていると考えられる薬物は大麻ということになる。図23に示した生涯被誘惑率で、大麻が初めて第一位になったことは、以上の推論の証左とも言えよう。

また、今回の2013年調査で初めて調べた脱法ドラッグの生涯経験率は、覚せい剤の0.5%に次ぐ0.4%であった。

年代別では、薬物の種類に関わらず、30歳代での生涯経験率が高い傾向にある(図25)。脱法ドラッグの生涯経験率も30歳代、20歳代の順に高かった。

薬物乱用生涯経験者の平均年齢を表Aに示した。ほとんどの薬物で、平均年齢は40歳代初めであるが、有機溶剤では43.8歳と最も高齢であり、有機溶剤乱用の生涯経験は過去の経験であることが強く示唆される。同時に、脱法ドラッグの乱用生涯経験者の平均年齢は33.8歳と若く、脱法ドラッグ

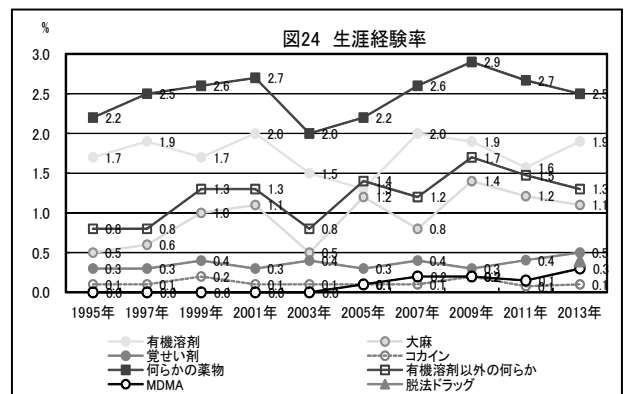
の乱用が今日の問題であることを強く示唆している。

脱法ドラッグ乱用生涯経験者がこれまでに使用した脱法ドラッグを形状別に調べてみた(表112)。そもそも、脱法ドラッグには、形状別に「ハーブ系」「リキッド系」「パウダー系」があり、元々は「ハーブ」系には大麻成分に類似した合成カンナビノイドが混ぜ込まれており、「リキッド系」「パウダー系」は覚せい剤に類似した中枢神経系への興奮作用を有する成分であったとされていた。この「ハーブ系」に「リキッド系」「パウダー系」の中枢神経系興奮作用を有する成分が混ぜ込まれたことが、2011年下半期から社会問題化した「脱法ハーブ」問題である²²⁾。この「ハーブ系へのリキッド系、パウダー系成分の混入」により、形状の違いによる臨床像の違いが明確ではなくなってしまったのが、今日の特徴でもある²⁴⁾。

表112によれば、男性では「ハーブ系」の既往が多く、女性では「リキッド系」の既往が多かった。男性では脱法ドラッグに大麻類似の効果を期待し、女性では覚せい剤類似の効果を期待する者が多いと推測したいところであるが、そもそも表112での人数が少なく、推測の域を出ない。

表Bは、脱法ドラッグ生涯経験者の他の薬物乱用経験率を示している。大麻経験率が75.0%と最も高かった。このことは、脱法ドラッグの中でも、ハーブ系が元々は合成カンナビノイドという大麻成分類似物の含有を「売り」にしていたことと関係がありそうである(要するに、脱法ドラッグ乱用者のかなり人間は、大麻の乱用に親和性があるということである)。

わが国での違法薬物の生涯経験率は図24に示したとおりであり、国際的に見た場合、むしろ奇跡と言って良いほど低い。しかし、30歳代に限れば

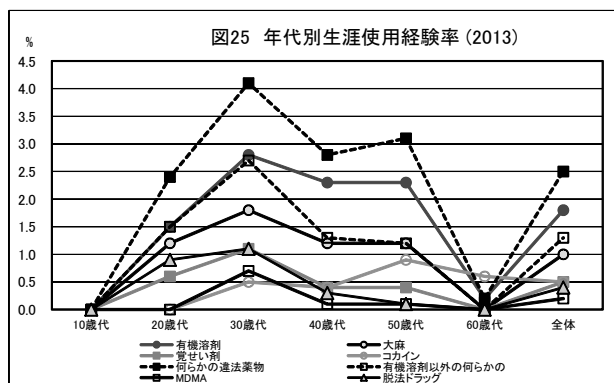


表A 薬物毎の生涯経験者の平均年齢

男+女	2013年		
	人数	平均年齢	SD
有機溶剤	54	43.8	9.4
大麻	30	40.7	9.5
覚せい剤	14	40.1	9.0
ヘロイン	2	43.0	
コカイン	2	36.5	
MDMA	6	40.5	8.1
脱法ドラッグ	12	33.8	8.1
上記のいずれか	72	42.5	9.8
有機溶剤以外のいずれか	37	39.5	9.3
有機溶剤及び脱法ドラッグのいずれか	36	39.9	9.0

表B 脱法ドラッグ生涯経験者の他の薬物乱用経験

男+女	2013年		
	母数	経験者数	経験者%
有機溶剤	12	6	50.0
大麻	12	9	75.0
覚せい剤	12	4	33.3
ヘロイン	12	1	8.3
コカイン	12	1	8.3
MDMA	12	4	33.3



生涯経験率はそれなりに高くなるわけであり (図25)、有機溶剤で2.8%、大麻で1.8%、覚せい剤で1.1%、MDMAで0.7%、脱法ドラッグで1.1%、何らかの薬物では4.1%、有機溶剤を除く何らかの薬物では2.7%であり、単純に楽観視すべきではない。

また1年経験率 (この1年間で乱用したことがある者の率) は表131に示した。ただし、値自体が小さく、ほとんどが統計誤差内であり、論じることが出来ない。

6. 薬物乱用が健康に及ぼす害知識について

有機溶剤乱用が健康に及ぼす害についての知識周知度に関する結果を表38~42に示した。これまで述べてきたように、有機溶剤乱用は、乱用経験者数の上ではわが国最大の問題でありながら、覚せい剤ほどには社会的に関心を集めなかった感がある。しかし、第2次覚せい剤乱用期の調査によれば、覚せい剤乱用・依存者の少なくとも1/3は、有機溶剤乱用から覚せい剤乱用に進んでおり、有機溶剤乱用の防止が結果的に覚せい剤乱用防止の有力対策になると考えられる。そのため、当研究者らは全国の中学生における薬物乱用状況を把握するための調査⁽⁶⁾⁽⁸⁾⁽¹³⁾⁽¹⁶⁾のなかで、有機溶剤乱用による健康への害を教える形での調査を継続している。成人を中心とする本調査にも同様の質問を織り込むことによって、社会での有機溶剤乱用への注意を喚起したいと考えてきた。

有機溶剤の乱用は依存症を生み出すと共に、急性中毒死、精神病 (状態)、無動機症候群を招くことがある。依存症を引き起こすことに関しては97.8% (96%) の人が認識しており (表38)、急性中毒死は84.1% (83%)、精神病 (状態) は91.4% (90%) の人が認識しているが、無動機症候群に関しては70.1% (71%) であり、相変わらず低いと言わざるを得ない。無動機症候群は有機溶剤による慢性中毒としての最重篤障害の一つに挙げても良い障害であるが、実際にその症状を持った者を見たことのない者にはイメージしにくい状態であることが周知率の上昇を妨げていると推定される。

大麻の乱用は精神病状態・フラッシュバック現象・無動機症候群を引き起こすことがある。その周知率は74.3% (73%) であり、経年的にも横ばいのままである。この背景には「大麻はタバコよりも害が少ない」という論調の「宣伝」が一部のマスメディアにより以前からはびこっていることが挙げられそうである。大麻の依存性は覚せい剤や麻薬に比べれば相対的には低いようであるが、そもそもが催幻覚作用等意識変容をお越し得る薬物であり、それ自体が害以外の何ものでもない。このことを周知させる必要がある。

覚せい剤乱用の繰り返しは、精神病 (状態) を引き起こしやすく、フラッシュバック現象を引き起こすことがある。特に精神病 (状態) は包圍襲来妄想を特徴としており、それに基づいて引き起こされるのが「通り魔事件」である。害の周知率

は82.1% (82%) であり (表65)、今後も80%台を維持する必要がある。

また、マジック・マッシュルームが毒キノコであることを知っていた者の割合は2001年調査以来30%を超えたことはない。ただし、今回の2013年調査は脱法ドラッグについての設問を設けたために、この設問は設けることができなかった。

一方、今回の2013年調査で初めて複数の設問を設けたのが脱法ドラッグである。実は、この脱法ドラッグについては、初めて設問に入れたのは2007年調査であった。その背景には、2002年頃から、規制薬物の化学構造式の一部を変更して法規制を逃れるデザイナードラッグの乱用がゲイ・コミュニティを中心とした一部の人たちの間ではやり (その代表格が5-MeO-DIPTであった)、2006年の薬事法改正 (「指定薬物」概念の導入) に至らざるを得なかった状況があったからである。2007年調査では、当時出回っていた34種の脱法ドラッグの成分名について、聞いたことがあるかどうかを尋ねるものであった (当時は、「ラッシュ」等を除けば、成分名で販売されていたため)。しかし、その流行が2011年下半期に社会問題化した今回の流行とは異なり、ゲイ・コミュニティを中心とした一部の人たちの間での流行であったため、成分名の周知率はとにかく低く、「ラッシュ」で45.9%、「ケタミン」で25.6%、「メチロン」で7.8%で、それ以外の周知率は4%以下で、当時最もヒットしたとされている5-MeO-DIPTですら0.4%という結果であった (平成19年度厚生労働科学研究費補助金 (医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)薬物乱用・依存等の実態把握と「回復」に向けての対応策に関する研究 (H19-医薬一般-025) 研究報告書 (主任研究者: 和田 清) 平成20年 (2008年) 3月)。今回の2013年調査では、脱法ドラッグという呼称自体の周知率は調べていないが、その害知識の周知率 (表105) は、61.5%であり、低いと言わざるを得ない。「脱法」であり、「違法」ではないから、違法薬物よりは害が少ないであろうという考えは、明らかに間違いである。多くの麻薬や覚せい剤は、元々は医薬品としての用途が認められていた物が多く、そういう意味で、未承認の「脱法」ドラッグの方が各種害が強い可能性があるのである。

表114に、脱法ドラッグ使用による病院受診についての調査結果を示した。表114での脱法ドラ

ッグ使用者は12人であるが、この12人に限れば、受診歴はなかったという申告であった。

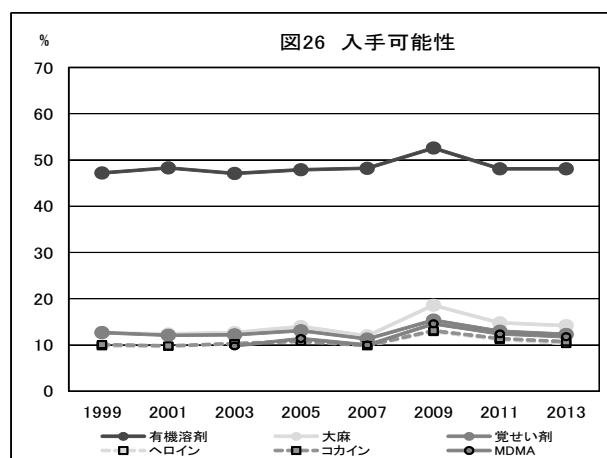
この脱法ドラッグについての各種啓発活動や薬物乱用防止教育を早急に、かつ、強力に進めていくことが焦眉の課題である。

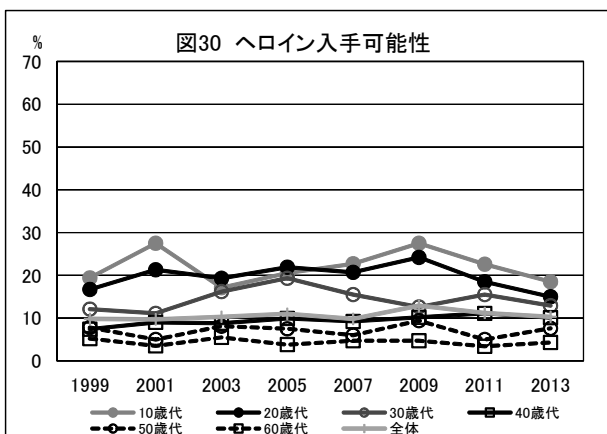
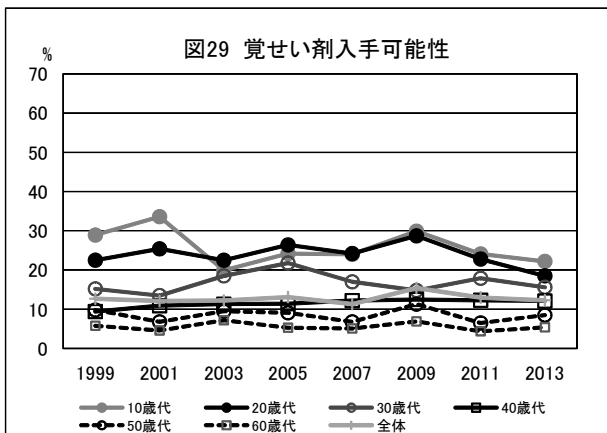
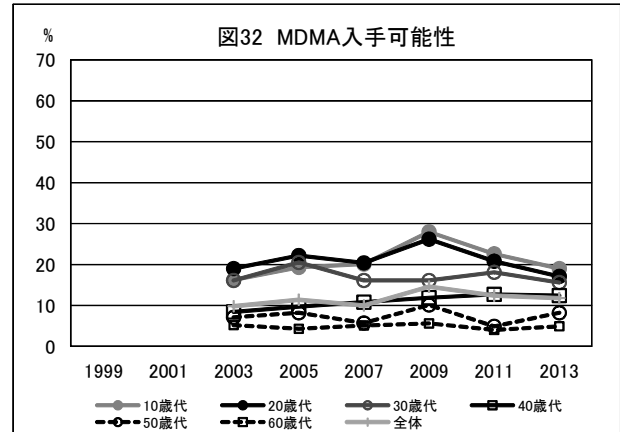
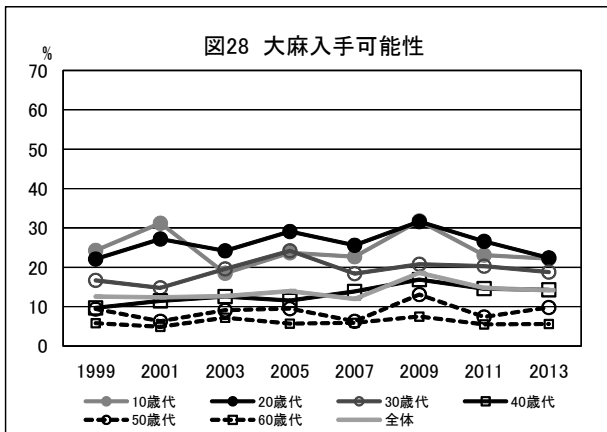
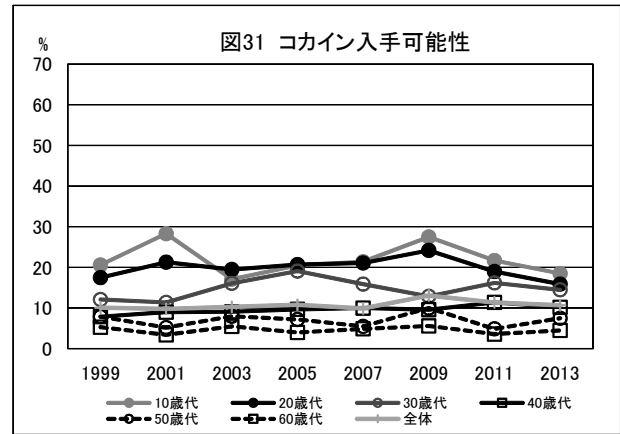
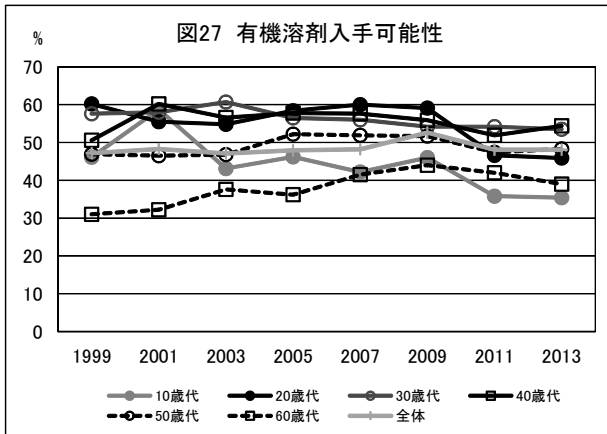
7. 違法薬物の入手可能性について

違法薬物の入手可能性についての結果は表115～表120に示した。その結果のうち「簡単に手に入る」、または「少々苦勞するが何とか手に入る」と答えた者 (入手可能群) の割合の年次推移を図26～32に示した。

「ほとんど不可能」+「絶対不可能」を入手不可能群すると、2011年調査までは有機溶剤のみで入手可能群が入手不可能群を上回っていた、2013年調査では有機溶剤でも「入手不可能群」の方が多くなり、初めてすべての薬物で「入手不可能群」の方が「入手可能群」上回る結果となった。有機溶剤は「ホームセンター」等で購入できるわけだが、この回答結果は、それだけ有機溶剤乱用が人々の関心事ではなくなったと言うことの表れであろう。図26を見る限り、某女優の覚せい剤問題で騒然とした2009年を除けば、各薬物の入手可能性に大きな変化はない。

この入手可能性は、図27～図32に見るとおり、有機溶剤を除けば、どの薬物でもほとんど類似の割合、トレンドを示しており、回答者のほとんどが薬物乱用非経験者であることもあり、マスメディア等の影響を受けた上での「印象」であり、実情とはそぐわない可能性が高いと考えられる。





8. 法の遵守性について

本研究者は、わが国の薬物乱用・依存状況が多く先進諸国に比べて良好な背景には、国民の遵法精神の高さがあると推定している。規制薬物は、事実上使用自体が法により規制されており、その使用について如何なる意識を持っているかを調査した（表121、表122）。「法律で云々言う以前にするべきでない」と答えた者が、大麻で84.1%、覚せい剤で90.0%であり、わが国での薬物乱用に対する規範意識の高さが理解できる。

それとは裏腹に、「法律で禁止されてはいるが、少々ならかまわないと思う」や「法律で禁止されてはいるが、そもそも法律で決める必要はなく、個人の判断だと思う」を選ぶ者（「容認群」）の割合が増えてくると、法規制の実効性は弱くなる。図33、図34は、「法律で禁止されてはいるが、少々ならかまわないと思う」ないしは「法律で禁止されてはいるが、そもそも法律で決める必要はなく、個人の判断だと思う」を選んだ者の割合の年次推移を示している。

大麻でも覚せい剤でも、1999年調査に比べれば、今日の容認群の割合は明らかに低くなっている。

大麻でも覚せい剤でも、20歳代では2005年以降、10歳代では2007年以降、上昇傾向にあったが、2009年以降、10歳代でも20歳代でも、容認群の割合は激減している。30歳代での容認群の割合は、横ばい気味であったが、2013年では低下していた。

また、いつものことではあるが、覚せい剤に比べて、大麻への認識は相変わらず相対的には「甘い」ようである。

大麻に関する誤った認識をただす必要がある。

9. 規制（違法）薬物の動向

わが国の今日的薬物乱用状況を把握するためには、1年経験率、1年被誘惑率等、直近に近い状況を把握することが望まれる。しかし、本調査研究に示すように、わが国の場合にはそもそもの生涯経験率、生涯被誘惑率が他の先進諸国との比較上「驚異的」に低いために、1年経験率、1年被誘惑率は統計誤差内となってしまう、論ずる根拠となるべきデータにはなり得ない。したがって、わが国場合、今日的薬物乱用状況把握には生涯経験率、

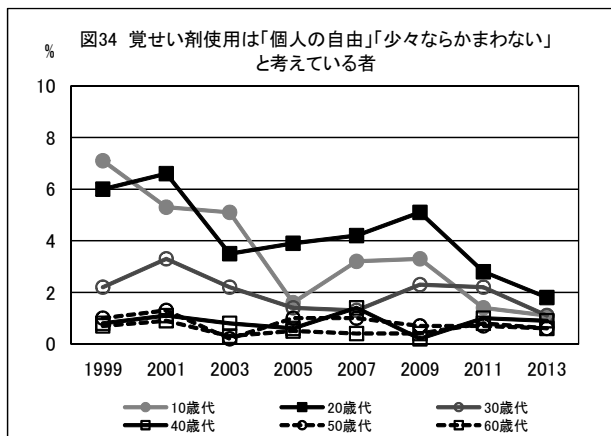
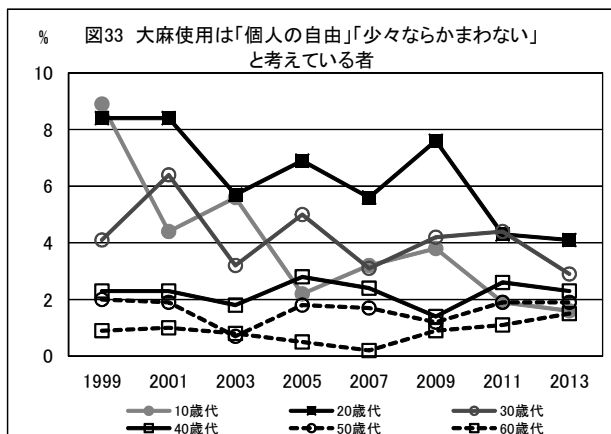


図35 被誘惑率・経験率の変化(2011年→2013年)

	生涯被誘惑率	生涯経験率
有機溶剤	↘	↗
大麻	↗	→
覚せい剤	→	→
MDMA	↗	↗
コカイン	↗	誤差内
いずれか	↗	↘
いずれか (有機溶剤以外)	↗	↘

↗ : 2011年に比べて、0.2~0.9ポイントの増加

↘ : 2011年に比べて、0.2~0.9ポイントの減少

生涯被誘惑率を使わざるを得ないという事情がある。

生涯被誘惑率(図23)から見た、割合の高い薬物は、2011年までは、「有機溶剤>大麻>覚せい剤>MDMA>コカイン」の順(2007年にMDMAとコカインとの順番が入れ替わったことがあるが)で一定していたが、今回の2013年調査で、大麻の生涯被誘惑率が初めて第一位となり、順番は「大麻>有機溶剤>覚せい剤>MDMA>コカイン」となった。

図23を経年的変化を見ると、ほとんどの薬物で生涯被誘惑率が横ばい傾向である中で、唯一、大麻だけが確実に漸増傾向を示しており、今日の大麻乱用の拡がりを反映しているようである。

このことは、生涯経験率(図24)の経年変化にも現れており、ほとんどの薬物で生涯経験率が横ばい傾向である中で、唯一、大麻だけが確実に漸増傾向を示しており、今日の大麻乱用の拡がりを反映しているようである。しかしながら、生涯経験率の高い順では、1995年以降一貫して、「有機溶剤>大麻>覚せい剤>MDMA>コカイン」であり、未だに「大麻>有機溶剤」とまでは至っていない。当研究者らは、2005年調査の結果を見て、2007年調査では生涯経験率で大麻が有機溶剤に取って代わり、第一位になるのではないかと予測したが、結果的には、そうはならず、今日に至っている。

その原因として、大麻事犯の報道が増えることによって、大麻使用に関して正直に答えることが難しくなるという「心理的バイアス」が高まるせいではないかと考えた。逆に、これは、経験的推測の域をでないことではあるが、ある薬物についてバイアスが強く働くと、どういう訳か、それ以

外の薬物に関するバイアスが低下する傾向があるのではないかという感想を持っている。大麻の生涯経験率が低下すると、有機溶剤の生涯経験率が上昇するきらいがあるのである。それとは別に、有機溶剤が未だに生涯経験率一位を維持している事実は、第二次覚せい剤乱用期での有機溶剤乱用の広がり如何に大きかったかを物語っている。ただし、表Aに示したように、有機溶剤の生涯経験率は「過去の経験」が主であり、「大麻＞有機溶剤」と順序が入れ替わるのは時間の問題であろう。

また、今回、脱法ドラッグの乱用の拡がりを初めて調査したが、生涯経験率は0.4%（男：0.7%、女：0.2%）で、「有機溶剤（1.9%）＞大麻（1.1%）＞覚せい剤（0.5%）」に次いで第4位であった。ただし、有機溶剤乱用の生涯経験は「過去の経験」であり、ほとんどの薬物の生涯乱用経験者の平均年齢が40歳代初めであるのに対して、脱法ドラッグのそれは33.8歳と群を抜いて若く、今日的な社会問題であることを示唆していた。

本研究者は、今日の薬物乱用の特徴として、「使うと捕まる薬物の乱用から、使っても捕まらない薬物の乱用へのシフト」であると指摘してきたが²⁰⁾、脱法ドラッグこそ、この流れの象徴的薬物であり、この脱法ドラッグ対策こそが、今急がれる最大の薬物問題の一つであると考えている²¹⁾。

E. 結論

わが国の飲酒・喫煙・医薬品をも含めた薬物使用・乱用・依存状況を把握するために、住民基本台帳から層化二段無作為抽出法（調査地点数：350）により選ばれた全国の15歳以上64歳以下の5,000人に対して、戸別訪問留置法による自記式調査を実施した。今回の2013年調査では、脱法ドラッグについて初めて調べた。

調査期間は2013年10月17日～10月27日である。

回収数及び有効回答数は、2,948（59.0%）及び2,926であった。

【飲酒】

① 飲酒生涯経験率（これまでに1回でも飲酒したことのある者の率）は、男性で94.1%（2011年調査では95.2%。以下同じ。）、女性で94.5%（94.6%）、全体で94.3%（94.9%）であった。（以上、補正值）

② 飲酒1年経験率（この1年間で1回でも飲酒したことのある者の率）は、男性で85.7%（88.9%）、女性で79.1%（81.9%）、全体で81.9%（85.3%）であった。（以上、補正值）

③ 過去1年間の飲酒頻度は、男性では「ほとんど毎日」の者が32.5%（31.1%）と最も多く、「週3～6回」の者も含めると、49.4%（47.4%）にのびた。女性では「1年間に数回」の者が32.8%（34.6%）と最も多かった。

④ その他、飲酒の機会、禁酒経験等、わが国の飲酒はライフ・サイクルと深く結びついており、飲酒問題を論じる際には、飲んだことがあるかないかを基準にしても、さほど意味がなく、機会、頻度、量等の質的要因を考慮する必要があることが示唆された。

【喫煙】

① 喫煙の生涯経験率は、男性で79.2%（81.3%）、女性で51.2%（50.2%）、全体で64.3%（65.2%）であった。（以上、補正值）

② 1年経験率は、男性で39.4%（43.4%）、女性で16.5%（16.2%）、全体で27.2%（29.3%）であった。この1年経験率は過去最低の記録であった。（以上、補正值）

③ 年代別に見た生涯経験率、1年経験率共に、10歳代、20歳代での経年的減少傾向が顕著であった。

④ また、禁煙を考えたことのある者の割合は、男性では年代と共に増加していたが、女性では妊娠との関係か、20～30歳代で高い値を示していた。

【医薬品】

① 家庭の常備薬としての常備頻度は、①風邪薬66.3%、②湿布薬55.5%、③胃腸薬52.5%、④目薬52.2%、⑤鎮痛薬46.4%の順に頻度が高かった。従来は、①風邪薬、②胃腸薬、③目薬、④湿布薬、⑤鎮痛薬の順であったが、今回の2013年調査で初めて順位が変わっていた。

② この1年間に1回でも使用したことのある医薬品としては、①風邪薬65.1%（63.8%）、②鎮痛薬60.8%（58.6%）、③目薬49.5%（50.0%）、④湿布薬45.1%（43.7%）、⑤胃腸薬40.3%（40.4%）の順で頻度が高かった。この順番は2007年～2011年調査の結果と同じであった。

③ 鎮痛薬、精神安定薬、睡眠薬をこの1年間に使用したことのある者の割合は、鎮痛薬で61.4%（58.6%）、精神安定薬で6.2%（5.6%）、睡眠薬で5.6%（5.6%）であった。

6%)であった(補正值)。

医薬品を常用(週3回以上)している者の割合は、鎮痛薬で3.6%(2.4%)、精神安定薬で2.9%(3.0%)、睡眠薬で2.1%(1.9%)であった。

④ この1年間で、「遊び・快感目的」で医薬品を乱用した者は、精神安定薬、睡眠薬では認められなかったが、鎮痛剤では1名認められた。

⑤ 以上より、鎮痛薬、精神安定薬、睡眠薬の使用に関しては、明かな問題点は見あたらなかったが、今後もモニタリングが必要である。

【違法薬物】

① この1年間で、身近に違法薬物を乱用したことがある人を知っている率は、高い順に、大麻0.9%、有機溶剤0.8%、脱法ドラッグ0.8%、覚せい剤0.5%、MDMA0.1%の順であった。2011年調査までは、この割合が最も高い薬物は有機溶剤であったが、今回の2013年調査で大麻が初めてトップとなった。同時に、脱法ドラッグが有機溶剤と同じ割合で2位として記録されたことも、今日的薬物乱用状況を反映していると推定できる。

② 違法薬物乱用の生涯被誘惑率(これまでに1回でも誘われたことのある者の率)は、大麻で2.7%(2.0%)、有機溶剤で2.6%(2.9%)、覚せい剤で0.9%(0.9%)、MDMAで0.4%(0.2%)、コカインで0.3%(0.2%)の順に高かった。ヘロインのそれは、統計誤差内であった。また、これら6種のうちのいずれかの薬物の使用への生涯被誘惑率は4.8%(4.6%)であり、有機溶剤を除いたいずれかの生涯被誘惑率は3.3%(2.8%)であった。

この生涯被誘惑率は、2011年まで一貫して、有機溶剤>大麻>覚せい剤>MDMAないしはコカインの順に高かったが、今回の2013年調査で大麻が初めて第一位となった。また、対2011年で見ると、有機溶剤で低下し、覚せい剤で変化がなく、それ以外の薬物では微増傾向を示していた。経年的観点からみると、ほとんどの薬物で生涯被誘惑率が横ばい傾向である中で、唯一、大麻だけが確実に漸増傾向を示しており、今日の大麻乱用の拡がりを反映しているようである。

③ 生涯経験率(これまでに1回でも乱用したことがある者の率)は、有機溶剤で1.9%(1.6%)、大麻で1.1%(1.2%)、覚せい剤で0.5%(0.4%)、MDMAで0.3%(0.1%)、脱法ドラッグで0.4%であった。コカイン、ヘロインでは統計誤差内であった。また、これらのうちのいずれかの薬物の生涯経験率は、

2.5%(2.7%)で、有機溶剤を除いたいずれかの薬物の生涯経験率は1.3%(1.5%)であった。有機溶剤と脱法ドラッグを除いたいずれかの薬物の生涯経験率は1.3%であった。

対2011年で見ると、大麻、覚せい剤で変化がなく、有機溶剤、MDMAで微増していたが、いずれかの薬物、および、有機溶剤を除いたいずれかの薬物で微減していた。経年的観点から見ると、ほとんどの薬物で生涯経験率が横ばい傾向である中で、唯一、大麻だけが確実に漸増傾向を示しており、今日の大麻乱用の拡がりを反映しているようである。

それぞれの薬物の生涯経験者の平均年齢は、有機溶剤で43.8歳と最も高く、有機溶剤の生涯経験率は「過去の経験」の反映であることが強く示唆された。それ以外の薬物の生涯経験者の平均年齢は40歳代初めがほとんどであったが、脱法ドラッグのみ33.8歳であり、脱法ドラッグの乱用が現時点での重要問題であることが強く示唆していた。

国際的に見た日本の違法薬物の生涯経験率は、「奇跡」と言って良いほど低い。しかし、30歳代に限れば、生涯経験率は何らかの薬物で4.1%となり、単純に楽観視すべきではない。

④ 脱法ドラッグ乱用経験者の75%の者には大麻の乱用経験もあり、50%の者には有機溶剤乱用経験、33.3%の者には覚せい剤の乱用経験が認められた。

生涯脱法ドラッグ乱用経験者がこれまでに使用した脱法ドラッグは、男女の全体では、「ハーブ系」58.3%、「リキッド系」50.0%、「パウダー系」33.3%であった。男性では、「ハーブ系」62.5%、「リキッド系」37.5%、「パウダー系」37.5%であったが、女性では「リキッド系」75.0%、「ハーブ系」50.0%、「パウダー系」25.0%であった。男性では脱法ドラッグに大麻類似の効果を期待し、女性では覚せい剤類似の効果を期待する者が多いと推測したいところであるが、そもそも調査対象の人数が少なく、推測の域を出ない。

⑤ 従来通り、薬物の呼称には年代による違いがあることが再確認された。この知見は、薬物乱用防止のための啓発活動や教育に生かしてゆく必要がある。

⑥ 違法薬物の入手可能性については、2011年調査まで、有機溶剤のみが入手可能群(「簡単に手に入る」+「少々苦勞するが、なんとか手に入る」)

が入手不可能群（「ほとんど不可能」＋「絶対不可能」）を上回っていた（生データ）が、2013年調査では、初めて、すべての薬物について、入手不可能群の数が入手可能群を上回る結果であった。

⑦ わが国の薬物乱用・依存状況が多く、多くの国に比べて良好を保ってきた背景には、遵法精神の高さがあると思われるが、2013年調査でも、その傾向は保たれていた。

⑧ 違法薬物乱用防止の教育・啓発が進み、同時に、取締の強化が図られれば図られるほど、回答者側での「正直に答えたくない」という心理的バイアスが高くなり、本調査のような方法論による調査の結果は、実際の状況よりはますます低い結果を示す特質にあることは否めない。

毎回のことではあるが、今日の状況の把握には、1年被誘惑率、1年経験率が知りたいところではあるが、毎回、統計誤差内となってしまう。

しかし、この種の調査では本研究で採用した調査法が国際的に認知された調査法であると同時に、それ以外の調査方法が事実上不可能なことも国際的現実である。

地味ながら、今後も本調査を継続してゆく必要がある。

⑨ **【結論】** 今回の2013年調査は、2011年下半期に突如として社会問題化した脱法ドラッグの乱用の拡がりを調べる、わが国初の全国調査となった。薬物乱用の生涯誘惑率、生涯経験率は、経年的視点からは、ほとんどの薬物で「横ばい」傾向を示す中で、唯一、大麻だけが生涯誘惑率、生涯経験率ともに確実な漸増傾向を示していた。特に生涯被誘惑率は、2011年まで一貫して、有機溶剤＞大麻＞覚せい剤＞MDMAないしはコカインの順に高かったが、今回の2013年調査で大麻が初めて第一位となった。このことは、今日の大麻乱用の拡がりを反映しているようである。生涯経験率は、有機溶剤＞大麻＞覚せい剤＞MDAM＞脱法ドラッグの順に高いが、有機溶剤の生涯経験率は「過去の経験」であり、現時点で最も乱用されている薬物は大麻であると考えられる。今回初めて脱法ドラッグ乱用の拡がりを調べたが、脱法ドラッグ以外の薬物の生涯経験者の平均年齢は40歳代初めがほとんどであるのに対して、脱法ドラッグ生涯経験者のみが33.8歳であり、脱法ドラッグの乱用が現時点での問題であること強く示唆していた。脱法ドラッ

グの害知識の周知率は高くなく、この脱法ドラッグ乱用に対する啓発活動、教育活動と大麻乱用対策が今日的急務であると考えられる。

F. 健康危険情報

本調査自体が健康危険情報に関するものであるが、一刻を争う性質のものではない。

G. 研究発表

1. 著書

なし

2. 論文

- 1) 和田 清, 船田正彦, 松本俊彦, 嶋根卓也: わが国の薬物乱用・依存の最近の動向-特に「脱法ドラッグ」問題について-。臨床精神医学 42(9): 1069-1078, 2013.
- 2) Kiyoshi Wada, Masahiko Funada, Toshihiko Matsumoto, Takuya Shimane: Current status of substance abuse and HIV infection in Japan. Journal of food and drug analysis 21: S33-S36. 2013.

3. 学会発表

- 1) Kiyoshi Wada, Masahiko Funada, Takuya Shimane: Current Status of Substance Abuse and HIV in Japan. Plenary Session II (D10 3) Current Status of Substance Abuse and HIV in Asia and Pacific Islands. 2013 International Conference on Global Health: Prevention and Treatment of Substance Use Disorders and HIV. Howard Civil Service International House, Taipei, Taiwan. April 17-19, 2013.
- 2) 和田 清, 船田正彦, 嶋根卓也, 松本俊彦: 脱法ドラッグを含む薬物の乱用・依存・中毒. 第60回北海道薬学大会 北海道薬剤師会 学校薬剤師部会. 札幌コンベンションセンター. 2013. 5. 19.
- 3) 和田 清, 船田正彦, 嶋根卓也, 松本俊彦: 薬物の乱用・依存・中毒と脱法ドラッグ. 日本法中毒学会第32年会. さわやかちば県民プラザ (柏市). 2013. 7. 5.
- 4) 和田 清: 最近の薬物乱用状況と青少年の薬物乱用問題-「脱法ドラッグ」を含めて-.

第60回近畿学校保健学会. 神戸新聞松方ホール. 2013. 7. 7.

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

謝辞

本調査研究にご回答をいただいた、多くの方々に、心よりお礼を述べさせていただきます。

引用文献

- 1) 福井 進、和田 清、伊豫雅臣：薬物依存の世帯調査. 平成4年度厚生科学研究費補助金 (麻薬等総合対策研究事業)「薬物依存の社会的、精神医学的特徴に関する研究 (主任研究者：福井 進)」平成4年度研究報告書、pp. 9-23, 1993.
- 2) 福井 進、和田 清、伊豫雅臣：薬物依存の世帯調査. 平成5年度厚生科学研究費補助金 (麻薬等総合対策研究事業)「薬物依存の社会的、精神医学的特徴に関する研究 (主任研究者：福井 進)」平成5年度研究報告書、pp. 5-26, 1994.
- 3) 福井 進、和田 清、伊豫雅臣：薬物依存の世帯調査. 平成6年度厚生科学研究費補助金 (麻薬等総合対策研究事業)「薬物依存の社会的、精神医学的特徴に関する研究 (主任研究者：福井 進)」平成6年度研究報告書、pp. 5-34, 1995.
- 4) 福井 進、和田 清、伊豫雅臣、浦田重治郎、尾崎 茂：薬物乱用・依存の世帯調査. 平成7年度厚生科学研究費補助金 (麻薬等対策総合研究事業)「薬物依存・中毒者の疫学調査及び精神医療サービスに関する研究 (主任研究者：寺元 弘)」平成7年度研究報告書第1分冊、pp. 5-35, 1996.
- 5) 福井 進、和田 清、菊池周一、尾崎 茂、浦田重治郎：薬物乱用・依存の世帯調査. 平成9年度厚生科学研究費補助金 (麻薬等対策総合研究事業)「薬物依存・中毒者の疫学調査及び精神医療サービスに関する研究 (主任研究者：寺元 弘)」平成9年度研究報告書第1分冊、pp. 7-48, 1998.
- 6) 和田 清、勝野眞吾、尾崎米厚、中野良吾：中学生における「シンナー遊び」・喫煙・飲酒についての調査研究. 平成8年度厚生科学研究費補助金 (麻薬等対策総合研究事業) 研究報告書「薬物依存・中毒者の疫学調査及び精神医療サービスに関する研究班」(主任研究者：寺元 弘) 第1分冊薬物乱用・依存の多面的疫学調査研究 (2). pp. 21-60. 1996.
- 7) Wada, K., Price, R. K., Fukui, S.: Reflecting Adult Drinking Culture: Prevalence of Alcohol Use and Drinking Situations among Japanese Junior High School Students in Japan. *Journal of Studies on Alcohol* 59: 381-386, 1998.
- 8) 和田 清、中野良吾、尾崎米厚、勝野眞吾：薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査. 平成10年度厚生科学研究費補助金 (医薬安全総合研究事業)「薬物乱用・依存等の疫学的研究及び中毒性精神病患者等に対する適切な医療のあり方についての研究 (主任研究者：和田 清) 研究報告書. pp. 19-83, 1999.
- 9) 和田 清：薬物依存の最近の傾向と対策. *日本医事新報* 第3920号: 25-32, 1999.
- 10) 和田 清：中学生における飲酒一飲酒文化の反映一. *日本アルコール・薬物医学会雑誌* 34: 36-48, 1999.
- 11) 和田 清、菊池安希子、尾崎 茂、菊池周一：薬物使用に関する全国住民調査. 平成11年度厚生科学研究費補助金 (医薬安全総合研究事業)「薬物乱用・依存等の疫学的研究及び中毒性精神病患者等に対する適切な医療のあり方についての研究 (主任研究者：和田 清) 研究報告書. pp. 17-70, 2000. 3.
- 12) Wada K.: Lifetime Prevalence of Alcohol Drinking, Cigarette Smoking, and Solvent Inhalation among Junior High School Students in Japan: Tradition and Urbanization. *Jpn. J. Alcohol & Drug Dependence* 36 (2): 124-141, 2001.
- 13) 和田 清、菊池安希子、尾崎米厚、勝野眞吾：薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査. 平成12年度厚生科学研究費補助金 (医薬安全総合研究事業)「薬物乱用・依存等の疫学的研究及び中毒性精神病患者等に対する適切な医療のあり方についての研究 (主任研究者

- : 和田 清) 研究報告書. pp. 15-76, 2001.
- 14) 和田 清: 薬物乱用の現状と歴史. 神経精神薬理 19: 913-923, 1997.
- 15) 和田 清、菊池安希子、尾崎 茂: 薬物使用に関する全国住民調査. 平成13年度厚生科学研究費補助金(医薬安全総合研究事業)「薬物乱用・依存等の実態把握に関する研究及び社会経済的損失に関する研究(主任研究者: 和田 清) 研究報告書. pp. 15-77, 2002. 3.
- 16) 和田 清、畢 穎、鈴木紀美子、尾崎米厚、勝野眞吾: 薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査(2002年). 平成14年度厚生労働科学研究費補助金(医薬安全総合研究事業)「薬物乱用・依存等の実態把握に関する研究及び社会経済的損失に関する研究(主任研究者: 和田 清) 研究報告書. pp. 19-86, 2003.
- 17) 和田 清、高橋伸彰、尾崎 茂: 薬物使用に関する全国住民調査. 平成15年度厚生労働科学研究費補助金(医薬安全総合研究事業)「薬物乱用・依存の実態とその社会的影響・対策に関する研究(主任研究者: 和田 清) 研究報告書. pp. 17-87, 2004. 3.
- 18) 和田 清、嶋根卓也、近藤あゆみ: 薬物使用に関する全国住民調査. 平成17年度厚生労働科学研究費補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)「薬物乱用・依存等の実態把握と乱用・依存者に対する対応策に関する研究(主任研究者: 和田 清) 研究報告書. pp. 17-105, 2006. 3. 31.
- 19) 和田 清、嶋根卓也、近藤あゆみ: 薬物使用に関する全国住民調査. 平成19年度厚生労働科学研究費補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)「薬物乱用・依存等の実態把握と「回復」に向けての対応策に関する研究(主任研究者: 和田 清) 研究報告書. pp. 15-95, 2008. 3. 31.
- 20) 和田 清、尾崎 茂、近藤あゆみ: 薬物乱用・依存の今日的状況と政策的課題. 日本アルコール・薬物医学会誌 43(2): 120-131. 2008.
- 21) 和田 清、嶋根卓也、立森久照: 薬物使用に関する全国住民調査(2009年). 平成21年度厚生労働科学研究費補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)「薬物乱用・依存の実態把握と再乱用防止のための社会資源等の現状と課題に関する研究(主任研究者: 和田 清) 研究報告書. pp. 15-95, 2010. 3. 31.
- 22) 和田 清、船田正彦、松本俊彦、嶋根卓也: わが国の薬物乱用・依存の最近の動向-特に「脱法ドラッグ」問題について-. 臨床精神医学 42(9): 1069-1078, 2013.
- 23) 和田 清、嶋根卓也、小堀栄子: 飲酒・喫煙・くすりの使用についてのアンケート調査(2011年). 平成23年度厚生労働科学研究費補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)「薬物乱用・依存等の実態把握と薬物依存症者に関する制度的社会資源の現状と課題に関する研究(研究代表者: 和田 清) 研究報告書. pp. 15-95, 2012. 3. 31.
- 24) 谷渕由布子、松本俊彦、立森久照、高野 歩、和田 清: 「脱法ドラッグ」乱用・依存者の臨床的特徴-乱用する製品の形状による比較-. 精神科治療学 29(1): 113-121, 2014.)

表5 対象の性・年齢・学歴 (%)

		男		女		全体	
年 齢	15-19歳	99	(7.2)	90	(5.8)	189	(6.5)
	20-24歳	64	(4.7)	82	(5.3)	146	(5.0)
	25-29歳	88	(6.4)	106	(6.8)	194	(6.6)
	30-34歳	124	(9.1)	123	(7.9)	247	(8.4)
	35-39歳	156	(11.4)	162	(10.4)	318	(10.9)
	40-44歳	150	(10.9)	201	(12.9)	351	(12.0)
	45-49歳	154	(11.2)	179	(11.5)	333	(11.4)
	50-54歳	155	(11.3)	175	(11.2)	330	(11.3)
	55-59歳	165	(12.0)	186	(12.0)	351	(12.0)
	60-64歳	215	(15.7)	252	(16.2)	467	(16.0)
学 歴	小学校	2	(.1)	0	(.0)	2	(.1)
	中学校	95	(6.9)	84	(5.4)	179	(6.1)
	専門学校 (中卒後)	27	(2.0)	30	(1.9)	57	(1.9)
	専門学校 (高校中退後、ないしは高卒後)	135	(9.9)	247	(15.9)	382	(13.1)
	高等学校	533	(38.9)	642	(41.3)	1175	(40.2)
	短大・大学以上	569	(41.5)	535	(34.4)	1104	(37.7)
	その他	7	(.5)	10	(.6)	17	(.6)
	無回答	2	(.1)	8	(.5)	10	(.3)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)	

表6 対象の職業・身分 (%)

		男		女		全体	
中学生	13	(.9)	12	(.8)	25	(.9)	
高校生	62	(4.5)	59	(3.8)	121	(4.1)	
予備校生	4	(.3)	2	(.1)	6	(.2)	
専門学校・各種学校生徒	9	(.7)	11	(.7)	20	(.7)	
短大生・大学生・大学院生	31	(2.3)	38	(2.4)	69	(2.4)	
農林漁自営者	31	(2.3)	17	(1.1)	48	(1.6)	
商店主	27	(2.0)	20	(1.3)	47	(1.6)	
工場主	26	(1.9)	8	(.5)	34	(1.2)	
土木建設業種	37	(2.7)	8	(.5)	45	(1.5)	
医療関係業種	13	(.9)	10	(.6)	23	(.8)	
サービス業事業主	38	(2.8)	35	(2.2)	73	(2.5)	
その他の事業主	30	(2.2)	18	(1.2)	48	(1.6)	
販売従業者	129	(9.4)	126	(8.1)	255	(8.7)	
保安従業者	29	(2.1)	0	(.0)	29	(1.0)	
運輸従業者	80	(5.8)	4	(.3)	84	(2.9)	
通信従業者	6	(.4)	9	(.6)	15	(.5)	
サービス業従業者	39	(2.8)	87	(5.6)	126	(4.3)	
技能職従業者	25	(1.8)	33	(2.1)	58	(2.0)	
土木建築業従業者	86	(6.3)	2	(.1)	88	(3.0)	
工場労働者・工業作業員	143	(10.4)	59	(3.8)	202	(6.9)	
その他の労務従業者	24	(1.8)	27	(1.7)	51	(1.7)	
事務従業者	114	(8.3)	219	(14.1)	333	(11.4)	
管理的職業	90	(6.6)	5	(.3)	95	(3.2)	
医療職従業者	31	(2.3)	131	(8.4)	162	(5.5)	
その他の専門・技術従業者	126	(9.2)	92	(5.9)	218	(7.5)	
専業主婦・専業主夫	3	(.2)	436	(28.0)	439	(15.0)	
無職	97	(7.1)	58	(3.7)	155	(5.3)	
その他	9	(.7)	18	(1.2)	27	(.9)	
無回答	18	(1.3)	12	(.8)	30	(1.0)	
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)	

表7 これまでの飲酒経験の有無 (%)

未補正

	男		女		全体	
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)
飲酒経験 なし	75	(5.5)	91	(5.8)	166	(5.7)
飲酒経験 あり	1289	(94.1)	1461	(93.9)	2750	(94.0)
無回答	6	(.4)	4	(.3)	10	(.3)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表7-2 生涯飲酒経験率 (%)

未補正

	なし		あり		無回答		合計	
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)
男女計								
10歳代	112	(59.3)	77	(40.7)	0	(.0)	189	(100.0)
20歳代	11	(3.2)	328	(96.5)	1	(.3)	340	(100.0)
30歳代	9	(1.6)	556	(98.4)	0	(.0)	565	(100.0)
40歳代	6	(.9)	676	(98.8)	2	(.3)	684	(100.0)
50歳代	8	(1.2)	668	(98.1)	5	(.7)	681	(100.0)
60歳代	20	(4.3)	445	(95.3)	2	(.4)	467	(100.0)
合計	166	(5.7)	2750	(94.0)	10	(.3)	2926	(100.0)
男								
10歳代	52	(52.5)	47	(47.5)	0	(.0)	99	(100.0)
20歳代	10	(6.6)	142	(93.4)	0	(.0)	152	(100.0)
30歳代	4	(1.4)	276	(98.6)	0	(.0)	280	(100.0)
40歳代	2	(.7)	301	(99.0)	1	(.3)	304	(100.0)
50歳代	2	(.6)	315	(98.4)	3	(.9)	320	(100.0)
60歳代	5	(2.3)	208	(96.7)	2	(.9)	215	(100.0)
合計	75	(5.5)	1289	(94.1)	6	(.4)	1370	(100.0)
女								
10歳代	60	(66.7)	30	(33.3)	0	(.0)	90	(100.0)
20歳代	1	(.5)	186	(98.9)	1	(.5)	188	(100.0)
30歳代	5	(1.8)	280	(98.2)	0	(.0)	285	(100.0)
40歳代	4	(1.1)	375	(98.7)	1	(.3)	380	(100.0)
50歳代	6	(1.7)	353	(97.8)	2	(.6)	361	(100.0)
60歳代	15	(6.0)	237	(94.0)	0	(.0)	252	(100.0)
合計	91	(5.8)	1461	(93.9)	4	(.3)	1556	(100.0)

表8 これまでに飲酒した機会（生涯飲酒経験者のみ）（複数回答）（%）

	男		女		全体	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
冠婚葬祭	923	(71.6)	985	(67.4)	1908	(69.4)
仕事・商売上の必要	718	(55.7)	528	(36.1)	1246	(45.3)
上司とのつきあい	690	(53.5)	464	(31.8)	1154	(42.0)
友人・同僚と	1024	(79.4)	1147	(78.5)	2171	(78.9)
その他つきあい	522	(40.5)	347	(23.8)	869	(31.6)
家の食事・団らん	932	(72.3)	1040	(71.2)	1972	(71.7)
外の食事・団らん	730	(56.6)	778	(53.3)	1508	(54.8)
仕事で嫌なこと	279	(21.6)	210	(14.4)	489	(17.8)
家で面白くないこと	186	(14.4)	140	(9.6)	326	(11.9)
寝る前	415	(32.2)	276	(18.9)	691	(25.1)
その他	26	(2.0)	23	(1.6)	49	(1.8)
飲酒歴あったが飲酒機会不明	20	(1.6)	9	(.6)	29	(1.1)
合計	1289	(100.0)	1461	(100.0)	2750	(100.0)

表9 初めての飲酒経験年齢（初飲年齢）（飲酒経験者のみ）、（%）、[累積%]

	男			女			全体		
	人数	(%)	[累積%]	人数	(%)	[累積%]	人数	(%)	[累積%]
小学校以前	59	(4.6)	[4.6]	46	(3.1)	[3.1]	105	(3.8)	[3.8]
小学校時代	204	(15.8)	[20.4]	237	(16.2)	[19.4]	441	(16.0)	[19.9]
中学校時代	230	(17.8)	[38.2]	120	(8.2)	[27.6]	350	(12.7)	[32.6]
中卒後～17歳	226	(17.5)	[55.8]	156	(10.7)	[38.3]	382	(13.9)	[46.5]
18-19歳	332	(25.8)	[81.5]	395	(27.0)	[65.3]	727	(26.4)	[72.9]
20歳以降	227	(17.6)	[99.1]	495	(33.9)	[99.2]	722	(26.3)	[99.2]
初飲酒年齢不明	4	(.3)	[99.5]	5	(.3)	[99.5]	9	(.3)	[99.5]
無回答	7	(.5)	[100.0]	7	(.5)	[100.0]	14	(.5)	[100.0]
合計	1289	(100.0)		1461	(100.0)		2750	(100.0)	

表10 それなりに飲酒するようになった時期（飲酒経験者のみ）、（%）、[累積%]

	男			女			全体		
	人数	(%)	[累積%]	人数	(%)	[累積%]	人数	(%)	[累積%]
それなりには至ったことがない	150	(11.6)	[11.6]	266	(18.2)	[18.2]	416	(15.1)	[15.1]
小学校以前	0	(.0)	[0.0]	0	(.0)	[0.0]	0	(.0)	[0.0]
小学校時代	0	(.0)	[11.9]	1	(.1)	[18.3]	1	(.0)	[15.2]
中学校時代	4	(.3)	[17.0]	8	(.5)	[18.8]	12	(.4)	[15.6]
中卒後～17歳	65	(5.0)	[46.2]	20	(1.4)	[20.2]	85	(3.1)	[18.7]
18-19歳	377	(29.2)	[97.0]	250	(17.1)	[37.3]	627	(22.8)	[41.5]
20歳以降	654	(50.7)	[99.0]	862	(59.0)	[96.3]	1516	(55.1)	[96.6]
飲酒開始年齢不明	26	(2.0)	[100.0]	34	(2.3)	[98.6]	60	(2.2)	[98.8]
無回答	13	(1.0)		20	(1.4)	[100.0]	33	(1.2)	[100.0]
合計	1289	(100.0)		1461	(100.0)		2750	(100.0)	

表11 過去1年での飲酒経験（飲酒1年経験率）（%）

	男		女		全体	
なし	190	(13.9)	328	(21.1)	518	(17.7)
あり	1171	(85.5)	1224	(78.7)	2395	(81.9)
無回答	9	(.7)	4	(.3)	13	(.4)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表11-2 飲酒1年経験率の年代別推移（%）

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	合計
2003							
2005	45.2	95.2	90.1	89.7	86.9	86.5	84.0
2007	50.6	93.0	88.9	89.4	88.0	83.1	83.6
2009	39.3	90.9	86.9	87.8	86.2	83.4	83.8
2011	39.2	89.7	89.6	88.3	88.5	85.4	85.0
2013	27.0	89.4	85.8	86.7	86.9	79.2	81.9

表12 過去1年に飲酒した機会（過去1年飲酒経験者のみ）（複数回答）（%）

	男		女		全体	
冠婚葬祭	630	(53.8)	478	(39.1)	1108	(46.3)
仕事・商売上の必要	532	(45.4)	233	(19.0)	765	(31.9)
上司とのつきあい	463	(39.5)	176	(14.4)	639	(26.7)
友人・同僚と	858	(73.3)	785	(64.1)	1643	(68.6)
その他つきあい	380	(32.5)	198	(16.2)	578	(24.1)
家の食事・団らん	838	(71.6)	871	(71.2)	1709	(71.4)
外の食事・団らん	625	(53.4)	591	(48.3)	1216	(50.8)
仕事で嫌なこと	197	(16.8)	87	(7.1)	284	(11.9)
家で面白くないこと	134	(11.4)	80	(6.5)	214	(8.9)
寝る前	359	(30.7)	215	(17.6)	574	(24.0)
その他	17	(1.5)	13	(1.1)	30	(1.3)
飲酒歴あったが機会不明	8	(.7)	0	(.0)	8	(.3)
合計	1171	(100.0)	1224	(100.0)	2395	(100.0)

表13 過去1年での飲酒頻度（過去1年飲酒経験者のみ）（%）

	男		女		全体	
1年に数回（年間5回以内）	214	(18.3)	401	(32.8)	615	(25.7)
2ヶ月に1回（年間約6-11回）	70	(6.0)	122	(10.0)	192	(8.0)
月に1-2回（年間約12-24回）	81	(6.9)	154	(12.6)	235	(9.8)
月に数回（年間約25-51回）	75	(6.4)	124	(10.1)	199	(8.3)
週に1-2回	148	(12.6)	163	(13.3)	311	(13.0)
週に3-6回	197	(16.8)	128	(10.5)	325	(13.6)
ほとんど毎日	381	(32.5)	129	(10.5)	510	(21.3)
飲んだが頻度不明	5	(.4)	2	(.2)	7	(.3)
無回答	0	(.0)	1	(.1)	1	(.0)
合計	1171	(100.0)	1224	(100.0)	2395	(100.0)

表14 禁酒に対する考え・実態（生涯飲酒経験者のみ）（%）

	男		女		全体	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
考えたことない	804	(62.4)	1058	(72.4)	1862	(67.7)
考えたことはあるが実行したことがない	274	(21.3)	142	(9.7)	416	(15.1)
試みたが現在禁酒に至っていない	86	(6.7)	67	(4.6)	153	(5.6)
禁酒中（初めての禁酒・1年未満）	15	(1.2)	22	(1.5)	37	(1.3)
禁酒中（再挑戦の禁酒・1年未満）	6	(.5)	9	(.6)	15	(.5)
禁酒中（1年以上）	46	(3.6)	80	(5.5)	126	(4.6)
無回答	58	(4.5)	83	(5.7)	141	(5.1)
合計	1289	(100.0)	1461	(100.0)	2750	(100.0)

表15 禁酒理由（生涯飲酒経験があり、かつ、禁酒を考えたことのある人）（複数回答）（%）

	男		女		全体	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
健康上不調は感じないが可能性が心配になったから	164	(38.4)	91	(28.4)	255	(34.1)
健康上の不調	153	(35.8)	71	(22.2)	224	(30.0)
問題は起こしていないが自分の飲酒にその可能性を感じたから	20	(4.7)	7	(2.2)	27	(3.6)
飲酒で問題を起こしたから	9	(2.1)	4	(1.3)	13	(1.7)
その他	40	(9.4)	97	(30.3)	137	(18.3)
禁酒理由不明	63	(14.8)	52	(16.3)	115	(15.4)
無回答	6	(1.4)	6	(1.9)	12	(1.6)
合計	427	(100.0)	320	(100.0)	747	(100.0)

表16 これまでの喫煙経験（生涯喫煙経験）（%）

	男		女		全体	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
ない	283	(20.7)	767	(49.3)	1050	(35.9)
ある	1087	(79.3)	787	(50.6)	1874	(64.0)
無回答	0	(.0)	2	(.1)	2	(.1)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表16-2 喫煙生涯経験率の年代別比較(%)

未補正

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	合計	70歳代以上	合計
男女計									
1999	19.1	53.4	54.8	54.1	48.6	48.8			49.3
2001	30.8	71.2	74.5	76.2	65.8	57.8			64.7
2003	24.5	65.2	74.4	73.2	63.7	58.2		49.1	62.1
2005	16.7	68.9	73.5	78.4	69.9	62.2		53.7	65.1
2007	14.9	66.7	73.2	79.1	72.8	63.2		52.0	65.7
2009	10.0	58.0	72.3	77.4	73.9	64.2	66.4		
2011	9.4	51.1	71.0	74.4	74.3	65.4	65.0		
2013	5.8	48.5	70.1	73.0	72.5	66.2	64.0		
男									
1999	21.7	69.2	79.7	85.7	85.1	81.4			76.4
2001	39.8	86.6	89.7	91.2	93.1	88.6			86.5
2003	33.6	79.9	88.5	89.2	88.7	85.4		77.1	82.1
2005	15.6	82.5	89.1	93.3	93.3	93.1		86.7	85.9
2007	18.9	75.0	86.1	91.1	92.0	92.4		84.0	84.5
2009	14.2	68.7	86.5	92.4	93.1	96.2	83.1		
2011	9.5	62.6	85.2	89.0	93.3	93.8	81.3		
2013	10.1	53.3	81.1	89.1	92.2	94.4	79.3		
女									
1999	15.6	40.2	36.7	26.6	18.5	13.7			25.1
2001	22.5	58.8	62.6	63.7	41.9	23.7			45.1
2003	14.6	54.1	61.9	60.3	41.1	26.9		13.0	43.1
2005	17.7	57.1	60.9	64.3	48.3	28.2		16.3	45.2
2007	11.3	60.6	63.2	68.3	55.1	32.8		15.9	48.6
2009	5.7	47.1	60.3	61.7	54.7	37.5	50.5		
2011	9.3	41.0	59.5	61.3	55.2	35.8	49.8		
2013	1.1	44.7	59.3	60.0	55.1	42.8	50.6		

表17 初めての喫煙時期（生涯喫煙経験者のみ）、(%)、[累積%]

	男			女			全体		
小学校以前	8	(.7)	[.7]	6	(.8)	[.8]	14	(.7)	[.7]
小学校時代	91	(8.4)	[9.1]	54	(6.9)	[7.6]	145	(7.7)	[8.5]
中学校時代	241	(22.2)	[31.3]	97	(12.3)	[19.9]	338	(18.0)	[26.5]
中卒後～17歳	222	(20.4)	[51.7]	93	(11.8)	[31.8]	315	(16.8)	[43.3]
18-19歳	291	(26.8)	[78.5]	226	(28.7)	[60.5]	517	(27.6)	[70.9]
20歳以降	226	(20.8)	[99.3]	304	(38.6)	[99.1]	530	(28.3)	[99.2]
初喫煙年齢不明	4	(.4)	[99.6]	4	(.5)	[99.6]	8	(.4)	[99.6]
無回答	4	(.4)	[100.0]	3	(.4)	[100.0]	7	(.4)	[100.0]
合計	1087	(100.0)		787	(100.0)		1874	(100.0)	

表18 それなりに喫煙するようになった時期（喫煙経験者のみ）、（%）、〔累積%〕

	男			女			全体		
	人数	(%)	[累積%]	人数	(%)	[累積%]	人数	(%)	[累積%]
それなりには至った ことがない	114	(10.5)	[10.5]	240	(30.5)	[30.5]	354	(18.9)	[18.9]
小学校以前	0	(.0)	[0.0]	0	(.0)	[0.0]	0	(.0)	[0.0]
小学校時代	2	(.2)	[10.7]	1	(.1)	[30.6]	3	(.2)	[19.1]
中学校時代	69	(6.3)	[17.0]	21	(2.7)	[33.3]	90	(4.8)	[23.9]
中卒後～17歳	131	(12.1)	[29.1]	46	(5.8)	[39.1]	177	(9.4)	[33.3]
18-19歳	349	(32.1)	[61.2]	147	(18.7)	[57.8]	496	(26.5)	[59.8]
20歳以降	384	(35.3)	[96.5]	264	(33.5)	[91.4]	648	(34.6)	[94.3]
喫煙開始年齢不明	30	(2.8)	[99.3]	56	(7.1)	[98.5]	86	(4.6)	[98.9]
無回答	8	(.7)	[100.0]	12	(1.5)	[100.0]	20	(1.1)	[100.0]
合計	1087	(100.0)		787	(100.0)		1874	(100.0)	

表19 過去1年間での喫煙経験 (%)

	男		女		全体		未補正
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	(%)
なし	792	(57.8)	1265	(81.3)	2057	(70.3)	
あり	560	(40.9)	258	(16.6)	818	(28.0)	
無回答	18	(1.3)	33	(2.1)	51	(1.7)	
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)	

表19-2 喫煙1年経験率の年代別比較 (%)

	年代別							合計		未補正
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	合計	70歳代以上	合計	
男女計										
2001	22.2	52.3	44.7	41.7	34.7	25.1			36.0	
2003	15.3	43	43.4	37.6	33.4	27.5		18.9	32.9	
2005	9.9	48.8	41.9	41.2	35.7	32.3		16.2	34.6	
2007	8.4	41.1	37.5	37.1	33.2	24.2		17.6	30.3	
2009	7.1	35.1	38.9	38.1	31.7	23.7	32.2			
2011	6.1	28.3	35.9	32.5	32.1	21.5	29.1			
2013	2.6	29.7	36.1	29.4	27.5	25.7	28.0			
男										
2001	29.7	73.8	68.2	62.4	58.3	40.8			54.7	
2003	21.2	62.1	61.7	59.5	53.5	42.9		29.8	49.2	
2005	12.4	62.5	60.5	56.6	53.7	48.2		27.2	49.1	
2007	10.8	59.2	53.4	49.8	54.7	39.4		27.9	44.8	
2009	11.3	48.5	58.9	53.9	50.8	42.2	48.9			
2011	6.7	40.6	54.2	48.2	48.6	35.1	43.5			
2013	5.1	36.2	53.2	41.8	42.8	40.5	40.9			
女										
2001	15.5	34.9	26.5	24.4	14.0	7.9			19.1	
2003	8.7	28.6	27.3	20	15.2	9.8		4.7	17.5	
2005	7.5	36.9	26.6	26.4	18.1	14.2		2.7	20.3	
2007	6.3	27.9	25.3	25.7	13.5	8.3		5.6	17.0	
2009	2.9	21.5	22	21.5	12.4	8.3	16.4			
2011	5.6	17.5	21.2	18.4	15.5	7.3	15.8			
2013	0.0	24.5	19.3	19.5	13.9	13.1	16.6			

表20 過去1年の喫煙頻度（過去1年喫煙経験者のみ）（%）

	男		女		全体	
1年に数回（年間5回以内）	49	(8.8)	25	(9.7)	74	(9.0)
2ヶ月に1回（年間約6-11回）	5	(.9)	4	(1.6)	9	(1.1)
月に1-2回（年間約12-24回）	5	(.9)	2	(.8)	7	(.9)
月に数回（年間約25-51回）	10	(1.8)	5	(1.9)	15	(1.8)
週に1-2回	5	(.9)	8	(3.1)	13	(1.6)
週に3-6回	7	(1.3)	8	(3.1)	15	(1.8)
ほとんど毎日1-10本	125	(22.3)	86	(33.3)	211	(25.8)
ほとんど毎日11-20本	251	(44.8)	101	(39.1)	352	(43.0)
ほとんど毎日21本以上	98	(17.5)	17	(6.6)	115	(14.1)
ほとんど毎日パイプたばこ	5	(.9)	2	(.8)	7	(.9)
合計	560	(100.0)	258	(100.0)	818	(100.0)

表21 禁煙に対する考え方（生涯喫煙経験者のみ）（%）

	男		女		全体	
考えたことない	245	(22.5)	309	(39.3)	554	(29.6)
考えたことはあるが実行したことがない	177	(16.3)	73	(9.3)	250	(13.3)
試みたが現在禁煙に至っていない	205	(18.9)	111	(14.1)	316	(16.9)
禁煙中（初めての禁煙・1年未満）	24	(2.2)	16	(2.0)	40	(2.1)
禁煙中（再挑戦の禁煙・1年未満）	19	(1.7)	15	(1.9)	34	(1.8)
禁煙中（1年以上）	397	(36.5)	234	(29.7)	631	(33.7)
無回答	20	(1.8)	29	(3.7)	49	(2.6)
合計	1087	(100.0)	787	(100.0)	1874	(100.0)

表22 禁煙理由（喫煙経験者で、禁煙を考えたことがある人のみ）（複数回答）（%）

	男		女		全体	
健康上の不調を感じたことはないが可能性が心配になった	307	(37.3)	142	(31.6)	449	(35.3)
健康上の不調	219	(26.6)	82	(18.3)	301	(23.7)
喫煙者は白い目で見られるようになった	39	(4.7)	26	(5.8)	65	(5.1)
人から勧められた	86	(10.5)	43	(9.6)	129	(10.1)
家族や他者への健康影響を考えて	214	(26.0)	97	(21.6)	311	(24.5)
その他	98	(11.9)	106	(23.6)	204	(16.1)
吸える場所の減少	104	(12.7)	39	(8.7)	143	(11.3)
禁煙理由不明	28	(3.4)	15	(3.3)	43	(3.4)
無回答	10	(1.2)	4	(.9)	14	(1.1)
合計	822	(100.0)	449	(100.0)	1271	(100.0)

表23 家庭の常備薬（複数回答）（%）

	男		女		全体	
とくになし	260	(19.0)	132	(8.5)	392	(13.4)
風邪薬	837	(61.1)	1103	(70.9)	1940	(66.3)
胃腸薬	666	(48.6)	870	(55.9)	1536	(52.5)
ビタミン剤	283	(20.7)	447	(28.7)	730	(24.9)
高血圧薬	140	(10.2)	172	(11.1)	312	(10.7)
糖尿病薬	55	(4.0)	43	(2.8)	98	(3.3)
精神安定薬	44	(3.2)	65	(4.2)	109	(3.7)
湿布薬	634	(46.3)	990	(63.6)	1624	(55.5)
強精強肝薬	10	(.7)	10	(.6)	20	(.7)
睡眠薬	50	(3.6)	69	(4.4)	119	(4.1)
鎮痛薬	463	(33.8)	894	(57.5)	1357	(46.4)
抗生物質	84	(6.1)	130	(8.4)	214	(7.3)
便秘薬	118	(8.6)	292	(18.8)	410	(14.0)
目薬	628	(45.8)	898	(57.7)	1526	(52.2)
鼻炎薬	319	(23.3)	439	(28.2)	758	(25.9)
セットの置き薬	239	(17.4)	249	(16.0)	488	(16.7)
その他	33	(2.4)	58	(3.7)	91	(3.1)
無回答	12	(.9)	10	(.6)	22	(.8)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表24 過去1年間に一回でも使用したことがある医薬品（複数回答）（%）

	男		女		全体	
とくになし	148	(10.8)	89	(5.7)	237	(8.1)
風邪薬	868	(63.4)	1037	(66.6)	1905	(65.1)
胃腸薬	539	(39.3)	641	(41.2)	1180	(40.3)
ビタミン剤	292	(21.3)	415	(26.7)	707	(24.2)
高血圧薬	164	(12.0)	159	(10.2)	323	(11.0)
糖尿病薬	53	(3.9)	31	(2.0)	84	(2.9)
湿布薬	532	(38.8)	787	(50.6)	1319	(45.1)
強精強肝薬	21	(1.5)	11	(.7)	32	(1.1)
抗生物質	250	(18.2)	429	(27.6)	679	(23.2)
便秘薬	59	(4.3)	236	(15.2)	295	(10.1)
目薬	597	(43.6)	851	(54.7)	1448	(49.5)
鼻炎薬	306	(22.3)	397	(25.5)	703	(24.0)
セットの置き薬	71	(5.2)	75	(4.8)	146	(5.0)
その他	42	(3.1)	81	(5.2)	123	(4.2)
無回答	13	(.9)	20	(1.3)	33	(1.1)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表25 過去1年間での鎮痛薬使用頻度 (%)

	男		女		全体	
一度も飲んでいない	675	(49.3)	459	(29.5)	1134	(38.8)
1年に数回 (年間5回以内)	474	(34.6)	537	(34.5)	1011	(34.6)
2ヶ月に1回 (年間約6-11回)	65	(4.7)	158	(10.2)	223	(7.6)
月に1-2回 (年間約12-24回)	70	(5.1)	212	(13.6)	282	(9.6)
月に数回 (年間約25-51回)	34	(2.5)	94	(6.0)	128	(4.4)
週に1-2回	10	(.7)	34	(2.2)	44	(1.5)
週に3-6回	7	(.5)	22	(1.4)	29	(1.0)
ほとんど毎日	19	(1.4)	27	(1.7)	46	(1.6)
飲んだが頻度不明	9	(.7)	6	(.4)	15	(.5)
無回答	7	(.5)	7	(.4)	14	(.5)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表26 鎮痛薬の入手先 (鎮痛薬を過去1年間に使用した人のみ) (複数回答) (%)

	男		女		全体	
常備薬	114	(16.6)	194	(17.8)	308	(17.3)
家族	42	(6.1)	55	(5.0)	97	(5.5)
医院・病院	310	(45.1)	494	(45.3)	804	(45.2)
薬局・薬店	323	(46.9)	643	(59.0)	966	(54.3)
友人・知人	10	(1.5)	19	(1.7)	29	(1.6)
愛人・恋人	0	(.0)	3	(.3)	3	(.2)
その他	1	(.1)	1	(.1)	2	(.1)
飲んだが入手先不明	30	(4.4)	13	(1.2)	43	(2.4)
無回答	4	(.6)	5	(.5)	9	(.5)
合計	688	(100.0)	1090	(100.0)	1778	(100.0)

表27 鎮痛薬の使用理由 (鎮痛薬を過去1年間使用した人のみ) (複数回答) (%)

	男		女		全体	
頭痛	417	(60.6)	765	(70.2)	1182	(66.5)
歯痛	154	(22.4)	153	(14.0)	307	(17.3)
腰痛	89	(12.9)	104	(9.5)	193	(10.9)
生理痛	0	(.0)	344	(31.6)	344	(19.3)
胃痛	49	(7.1)	72	(6.6)	121	(6.8)
肩こり	35	(5.1)	118	(10.8)	153	(8.6)
その他の痛み	82	(11.9)	107	(9.8)	189	(10.6)
遊び・快感目的	0	(.0)	1	(.1)	1	(.1)
その他	10	(1.5)	14	(1.3)	24	(1.3)
飲んだが使用目的不明	37	(5.4)	22	(2.0)	59	(3.3)
合計	688	(100.0)	1090	(100.0)	1778	(100.0)

表28 鎮痛薬使用の実情・心情 (%)

	男		女		全体	
必要がないので考えたことがない	581	(42.4)	349	(22.4)	930	(31.8)
必要な時は心配せずに使う	483	(35.3)	667	(42.9)	1150	(39.3)
心配もあるがどちらかというを使う	122	(8.9)	311	(20.0)	433	(14.8)
心配だからどちらかというと使わない	35	(2.6)	84	(5.4)	119	(4.1)
心配だからとにかく使わない	2	(.1)	11	(.7)	13	(.4)
不明	130	(9.5)	113	(7.3)	243	(8.3)
無回答	17	(1.2)	21	(1.3)	38	(1.3)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表29 この1年間での精神安定薬（抗不安薬）の使用頻度 (%)

	男		女		全体	
一度も飲んでいない	1291	(94.2)	1437	(92.4)	2728	(93.2)
1年に数回（年間5回以内）	19	(1.4)	20	(1.3)	39	(1.3)
2ヶ月に1回（年間約6-11回）	5	(.4)	10	(.6)	15	(.5)
月に1-2回（年間約12-24回）	3	(.2)	5	(.3)	8	(.3)
月に数回（年間約25-51回）	7	(.5)	5	(.3)	12	(.4)
週に1-2回	2	(.1)	9	(.6)	11	(.4)
週に3-6回	4	(.3)	6	(.4)	10	(.3)
ほとんど毎日	28	(2.0)	47	(3.0)	75	(2.6)
使用頻度不明	0	(.0)	4	(.3)	4	(.1)
無回答	11	(.8)	13	(.8)	24	(.8)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表30 精神安定薬の入手先（過去1年間に精神安定薬を使った人）（複数回答） (%)

	男		女		全体	
常備薬	0	(.0)	1	(.9)	1	(.6)
家族	2	(2.9)	2	(1.9)	4	(2.3)
医院・病院	55	(80.9)	96	(90.6)	151	(86.8)
薬局・薬店	4	(5.9)	5	(4.7)	9	(5.2)
友人・知人	2	(2.9)	1	(.9)	3	(1.7)
愛人・恋人	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
その他	0	(.0)	1	(.9)	1	(.6)
飲んだが入手先不明	8	(11.8)	4	(3.8)	12	(6.9)
無回答	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
合計	68	(100.0)	106	(100.0)	174	(100.0)

表31 精神安定薬の使用理由（過去1年間に精神安定薬を使った人）（複数回答）（%）

	男		女		全体	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
不眠改善	35	(51.5)	51	(48.1)	86	(49.4)
不安解消	38	(55.9)	49	(46.2)	87	(50.0)
ストレス軽減	24	(35.3)	21	(19.8)	45	(25.9)
高血圧の治療	3	(4.4)	8	(7.5)	11	(6.3)
遊び・快感目的	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
その他	5	(7.4)	18	(17.0)	23	(13.2)
使用目的不明	7	(10.3)	6	(5.7)	13	(7.5)
無回答	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
合計	68	(100.0)	106	(100.0)	174	(100.0)

表32 精神安定薬使用の実情・心情 (%)

	男		女		全体	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
必要がないので考えたことがない	1223	(89.3)	1323	(85.0)	2546	(87.0)
必要な時は心配せずに使う	72	(5.3)	68	(4.4)	140	(4.8)
心配もあるがどちらかというを使う	36	(2.6)	88	(5.7)	124	(4.2)
心配だからどちらかというを使わない	16	(1.2)	36	(2.3)	52	(1.8)
心配だからとにかく使わない	4	(.3)	22	(1.4)	26	(.9)
不明	8	(.6)	6	(.4)	14	(.5)
無回答	11	(.8)	13	(.8)	24	(.8)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表33 一年間での睡眠薬の使用頻度 (%)

	男		女		全体	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
一度も飲んでいない	1297	(94.7)	1466	(94.2)	2763	(94.4)
1年に数回（年間5回以内）	15	(1.1)	33	(2.1)	48	(1.6)
2ヶ月に1回（年間約6-11回）	5	(.4)	3	(.2)	8	(.3)
月に1-2回（年間約12-24回）	4	(.3)	5	(.3)	9	(.3)
月に数回（年間約25-51回）	5	(.4)	7	(.4)	12	(.4)
週に1-2回	4	(.3)	3	(.2)	7	(.2)
週に3-6回	11	(.8)	6	(.4)	17	(.6)
ほとんど毎日	20	(1.5)	25	(1.6)	45	(1.5)
使用頻度不明	1	(.1)	2	(.1)	3	(.1)
無回答	8	(.6)	6	(.4)	14	(.5)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表34 睡眠薬の入手先（過去1年に睡眠薬を使用した人）（複数回答）（%）

	男		女		全体	
常備薬	1	(1.5)	1	(1.2)	2	(1.3)
家族	3	(4.6)	2	(2.4)	5	(3.4)
医院・病院	53	(81.5)	66	(78.6)	119	(79.9)
薬局・薬店	12	(18.5)	11	(13.1)	23	(15.4)
友人・知人	1	(1.5)	1	(1.2)	2	(1.3)
愛人・恋人	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
その他	1	(1.5)	0	(.0)	1	(.7)
入手先不明	0	(.0)	7	(8.3)	7	(4.7)
無回答	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
合計	65	(100.0)	84	(100.0)	149	(100.0)

表35 睡眠薬の使用理由（過去1年に睡眠薬使用した人）（複数回答）（%）

	男		女		全体	
不眠改善	56	(86.2)	70	(83.3)	126	(84.6)
不安解消	10	(15.4)	13	(15.5)	23	(15.4)
ストレス軽減	4	(6.2)	6	(7.1)	10	(6.7)
高血圧の治療	3	(4.6)	3	(3.6)	6	(4.0)
遊び・快感目的	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
その他	1	(1.5)	3	(3.6)	4	(2.7)
使用目的不明	2	(3.1)	7	(8.3)	9	(6.0)
無回答	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
合計	65	(100.0)	84	(100.0)	149	(100.0)

表36 睡眠薬使用の実情・心情（%）

	男		女		全体	
必要がないので考えたことがない	1228	(89.6)	1331	(85.5)	2559	(87.5)
必要な時は心配せずに使う	72	(5.3)	67	(4.3)	139	(4.8)
心配もあるがどちらかというを使う	39	(2.8)	81	(5.2)	120	(4.1)
心配だからどちらかというを使わない	16	(1.2)	40	(2.6)	56	(1.9)
心配だからとにかく使わない	5	(.4)	20	(1.3)	25	(.9)
不明	2	(.1)	6	(.4)	8	(.3)
無回答	8	(.6)	11	(.7)	19	(.6)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表37 聞いたことのある薬物名（複数回答）（%）

	男		女		全体	
有機溶剤	459	(33.5)	256	(16.5)	715	(24.4)
シンナー	1128	(82.3)	1321	(84.9)	2449	(83.7)
トルエン	663	(48.4)	465	(29.9)	1128	(38.6)
大麻	1263	(92.2)	1468	(94.3)	2731	(93.3)
マリファナ	1104	(80.6)	1273	(81.8)	2377	(81.2)
ハシッシ	306	(22.3)	192	(12.3)	498	(17.0)
覚せい剤	1227	(89.6)	1432	(92.0)	2659	(90.9)
ヒロポン	722	(52.7)	535	(34.4)	1257	(43.0)
シャブ	1055	(77.0)	1158	(74.4)	2213	(75.6)
スピード	713	(52.0)	628	(40.4)	1341	(45.8)
エス	258	(18.8)	247	(15.9)	505	(17.3)
麻薬	1171	(85.5)	1342	(86.2)	2513	(85.9)
モルヒネ	1087	(79.3)	1319	(84.8)	2406	(82.2)
ヘロイン	997	(72.8)	1048	(67.4)	2045	(69.9)
コカイン	1166	(85.1)	1372	(88.2)	2538	(86.7)
クラック	293	(21.4)	121	(7.8)	414	(14.1)
LSD	783	(57.2)	563	(36.2)	1346	(46.0)
アシッド	98	(7.2)	64	(4.1)	162	(5.5)
MDMA	557	(40.7)	561	(36.1)	1118	(38.2)
エックス	125	(9.1)	81	(5.2)	206	(7.0)
エクスタシー	561	(40.9)	596	(38.3)	1157	(39.5)
マジック・マッシュルーム	544	(39.7)	509	(32.7)	1053	(36.0)
すべて知らない	47	(3.4)	42	(2.7)	89	(3.0)
無回答	51	(3.7)	32	(2.1)	83	(2.8)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表38 薬物乱用を繰り返すと依存状態になることを知っているか？（%）

	男		女		全体	
知っている	1337	(97.6)	1524	(97.9)	2861	(97.8)
知らない	25	(1.8)	26	(1.7)	51	(1.7)
無回答	8	(.6)	6	(.4)	14	(.5)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表39 「シンナー遊び」で死亡すること（急性中毒死）があることを知っているか？（%）

	男		女		全体	
知っている	1175	(85.8)	1286	(82.6)	2461	(84.1)
知らない	184	(13.4)	266	(17.1)	450	(15.4)
無回答	11	(.8)	4	(.3)	15	(.5)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表40 「シンナー遊び」で幻視・幻聴・妄想などの精神病状態になることがあることを知っているか？ (%)

	男		女		全体	
知っている	1253	(91.5)	1422	(91.4)	2675	(91.4)
知らない	110	(8.0)	126	(8.1)	236	(8.1)
無回答	7	(.5)	8	(.5)	15	(.5)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表41 「シンナー遊び」でフラッシュバック現象があることを知っているか？ (%)

	男		女		全体	
知っている	1035	(75.5)	1126	(72.4)	2161	(73.9)
知らない	326	(23.8)	418	(26.9)	744	(25.4)
無回答	9	(.7)	12	(.8)	21	(.7)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表42 「シンナー遊び」で無動機症候群になることがあることを知っているか？ (%)

	男		女		全体	
知っている	969	(70.7)	1081	(69.5)	2050	(70.1)
知らない	394	(28.8)	464	(29.8)	858	(29.3)
無回答	7	(.5)	11	(.7)	18	(.6)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表43 身近な人で、この1年間に「シンナー遊び」を行ったことのある人を知っているか？ (%)

	男		女		全体	
知らない	1351	(98.6)	1540	(99.0)	2891	(98.8)
知っている	13	(.9)	11	(.7)	24	(.8)
無回答	6	(.4)	5	(.3)	11	(.4)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表44 身近な人で、この1年間に「シンナー遊び」を行ったことのある人を知っているか？ (年齢群別) (%)

	過去1年シンナー遊びをした人						合計	
	知らない		知っている		無回答			
15-19歳	187	(6.5)	1	(4.2)	1	(9.1)	189	(6.5)
20-24歳	142	(4.9)	4	(16.7)	0	(.0)	146	(5.0)
25-29歳	191	(6.6)	3	(12.5)	0	(.0)	194	(6.6)
30-34歳	243	(8.4)	2	(8.3)	2	(18.2)	247	(8.4)
35-39歳	310	(10.7)	6	(25.0)	2	(18.2)	318	(10.9)
40-44歳	347	(12.0)	2	(8.3)	2	(18.2)	351	(12.0)
45-49歳	331	(11.4)	0	(.0)	2	(18.2)	333	(11.4)
50-54歳	328	(11.3)	2	(8.3)	0	(.0)	330	(11.3)
55-59歳	348	(12.0)	2	(8.3)	1	(9.1)	351	(12.0)
60-64歳	464	(16.0)	2	(8.3)	1	(9.1)	467	(16.0)
合計	2891	(100.0)	24	(100.0)	11	(100.0)	2926	(100.0)

表45 身近な人で、この1年間に「シンナー遊び」を行ったことのある人を何人知っているか？

(過去1年使用者を知っている人のみ) (%)

	男		女		全体	
1人	3	(23.1)	0	(.0)	3	(12.5)
2人	4	(30.8)	2	(18.2)	6	(25.0)
3人	3	(23.1)	7	(63.6)	10	(41.7)
5人	1	(7.7)	0	(.0)	1	(4.2)
6人	1	(7.7)	0	(.0)	1	(4.2)
無回答	1	(7.7)	2	(18.2)	3	(12.5)
合計	13	(100.0)	11	(100.0)	24	(100.0)
平均±SD	2.58±1.56		2.78±0.44		2.67±1.20	
	n=12		n=9		n=21	

表46 これまでに「シンナー遊び」に誘われたことがあるか？ (生涯被誘惑経験) (%)

未補正

	男		女		全体	
ない	1310	(95.6)	1529	(98.3)	2839	(97.0)
1年より前にのみあった	55	(4.0)	24	(1.5)	79	(2.7)
1年より前にも、この1年間にもあった	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
この1年間にのみあった	1	(.1)	0	(.0)	1	(.0)
無回答	4	(.3)	3	(.2)	7	(.2)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表47 「シンナー遊び」生涯被誘惑経験 (年齢群別) (%)

	「シンナー遊び」に誘われた経験										合計	
	ない	1年より前にのみあった	1年より前にも、この1年間にもあった	この1年間にのみあった	無回答							
15-19歳	188	(6.6)	1	(1.3)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	189	(6.5)
20-24歳	144	(5.1)	2	(2.5)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	146	(5.0)
25-29歳	188	(6.6)	6	(7.6)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	194	(6.6)
30-34歳	237	(8.3)	8	(10.1)	0	(.0)	0	(.0)	2	(28.6)	247	(8.4)
35-39歳	298	(10.5)	18	(22.8)	0	(.0)	1	(100.0)	1	(14.3)	318	(10.9)
40-44歳	341	(12.0)	9	(11.4)	0	(.0)	0	(.0)	1	(14.3)	351	(12.0)
45-49歳	315	(11.1)	17	(21.5)	0	(.0)	0	(.0)	1	(14.3)	333	(11.4)
50-54歳	320	(11.3)	10	(12.7)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	330	(11.3)
55-59歳	343	(12.1)	7	(8.9)	0	(.0)	0	(.0)	1	(14.3)	351	(12.0)
60-64歳	465	(16.4)	1	(1.3)	0	(.0)	0	(.0)	1	(14.3)	467	(16.0)
合計	2839	(100.0)	79	(100.0)	0	(.0)	1	(100.0)	7	(100.0)	2926	(100.0)

表48 「シンナー遊び」生涯被誘惑経験（年齢群別）（%）

	「シンナー遊び」に誘われた経験										合計	
	ない		1年より前にのみあった		1年より前にも、この1年間にもあった		この1年間にのみあった		無回答			
15-19歳	188	(99.5)	1	(.5)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	189	(100.0)
20-24歳	144	(98.6)	2	(1.4)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	146	(100.0)
25-29歳	188	(96.9)	6	(3.1)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	194	(100.0)
30-34歳	237	(96.0)	8	(3.2)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.8)	247	(100.0)
35-39歳	298	(93.7)	18	(5.7)	0	(.0)	1	(.3)	1	(.3)	318	(100.0)
40-44歳	341	(97.2)	9	(2.6)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.3)	351	(100.0)
45-49歳	315	(94.6)	17	(5.1)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.3)	333	(100.0)
50-54歳	320	(97.0)	10	(3.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	330	(100.0)
55-59歳	343	(97.7)	7	(2.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.3)	351	(100.0)
60-64歳	465	(99.6)	1	(.2)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.2)	467	(100.0)
合計	2839	(97.0)	79	(2.7)	0	(.0)	1	(.0)	7	(.2)	2926	(100.0)

表49 これまでに「シンナー遊び」を1回でも行ったことのある経験（生涯経験）（%）

未補正

	男		女		全体	
	ない	1326	(96.8)	1537	(98.8)	2863
1年より前にのみあった	38	(2.8)	16	(1.0)	54	(1.8)
1年より前にも、この1年間にもあった	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
この1年間にのみあった	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
無回答	6	(.4)	3	(.2)	9	(.3)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表50 これまでに「シンナー遊び」を1回でも行ったことのある経験（年齢群別）（%）

未補正

	「シンナー遊び」経験										合計	
	ない		1年より前にのみあった		1年より前にも、この1年間にもあった		この1年間にのみあった		無回答			
15-19歳	189	(6.6)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	189	(6.5)
20-24歳	146	(5.1)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	146	(5.0)
25-29歳	189	(6.6)	5	(9.3)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	194	(6.6)
30-34歳	243	(8.5)	4	(7.4)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	247	(8.4)
35-39歳	305	(10.7)	12	(22.2)	0	(.0)	0	(.0)	1	(11.1)	318	(10.9)
40-44歳	343	(12.0)	7	(13.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(11.1)	351	(12.0)
45-49歳	323	(11.3)	9	(16.7)	0	(.0)	0	(.0)	1	(11.1)	333	(11.4)
50-54歳	320	(11.2)	8	(14.8)	0	(.0)	0	(.0)	2	(22.2)	330	(11.3)
55-59歳	341	(11.9)	8	(14.8)	0	(.0)	0	(.0)	2	(22.2)	351	(12.0)
60-64歳	464	(16.2)	1	(1.9)	0	(.0)	0	(.0)	2	(22.2)	467	(16.0)
合計	2863	(100.0)	54	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	9	(100.0)	2926	(100.0)

表51 これまでに「シンナー遊び」を1回でも行ったことのある経験（年齢群別）（%）

	「シンナー遊び」経験						合計
	ない	1年より前にのみあった	1年より前にも、この1年間にもあった	この1年間にのみあった	無回答		
15-19歳	189 (100.0)	0 (.0)	0 (.0)	0 (.0)	0 (.0)	189 (100.0)	
20-24歳	146 (100.0)	0 (.0)	0 (.0)	0 (.0)	0 (.0)	146 (100.0)	
25-29歳	189 (97.4)	5 (2.6)	0 (.0)	0 (.0)	0 (.0)	194 (100.0)	
30-34歳	243 (98.4)	4 (1.6)	0 (.0)	0 (.0)	0 (.0)	247 (100.0)	
35-39歳	305 (95.9)	12 (3.8)	0 (.0)	0 (.0)	1 (.3)	318 (100.0)	
40-44歳	343 (97.7)	7 (2.0)	0 (.0)	0 (.0)	1 (.3)	351 (100.0)	
45-49歳	323 (97.0)	9 (2.7)	0 (.0)	0 (.0)	1 (.3)	333 (100.0)	
50-54歳	320 (97.0)	8 (2.4)	0 (.0)	0 (.0)	2 (.6)	330 (100.0)	
55-59歳	341 (97.2)	8 (2.3)	0 (.0)	0 (.0)	2 (.6)	351 (100.0)	
60-64歳	464 (99.4)	1 (.2)	0 (.0)	0 (.0)	2 (.4)	467 (100.0)	
合計	2863 (97.8)	54 (1.8)	0 (.0)	0 (.0)	9 (.3)	2926 (100.0)	

表52 大麻を吸っている人の人数の印象（%）

	男		女		全体	
以前より増えている	321 (23.4)	458 (29.4)	779 (26.6)			
変わらない	110 (8.0)	70 (4.5)	180 (6.2)			
以前より減っている	31 (2.3)	17 (1.1)	48 (1.6)			
わからない	894 (65.3)	1001 (64.3)	1895 (64.8)			
無回答	14 (1.0)	10 (.6)	24 (.8)			
合計	1370 (100.0)	1556 (100.0)	2926 (100.0)			

表53 大麻の吸引により精神病状態・フラッシュバック・無動機症候群になることがあることを知っているか？（%）

	男		女		全体	
知っている	958 (69.9)	1217 (78.2)	2175 (74.3)			
知らない	398 (29.1)	328 (21.1)	726 (24.8)			
無回答	14 (1.0)	11 (.7)	25 (.9)			
合計	1370 (100.0)	1556 (100.0)	2926 (100.0)			

表54 大麻をこの1年間に吸った人を知っているか？（%）

	男		女		全体	
知らない	1344 (98.1)	1539 (98.9)	2883 (98.5)			
知っている	15 (1.1)	11 (.7)	26 (.9)			
無回答	11 (.8)	6 (.4)	17 (.6)			
合計	1370 (100.0)	1556 (100.0)	2926 (100.0)			

表55 大麻をこの1年間に吸った人を知っているか？（年齢群別）（%）

	過去1年大麻を吸った人							
	知らない		知っている		無回答		合計	
15-19歳	184	(6.4)	3	(11.5)	2	(11.8)	189	(6.5)
20-24歳	144	(5.0)	2	(7.7)	0	(.0)	146	(5.0)
25-29歳	192	(6.7)	2	(7.7)	0	(.0)	194	(6.6)
30-34歳	243	(8.4)	4	(15.4)	0	(.0)	247	(8.4)
35-39歳	312	(10.8)	4	(15.4)	2	(11.8)	318	(10.9)
40-44歳	346	(12.0)	3	(11.5)	2	(11.8)	351	(12.0)
45-49歳	326	(11.3)	3	(11.5)	4	(23.5)	333	(11.4)
50-54歳	327	(11.3)	1	(3.8)	2	(11.8)	330	(11.3)
55-59歳	345	(12.0)	4	(15.4)	2	(11.8)	351	(12.0)
60-64歳	464	(16.1)	0	(.0)	3	(17.6)	467	(16.0)
合計	2883	(100.0)	26	(100.0)	17	(100.0)	2926	(100.0)

表56 大麻をこの1年間に吸った人を知っているか？（年齢群別）（%）

	過去1年大麻を吸った人							
	知らない		知っている		無回答		合計	
15-19歳	184	(97.4)	3	(1.6)	2	(1.1)	189	(100.0)
20-24歳	144	(98.6)	2	(1.4)	0	(.0)	146	(100.0)
25-29歳	192	(99.0)	2	(1.0)	0	(.0)	194	(100.0)
30-34歳	243	(98.4)	4	(1.6)	0	(.0)	247	(100.0)
35-39歳	312	(98.1)	4	(1.3)	2	(.6)	318	(100.0)
40-44歳	346	(98.6)	3	(.9)	2	(.6)	351	(100.0)
45-49歳	326	(97.9)	3	(.9)	4	(1.2)	333	(100.0)
50-54歳	327	(99.1)	1	(.3)	2	(.6)	330	(100.0)
55-59歳	345	(98.3)	4	(1.1)	2	(.6)	351	(100.0)
60-64歳	464	(99.4)	0	(.0)	3	(.6)	467	(100.0)
合計	2883	(98.5)	26	(.9)	17	(.6)	2926	(100.0)

表57 大麻をこの1年間に使用した人を何人知っているか？（%）

	男		女		全体	
	1人	2	(13.3)	5	(45.5)	7
2人	3	(20.0)	3	(27.3)	6	(23.1)
3人	3	(20.0)	1	(9.1)	4	(15.4)
5人	2	(13.3)	0	(.0)	2	(7.7)
6人	1	(6.7)	0	(.0)	1	(3.8)
10人	1	(6.7)	1	(9.1)	2	(7.7)
無回答	3	(20.0)	1	(9.1)	4	(15.4)
合計	15	(100.0)	11	(100.0)	26	(100.0)
平均±SD	3.58±2.58		2.40±2.76		3.05±2.66	
	n=12		n=10		n=22	

表58 これまでに大麻使用に誘われた経験（生涯被誘惑経験）（%）

未補正

	男		女		全体	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
ない	1311	(95.7)	1532	(98.5)	2843	(97.2)
1年より前にのみあった	44	(3.2)	19	(1.2)	63	(2.2)
1年より前にも、この1年間にもあった	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
この1年間のみあった	4	(.3)	1	(.1)	5	(.2)
無回答	11	(.8)	4	(.3)	15	(.5)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表59 大麻の生涯被誘惑経験（年齢群別）（%）

未補正

	大麻使用に誘われた経験										合計	%
	ない	1年より前にのみあった		1年より前にも、この1年間にもあった		この1年間のみあった		無回答				
15-19歳	186	(6.5)	1	(1.6)	0	(.0)	1	(20.0)	1	(6.7)	189	(6.5)
20-24歳	141	(5.0)	3	(4.8)	0	(.0)	2	(40.0)	0	(.0)	146	(5.0)
25-29歳	186	(6.5)	7	(11.1)	0	(.0)	0	(.0)	1	(6.7)	194	(6.6)
30-34歳	239	(8.4)	7	(11.1)	0	(.0)	1	(20.0)	0	(.0)	247	(8.4)
35-39歳	305	(10.7)	11	(17.5)	0	(.0)	1	(20.0)	1	(6.7)	318	(10.9)
40-44歳	341	(12.0)	9	(14.3)	0	(.0)	0	(.0)	1	(6.7)	351	(12.0)
45-49歳	320	(11.3)	11	(17.5)	0	(.0)	0	(.0)	2	(13.3)	333	(11.4)
50-54歳	316	(11.1)	9	(14.3)	0	(.0)	0	(.0)	5	(33.3)	330	(11.3)
55-59歳	344	(12.1)	5	(7.9)	0	(.0)	0	(.0)	2	(13.3)	351	(12.0)
60-64歳	465	(16.4)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(13.3)	467	(16.0)
合計	2843	(100.0)	63	(100.0)	0	(.0)	5	(100.0)	15	(100.0)	2926	(100.0)

表60 大麻の生涯被誘惑経験（年齢群別）（%）

未補正

	大麻使用に誘われた経験										合計	%
	ない	1年より前にのみあった		1年より前にも、この1年間にもあった		この1年間のみあった		無回答				
15-19歳	186	(98.4)	1	(.5)	0	(.0)	1	(.5)	1	(.5)	189	(100.0)
20-24歳	141	(96.6)	3	(2.1)	0	(.0)	2	(1.4)	0	(.0)	146	(100.0)
25-29歳	186	(95.9)	7	(3.6)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.5)	194	(100.0)
30-34歳	239	(96.8)	7	(2.8)	0	(.0)	1	(.4)	0	(.0)	247	(100.0)
35-39歳	305	(95.9)	11	(3.5)	0	(.0)	1	(.3)	1	(.3)	318	(100.0)
40-44歳	341	(97.2)	9	(2.6)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.3)	351	(100.0)
45-49歳	320	(96.1)	11	(3.3)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.6)	333	(100.0)
50-54歳	316	(95.8)	9	(2.7)	0	(.0)	0	(.0)	5	(1.5)	330	(100.0)
55-59歳	344	(98.0)	5	(1.4)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.6)	351	(100.0)
60-64歳	465	(99.6)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.4)	467	(100.0)
合計	2843	(97.2)	63	(2.2)	0	(.0)	5	(.2)	15	(.5)	2926	(100.0)

表61 これまでに大麻を使用した経験（大麻生涯経験率）（%）

	男		女		全体	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ない	1341	(97.9)	1545	(99.3)	2886	(98.6)
1年より前にのみあった	22	(1.6)	8	(.5)	30	(1.0)
1年より前にも、この1年間にもあった	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
この1年間にのみあった	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
無回答	7	(.5)	3	(.2)	10	(.3)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表62 これまでの大麻の使用経験（年齢群別）（%）

	大麻使用経験											
	ない		1年より前にのみあった		1年より前にも、この1年間にもあった		この1年間にのみあった		無回答		合計	
15-19歳	189	(6.5)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	189	(6.5)
20-24歳	145	(5.0)	1	(3.3)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	146	(5.0)
25-29歳	191	(6.6)	3	(10.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	194	(6.6)
30-34歳	243	(8.4)	4	(13.3)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	247	(8.4)
35-39歳	311	(10.8)	6	(20.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(10.0)	318	(10.9)
40-44歳	345	(12.0)	5	(16.7)	0	(.0)	0	(.0)	1	(10.0)	351	(12.0)
45-49歳	329	(11.4)	3	(10.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(10.0)	333	(11.4)
50-54歳	321	(11.1)	6	(20.0)	0	(.0)	0	(.0)	3	(30.0)	330	(11.3)
55-59歳	347	(12.0)	2	(6.7)	0	(.0)	0	(.0)	2	(20.0)	351	(12.0)
60-64歳	465	(16.1)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(20.0)	467	(16.0)
合計	2886	(100.0)	30	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	10	(100.0)	2926	(100.0)

表63 これまでの大麻の使用経験（年齢群別）（%）

	大麻使用経験											
	ない		1年より前にのみあった		1年より前にも、この1年間にもあった		この1年間にのみあった		無回答		合計	
15-19歳	189	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	189	(100.0)
20-24歳	145	(99.3)	1	(.7)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	146	(100.0)
25-29歳	191	(98.5)	3	(1.5)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	194	(100.0)
30-34歳	243	(98.4)	4	(1.6)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	247	(100.0)
35-39歳	311	(97.8)	6	(1.9)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.3)	318	(100.0)
40-44歳	345	(98.3)	5	(1.4)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.3)	351	(100.0)
45-49歳	329	(98.8)	3	(.9)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.3)	333	(100.0)
50-54歳	321	(97.3)	6	(1.8)	0	(.0)	0	(.0)	3	(.9)	330	(100.0)
55-59歳	347	(98.9)	2	(.6)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.6)	351	(100.0)
60-64歳	465	(99.6)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.4)	467	(100.0)
合計	2886	(98.6)	30	(1.0)	0	(.0)	0	(.0)	10	(.3)	2926	(100.0)

表64 覚せい剤を使っている人の人数の印象 (%)

	男		女		全体	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
以前より増えている	369	(26.9)	508	(32.6)	877	(30.0)
変わらない	112	(8.2)	82	(5.3)	194	(6.6)
以前より減っている	25	(1.8)	11	(.7)	36	(1.2)
わからない	852	(62.2)	946	(60.8)	1798	(61.4)
無回答	12	(.9)	9	(.6)	21	(.7)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表65 覚せい剤使用により精神病状態になりやすく、フラッシュバック現象があることを知っているか? (%)

	男		女		全体	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
知っている	1090	(79.6)	1312	(84.3)	2402	(82.1)
知らない	267	(19.5)	235	(15.1)	502	(17.2)
無回答	13	(.9)	9	(.6)	22	(.8)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表66 身近な人で、覚せい剤をこの1年間に使った人を知っているか? (%)

	男		女		全体	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
知らない	1351	(98.6)	1546	(99.4)	2897	(99.0)
知っている	9	(.7)	7	(.4)	16	(.5)
無回答	10	(.7)	3	(.2)	13	(.4)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表67 身近な人で、覚せい剤をこの1年間に使用したことのある人を知っているか? (年齢群別) (%)

	過去1年覚せい剤を使った人							
	知らない	知っている	無回答	合計	知らない	知っている	無回答	
15-19歳	188	(6.5)	0	(.0)	1	(7.7)	189	(6.5)
20-24歳	145	(5.0)	0	(.0)	1	(7.7)	146	(5.0)
25-29歳	193	(6.7)	1	(6.3)	0	(.0)	194	(6.6)
30-34歳	245	(8.5)	2	(12.5)	0	(.0)	247	(8.4)
35-39歳	312	(10.8)	5	(31.3)	1	(7.7)	318	(10.9)
40-44歳	349	(12.0)	1	(6.3)	1	(7.7)	351	(12.0)
45-49歳	329	(11.4)	3	(18.8)	1	(7.7)	333	(11.4)
50-54歳	327	(11.3)	1	(6.3)	2	(15.4)	330	(11.3)
55-59歳	347	(12.0)	0	(.0)	4	(30.8)	351	(12.0)
60-64歳	462	(15.9)	3	(18.8)	2	(15.4)	467	(16.0)
合計	2897	(100.0)	16	(100.0)	13	(100.0)	2926	(100.0)

表68 身近な人で、覚せい剤をこの1年間に使った人を何人知っているか？ (%)

	男		女		全体	
1人	3	(33.3)	6	(85.7)	9	(56.3)
2人	2	(22.2)	0	(.0)	2	(12.5)
5人	1	(11.1)	0	(.0)	1	(6.3)
10人	2	(22.2)	1	(14.3)	3	(18.8)
無回答	1	(11.1)	0	(.0)	1	(6.3)
合計	9	(100.0)	7	(100.0)	16	(100.0)
平均±SD	4.00±3.93		2.29±3.40		3.20±3.67	
	n=8		n=7		n=15	

表69 覚せい剤使用にこれまでに誘われた経験 (覚せい剤生涯被誘惑経験) (%)

	男		女		全体	
ない	1343	(98.0)	1541	(99.0)	2884	(98.6)
1年より前にのみあった	16	(1.2)	11	(.7)	27	(.9)
1年より前にも、この1年間にもあった	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
この1年間にのみあった	2	(.1)	0	(.0)	2	(.1)
無回答	9	(.7)	4	(.3)	13	(.4)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表70 覚せい剤使用にこれまでに誘われた経験 (覚せい剤生涯被誘惑経験) (年齢群別) (%)

	覚せい剤使用に誘われた経験										合計	
	ない	1年より前にのみあった	1年より前にも、この1年間にもあった	この1年間にのみあった	無回答							
15-19歳	185	(6.4)	2	(7.4)	0	(.0)	0	(.0)	2	(15.4)	189	(6.5)
20-24歳	145	(5.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(50.0)	0	(.0)	146	(5.0)
25-29歳	190	(6.6)	4	(14.8)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	194	(6.6)
30-34歳	244	(8.5)	3	(11.1)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	247	(8.4)
35-39歳	311	(10.8)	5	(18.5)	0	(.0)	1	(50.0)	1	(7.7)	318	(10.9)
40-44歳	346	(12.0)	4	(14.8)	0	(.0)	0	(.0)	1	(7.7)	351	(12.0)
45-49歳	327	(11.3)	5	(18.5)	0	(.0)	0	(.0)	1	(7.7)	333	(11.4)
50-54歳	324	(11.2)	3	(11.1)	0	(.0)	0	(.0)	3	(23.1)	330	(11.3)
55-59歳	347	(12.0)	1	(3.7)	0	(.0)	0	(.0)	3	(23.1)	351	(12.0)
60-64歳	465	(16.1)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(15.4)	467	(16.0)
合計	2884	(100.0)	27	(100.0)	0	(.0)	2	(100.0)	13	(100.0)	2926	(100.0)

表71 覚せい剤使用にこれまでに誘われた経験（覚せい剤生涯被誘惑経験）（年齢群別）（%）

未補正

	覚せい剤使用に誘われた経験										
	ない		1年より前にのみあった		1年より前にも、この1年間にもあった		この1年間にのみあった		無回答		合計
15-19歳	185	(97.9)	2	(1.1)	0	(.0)	0	(.0)	2	(1.1)	189
20-24歳	145	(99.3)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.7)	0	(.0)	146
25-29歳	190	(97.9)	4	(2.1)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	194
30-34歳	244	(98.8)	3	(1.2)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	247
35-39歳	311	(97.8)	5	(1.6)	0	(.0)	1	(.3)	1	(.3)	318
40-44歳	346	(98.6)	4	(1.1)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.3)	351
45-49歳	327	(98.2)	5	(1.5)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.3)	333
50-54歳	324	(98.2)	3	(.9)	0	(.0)	0	(.0)	3	(.9)	330
55-59歳	347	(98.9)	1	(.3)	0	(.0)	0	(.0)	3	(.9)	351
60-64歳	465	(99.6)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.4)	467
合計	2884	(98.6)	27	(.9)	0	(.0)	2	(.1)	13	(.4)	2926

表72 覚せい剤使用のこれまでの経験（覚せい剤生涯経験）（%）

未補正

	男		女		全体	
	ない	1354	(98.8)	1547	(99.4)	2901
1年より前にのみあった	9	(.7)	5	(.3)	14	(.5)
1年より前にも、この1年間にもあった	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
この1年間にのみあった	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
無回答	7	(.5)	4	(.3)	11	(.4)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表73 覚せい剤使用のこれまでの経験（覚せい剤生涯経験）（年齢群別）（%）

未補正

	覚せい剤使用経験											
	ない		1年より前にのみあった		1年より前にも、この1年間にもあった		この1年間にのみあった		無回答		合計	
15-19歳	188	(6.5)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(9.1)	189	(6.5)
20-24歳	146	(5.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	146	(5.0)
25-29歳	192	(6.6)	2	(14.3)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	194	(6.6)
30-34歳	245	(8.4)	2	(14.3)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	247	(8.4)
35-39歳	312	(10.8)	4	(28.6)	0	(.0)	0	(.0)	2	(18.2)	318	(10.9)
40-44歳	348	(12.0)	2	(14.3)	0	(.0)	0	(.0)	1	(9.1)	351	(12.0)
45-49歳	331	(11.4)	1	(7.1)	0	(.0)	0	(.0)	1	(9.1)	333	(11.4)
50-54歳	326	(11.2)	2	(14.3)	0	(.0)	0	(.0)	2	(18.2)	330	(11.3)
55-59歳	348	(12.0)	1	(7.1)	0	(.0)	0	(.0)	2	(18.2)	351	(12.0)
60-64歳	465	(16.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(18.2)	467	(16.0)
合計	2901	(100.0)	14	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	11	(100.0)	2926	(100.0)

表74 覚せい剤使用のこれまでの経験（覚せい剤生涯経験）（年齢群別）（%）

未補正

	覚せい剤使用経験										合計	
	ない	1年より前にのみあった		1年より前にも、この1年間にもあった		この1年間にのみあった		無回答				
15-19歳	188	(99.5)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.5)	189	(100.0)
20-24歳	146	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	146	(100.0)
25-29歳	192	(99.0)	2	(1.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	194	(100.0)
30-34歳	245	(99.2)	2	(.8)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	247	(100.0)
35-39歳	312	(98.1)	4	(1.3)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.6)	318	(100.0)
40-44歳	348	(99.1)	2	(.6)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.3)	351	(100.0)
45-49歳	331	(99.4)	1	(.3)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.3)	333	(100.0)
50-54歳	326	(98.8)	2	(.6)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.6)	330	(100.0)
55-59歳	348	(99.1)	1	(.3)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.6)	351	(100.0)
60-64歳	465	(99.6)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.4)	467	(100.0)
合計	2901	(99.1)	14	(.5)	0	(.0)	0	(.0)	11	(.4)	2926	(100.0)

表75 ヘロインを使っている人の人数の印象（%）

	男		女		全体	
以前より増えている	194	(14.2)	243	(15.6)	437	(14.9)
変わらない	123	(9.0)	83	(5.3)	206	(7.0)
以前より減っている	41	(3.0)	23	(1.5)	64	(2.2)
わからない	1000	(73.0)	1198	(77.0)	2198	(75.1)
無回答	12	(.9)	9	(.6)	21	(.7)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表76 身近な人で、ヘロインをこの1年間に使ったことのある人を知っているか？（%）

	男		女		全体	
知らない	1357	(99.1)	1551	(99.7)	2908	(99.4)
知っている	3	(.2)	1	(.1)	4	(.1)
無回答	10	(.7)	4	(.3)	14	(.5)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表77 身近な人で、ヘロインをこの1年間に使ったことのある人を知っているか？（年齢群別）（%）

	過去1年ヘロインを使った人						合計	
	知らない		知っている		無回答			
15-19歳	188	(6.5)	0	(.0)	1	(7.1)	189	(6.5)
20-24歳	146	(5.0)	0	(.0)	0	(.0)	146	(5.0)
25-29歳	194	(6.7)	0	(.0)	0	(.0)	194	(6.6)
30-34歳	247	(8.5)	0	(.0)	0	(.0)	247	(8.4)
35-39歳	316	(10.9)	1	(25.0)	1	(7.1)	318	(10.9)
40-44歳	350	(12.0)	0	(.0)	1	(7.1)	351	(12.0)
45-49歳	330	(11.3)	1	(25.0)	2	(14.3)	333	(11.4)
50-54歳	328	(11.3)	0	(.0)	2	(14.3)	330	(11.3)
55-59歳	347	(11.9)	0	(.0)	4	(28.6)	351	(12.0)
60-64歳	462	(15.9)	2	(50.0)	3	(21.4)	467	(16.0)
合計	2908	(100.0)	4	(100.0)	14	(100.0)	2926	(100.0)

表78 身近な人で、ヘロインをこの1年間に使ったことのある人を何人知っているか？（%）

	男		女		全体	
1人	1	(33.3)	1	(100.0)	2	(50.0)
無回答	2	(66.7)	0	(.0)	2	(50.0)
合計	3	(100.0)	1	(100.0)	4	(100.0)
平均±SD	1.00		1.00		1.00±0.0	
	n=1		n=1		n=2	

表79 ヘロイン使用にこれまでに誘われた経験（ヘロイン生涯被誘惑経験）（%）

	未補正				
	男		女		全体
ない	1360	(99.3)	1551	(99.7)	2911 (99.5)
1年より前にのみあった	2	(.1)	1	(.1)	3 (.1)
1年より前にも、この1年間にもあった	0	(.0)	0	(.0)	0 (.0)
この1年間にのみあった	0	(.0)	0	(.0)	0 (.0)
無回答	8	(.6)	4	(.3)	12 (.4)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926 (100.0)

表80 ヘロインの生涯被誘惑経験（年齢群別）（%）

未補正

	ヘロイン使用に誘われた経験										合計	
	ない	1年より前にのみあった		1年より前にも、この1年間にもあった		この1年間にのみあった		無回答				
15-19歳	189	(6.5)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	189	(6.5)
20-24歳	146	(5.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	146	(5.0)
25-29歳	194	(6.7)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	194	(6.6)
30-34歳	246	(8.5)	1	(33.3)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	247	(8.4)
35-39歳	316	(10.9)	1	(33.3)	0	(.0)	0	(.0)	1	(8.3)	318	(10.9)
40-44歳	350	(12.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(8.3)	351	(12.0)
45-49歳	331	(11.4)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(16.7)	333	(11.4)
50-54歳	327	(11.2)	1	(33.3)	0	(.0)	0	(.0)	2	(16.7)	330	(11.3)
55-59歳	348	(12.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	3	(25.0)	351	(12.0)
60-64歳	464	(15.9)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	3	(25.0)	467	(16.0)
合計	2911	(100.0)	3	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	12	(100.0)	2926	(100.0)

表81 ヘロインの生涯被誘惑経験（年齢群別）（%）

未補正

	ヘロイン使用に誘われた経験										合計	
	ない	1年より前にのみあった		1年より前にも、この1年間にもあった		この1年間にのみあった		無回答				
15-19歳	189	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	189	(100.0)
20-24歳	146	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	146	(100.0)
25-29歳	194	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	194	(100.0)
30-34歳	246	(99.6)	1	(.4)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	247	(100.0)
35-39歳	316	(99.4)	1	(.3)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.3)	318	(100.0)
40-44歳	350	(99.7)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.3)	351	(100.0)
45-49歳	331	(99.4)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.6)	333	(100.0)
50-54歳	327	(99.1)	1	(.3)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.6)	330	(100.0)
55-59歳	348	(99.1)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	3	(.9)	351	(100.0)
60-64歳	464	(99.4)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	3	(.6)	467	(100.0)
合計	2911	(99.5)	3	(.1)	0	(.0)	0	(.0)	12	(.4)	2926	(100.0)

表82 これまでにヘロインを使用した経験（ヘロイン生涯経験率）（%）

未補正

	男		女		全体	
	ない	1361	(99.3)	1552	(99.7)	2913
1年より前にのみあった	1	(.1)	1	(.1)	2	(.1)
1年より前にも、この1年間にもあった	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
この1年間にのみあった	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
無回答	8	(.6)	3	(.2)	11	(.4)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表83 ヘロイン使用のこれまでの経験（ヘロイン生涯経験）（年齢群別）（%）

未補正

	ヘロイン使用経験										合計	
	ない	1年より前にのみあった		1年より前にも、この1年間にのみあった		この1年間にのみあった		無回答				
15-19歳	189	(6.5)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	189	(6.5)
20-24歳	146	(5.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	146	(5.0)
25-29歳	193	(6.6)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(9.1)	194	(6.6)
30-34歳	246	(8.4)	1	(50.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	247	(8.4)
35-39歳	317	(10.9)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(9.1)	318	(10.9)
40-44歳	350	(12.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(9.1)	351	(12.0)
45-49歳	331	(11.4)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(18.2)	333	(11.4)
50-54歳	327	(11.2)	1	(50.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(18.2)	330	(11.3)
55-59歳	349	(12.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(18.2)	351	(12.0)
60-64歳	465	(16.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(18.2)	467	(16.0)
合計	2913	(100.0)	2	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	11	(100.0)	2926	(100.0)

表84 ヘロイン使用のこれまでの経験（ヘロイン生涯経験）（年齢群別）（%）

未補正

	ヘロイン使用経験										合計	
	ない	1年より前にのみあった		1年より前にも、この1年間にのみあった		この1年間にのみあった		無回答				
15-19歳	189	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	189	(100.0)
20-24歳	146	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	146	(100.0)
25-29歳	193	(99.5)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.5)	194	(100.0)
30-34歳	246	(99.6)	1	(.4)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	247	(100.0)
35-39歳	317	(99.7)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.3)	318	(100.0)
40-44歳	350	(99.7)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.3)	351	(100.0)
45-49歳	331	(99.4)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.6)	333	(100.0)
50-54歳	327	(99.1)	1	(.3)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.6)	330	(100.0)
55-59歳	349	(99.4)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.6)	351	(100.0)
60-64歳	465	(99.6)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.4)	467	(100.0)
合計	2913	(99.6)	2	(.1)	0	(.0)	0	(.0)	11	(.4)	2926	(100.0)

表85 コカインを使っている人の人数の印象（%）

	男		女		全体	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
以前より増えている	206	(15.0)	273	(17.5)	479	(16.4)
変わらない	132	(9.6)	84	(5.4)	216	(7.4)
以前より減っている	25	(1.8)	18	(1.2)	43	(1.5)
わからない	997	(72.8)	1173	(75.4)	2170	(74.2)
無回答	10	(.7)	8	(.5)	18	(.6)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表86 身近な人で、コカインをこの1年間に使った人を知っているか (%)

	男		女		全体	
知らない	1358	(99.1)	1551	(99.7)	2909	(99.4)
知っている	2	(.1)	0	(.0)	2	(.1)
無回答	10	(.7)	5	(.3)	15	(.5)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表87 身近な人で、コカインをこの1年間に使用したことのある人を知っているか？ (年齢群別) (%)

	過去1年コカインを使った人							
	知らない		知っている		無回答		合計	
15-19歳	188	(6.5)	0	(.0)	1	(6.7)	189	(6.5)
20-24歳	145	(5.0)	0	(.0)	1	(6.7)	146	(5.0)
25-29歳	194	(6.7)	0	(.0)	0	(.0)	194	(6.6)
30-34歳	247	(8.5)	0	(.0)	0	(.0)	247	(8.4)
35-39歳	316	(10.9)	1	(50.0)	1	(6.7)	318	(10.9)
40-44歳	350	(12.0)	0	(.0)	1	(6.7)	351	(12.0)
45-49歳	330	(11.3)	1	(50.0)	2	(13.3)	333	(11.4)
50-54歳	327	(11.2)	0	(.0)	3	(20.0)	330	(11.3)
55-59歳	348	(12.0)	0	(.0)	3	(20.0)	351	(12.0)
60-64歳	464	(16.0)	0	(.0)	3	(20.0)	467	(16.0)
合計	2909	(100.0)	2	(100.0)	15	(100.0)	2926	(100.0)

表88 身近な人で、コカインをこの1年間に使った人を何人知っているか？ (%)

	男		女		全体	
10人	1	(50.0)	0	(.0)	1	(50.0)
無回答	1	(50.0)	0	(.0)	1	(50.0)
合計	2	(100.0)	0	(.0)	2	(100.0)
平均±SD	10.00		-		10.00	
	n=1		n=0		n=1	

表89 コカインに使用にこれまで誘われた経験 (コカイン生涯被誘惑経験) (%)

	男		女		全体		未補正
ない	1358	(99.1)	1546	(99.4)	2904	(99.2)	
1年より前にのみあった	4	(.3)	5	(.3)	9	(.3)	
1年より前にも、この1年間にもあった	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	
この1年間にのみあった	1	(.1)	0	(.0)	1	(.0)	
無回答	7	(.5)	5	(.3)	12	(.4)	
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)	

表90 コカイン使用にこれまでに誘われた経験（コカイン生涯被誘惑経験）（年齢群別）（%） 未補正

	コカイン使用に誘われた経験										合計	
	ない		1年より前にのみあった		1年より前にも、この1年間にもあった		この1年間のみあった		無回答			
15-19歳	189	(6.5)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	189	(6.5)
20-24歳	145	(5.0)	1	(11.1)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	146	(5.0)
25-29歳	193	(6.6)	1	(11.1)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	194	(6.6)
30-34歳	246	(8.5)	1	(11.1)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	247	(8.4)
35-39歳	313	(10.8)	2	(22.2)	0	(.0)	1	(100.0)	2	(16.7)	318	(10.9)
40-44歳	350	(12.1)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(8.3)	351	(12.0)
45-49歳	329	(11.3)	3	(33.3)	0	(.0)	0	(.0)	1	(8.3)	333	(11.4)
50-54歳	327	(11.3)	1	(11.1)	0	(.0)	0	(.0)	2	(16.7)	330	(11.3)
55-59歳	347	(11.9)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	4	(33.3)	351	(12.0)
60-64歳	465	(16.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(16.7)	467	(16.0)
合計	2904	(100.0)	9	(100.0)	0	(.0)	1	(100.0)	12	(100.0)	2926	(100.0)

表91 コカイン使用にこれまでに誘われた経験（コカイン生涯被誘惑経験）（年齢群別）（%） 未補正

	コカイン使用に誘われた経験										合計	
	ない		1年より前にのみあった		1年より前にも、この1年間にもあった		この1年間のみあった		無回答			
15-19歳	189	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	189	(100.0)
20-24歳	145	(99.3)	1	(.7)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	146	(100.0)
25-29歳	193	(99.5)	1	(.5)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	194	(100.0)
30-34歳	246	(99.6)	1	(.4)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	247	(100.0)
35-39歳	313	(98.4)	2	(.6)	0	(.0)	1	(.3)	2	(.6)	318	(100.0)
40-44歳	350	(99.7)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.3)	351	(100.0)
45-49歳	329	(98.8)	3	(.9)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.3)	333	(100.0)
50-54歳	327	(99.1)	1	(.3)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.6)	330	(100.0)
55-59歳	347	(98.9)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	4	(1.1)	351	(100.0)
60-64歳	465	(99.6)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.4)	467	(100.0)
合計	2904	(99.2)	9	(.3)	0	(.0)	1	(.0)	12	(.4)	2926	(100.0)

表92 これまでにコカインを使用した経験（コカイン生涯経験率）（%） 未補正

	男		女		全体	
	ない	1360	(99.3)	1549	(99.6)	2909
1年より前にのみあった	1	(.1)	1	(.1)	2	(.1)
1年より前にも、この1年間にもあった	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
この1年間のみあった	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
無回答	9	(.7)	6	(.4)	15	(.5)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表93 コカイン使用のこれまでの経験（コカイン生涯経験）（年齢群別）（%）

未補正

	コカイン使用経験										合計	
	ない	1年より前にのみあった	1年より前にも、この1年間にもあった	この1年間にのみあった	無回答							
15-19歳	189	(6.5)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	189	(6.5)
20-24歳	146	(5.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	146	(5.0)
25-29歳	194	(6.7)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	194	(6.6)
30-34歳	246	(8.5)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(6.7)	247	(8.4)
35-39歳	314	(10.8)	2	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(13.3)	318	(10.9)
40-44歳	350	(12.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(6.7)	351	(12.0)
45-49歳	331	(11.4)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(13.3)	333	(11.4)
50-54歳	328	(11.3)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(13.3)	330	(11.3)
55-59歳	347	(11.9)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	4	(26.7)	351	(12.0)
60-64歳	464	(16.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	3	(20.0)	467	(16.0)
合計	2909	(100.0)	2	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	15	(100.0)	2926	(100.0)

表94 コカイン使用のこれまでの経験（コカイン生涯経験）（年齢群別）（%）

未補正

	コカイン使用経験										合計	
	ない	1年より前にのみあった	1年より前にも、この1年間にもあった	この1年間にのみあった	無回答							
15-19歳	189	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	189	(100.0)
20-24歳	146	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	146	(100.0)
25-29歳	194	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	194	(100.0)
30-34歳	246	(99.6)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.4)	247	(100.0)
35-39歳	314	(98.7)	2	(.6)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.6)	318	(100.0)
40-44歳	350	(99.7)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.3)	351	(100.0)
45-49歳	331	(99.4)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.6)	333	(100.0)
50-54歳	328	(99.4)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.6)	330	(100.0)
55-59歳	347	(98.9)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	4	(1.1)	351	(100.0)
60-64歳	464	(99.4)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	3	(.6)	467	(100.0)
合計	2909	(99.4)	2	(.1)	0	(.0)	0	(.0)	15	(.5)	2926	(100.0)

表95 MDMAを使っている人の人数の印象（%）

	男		女		全体	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
以前より増えている	217	(15.8)	283	(18.2)	500	(17.1)
変わらない	88	(6.4)	64	(4.1)	152	(5.2)
以前より減っている	16	(1.2)	7	(.4)	23	(.8)
わからない	1040	(75.9)	1194	(76.7)	2234	(76.3)
無回答	9	(.7)	8	(.5)	17	(.6)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表96 身近な人で、MDMAをこの1年間に使用した人を知っているか？ (%)

	男		女		全体	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
知らない	1355	(98.9)	1548	(99.5)	2903	(99.2)
知っている	3	(.2)	0	(.0)	3	(.1)
無回答	12	(.9)	8	(.5)	20	(.7)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表97 身近な人で、MDMAをこの1年間に使用したことのある人を知っているか？ (年齢群別) (%)

	過去1年MDMAを使った人							
	知らない		知っている		無回答		合計	
年齢群	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
15-19歳	188	(6.5)	0	(.0)	1	(5.0)	189	(6.5)
20-24歳	146	(5.0)	0	(.0)	0	(.0)	146	(5.0)
25-29歳	193	(6.6)	0	(.0)	1	(5.0)	194	(6.6)
30-34歳	246	(8.5)	1	(33.3)	0	(.0)	247	(8.4)
35-39歳	315	(10.9)	1	(33.3)	2	(10.0)	318	(10.9)
40-44歳	345	(11.9)	1	(33.3)	5	(25.0)	351	(12.0)
45-49歳	333	(11.5)	0	(.0)	0	(.0)	333	(11.4)
50-54歳	326	(11.2)	0	(.0)	4	(20.0)	330	(11.3)
55-59歳	350	(12.1)	0	(.0)	1	(5.0)	351	(12.0)
60-64歳	461	(15.9)	0	(.0)	6	(30.0)	467	(16.0)
合計	2903	(100.0)	3	(100.0)	20	(100.0)	2926	(100.0)

表98 身近な人で、MDMAをこの1年間に使用した人を何人知っているか？ (%)

	男		女		全体	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
3人	1	(33.3)	0	(.0)	1	(33.3)
4人	1	(33.3)	0	(.0)	1	(33.3)
5人	1	(33.3)	0	(.0)	1	(33.3)
合計	3	(100.0)	0	(.0)	3	(100.0)
平均±SD	4.00±1.00		-		4.00±1.00	
	n=3		n=0		n=3	

表99 MDMA使用これまでに誘われた経験 (MDMA生涯被誘惑経験) (%)

	男		女		全体		未補正
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数
ない	1352	(98.7)	1545	(99.3)	2897	(99.0)	
1年より前にのみあった	6	(.4)	4	(.3)	10	(.3)	
1年より前にも、この1年間にもあった	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	
この1年間にのみあった	1	(.1)	0	(.0)	1	(.0)	
無回答	11	(.8)	7	(.4)	18	(.6)	
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)	

表100 MDMA使用にこれまでに誘われた経験（MDMA生涯被誘惑経験）（年齢群別）（%） 未補正

	MDMA使用に誘われた経験										合計	
	ない	1年より前にのみあった		1年より前にも、この1年間にもあった		この1年間にのみあった		無回答				
15-19歳	189	(6.5)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	189	(6.5)
20-24歳	146	(5.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	146	(5.0)
25-29歳	192	(6.6)	1	(10.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(5.6)	194	(6.6)
30-34歳	243	(8.4)	2	(20.0)	0	(.0)	1	(100.0)	1	(5.6)	247	(8.4)
35-39歳	313	(10.8)	3	(30.0)	0	(.0)	0	(.0)	2	(11.1)	318	(10.9)
40-44歳	347	(12.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	4	(22.2)	351	(12.0)
45-49歳	331	(11.4)	2	(20.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	333	(11.4)
50-54歳	326	(11.3)	1	(10.0)	0	(.0)	0	(.0)	3	(16.7)	330	(11.3)
55-59歳	350	(12.1)	1	(10.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	351	(12.0)
60-64歳	460	(15.9)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	7	(38.9)	467	(16.0)
合計	2897	(100.0)	10	(100.0)	0	(.0)	1	(100.0)	18	(100.0)	2926	(100.0)

表101 MDMA使用にこれまでに誘われた経験（MDMA生涯被誘惑経験）（年齢群別）（%） 未補正

	MDMA使用に誘われた経験										合計	
	ない	1年より前にのみあった		1年より前にも、この1年間にもあった		この1年間にのみあった		無回答				
15-19歳	189	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	189	(100.0)
20-24歳	146	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	146	(100.0)
25-29歳	192	(99.0)	1	(.5)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.5)	194	(100.0)
30-34歳	243	(98.4)	2	(.8)	0	(.0)	1	(.4)	1	(.4)	247	(100.0)
35-39歳	313	(98.4)	3	(.9)	0	(.0)	0	(.0)	2	(.6)	318	(100.0)
40-44歳	347	(98.9)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	4	(1.1)	351	(100.0)
45-49歳	331	(99.4)	2	(.6)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	333	(100.0)
50-54歳	326	(98.8)	1	(.3)	0	(.0)	0	(.0)	3	(.9)	330	(100.0)
55-59歳	350	(99.7)	1	(.3)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	351	(100.0)
60-64歳	460	(98.5)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	7	(1.5)	467	(100.0)
合計	2897	(99.0)	10	(.3)	0	(.0)	1	(.0)	18	(.6)	2926	(100.0)

表102 これまでにMDMAを使用した経験（MDMA生涯経験率）（%） 未補正

	男		女		全体	
	ない	1356	(99.0)	1548	(99.5)	2904
1年より前にのみあった	3	(.2)	2	(.1)	5	(.2)
1年より前にも、この1年間にもあった	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
この1年間にのみあった	1	(.1)	0	(.0)	1	(.0)
無回答	10	(.7)	6	(.4)	16	(.5)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表103 MDMA使用のこれまでの経験（MDMA生涯経験）（年齢群別）（%）

未補正

	MDMA使用経験										合計	
	ない	1年より前にのみあった		1年より前にも、この1年間にもあった		この1年間にのみあった		無回答				
15-19歳	189	(6.5)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	189	(6.5)
20-24歳	146	(5.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	146	(5.0)
25-29歳	193	(6.6)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(6.3)	194	(6.6)
30-34歳	245	(8.4)	1	(20.0)	0	(.0)	1	(100.0)	0	(.0)	247	(8.4)
35-39歳	315	(10.8)	2	(40.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(6.3)	318	(10.9)
40-44歳	347	(11.9)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	4	(25.0)	351	(12.0)
45-49歳	332	(11.4)	1	(20.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	333	(11.4)
50-54歳	326	(11.2)	1	(20.0)	0	(.0)	0	(.0)	3	(18.8)	330	(11.3)
55-59歳	351	(12.1)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	351	(12.0)
60-64歳	460	(15.8)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	7	(43.8)	467	(16.0)
合計	2904	(100.0)	5	(100.0)	0	(.0)	1	(100.0)	16	(100.0)	2926	(100.0)

表104 MDMA使用のこれまでの経験（MDMA生涯経験）（年齢群別）（%）

未補正

	MDMA使用経験										合計	
	ない	1年より前にのみあった		1年より前にも、この1年間にもあった		この1年間にのみあった		無回答				
15-19歳	189	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	189	(100.0)
20-24歳	146	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	146	(100.0)
25-29歳	193	(99.5)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.5)	194	(100.0)
30-34歳	245	(99.2)	1	(.4)	0	(.0)	1	(.4)	0	(.0)	247	(100.0)
35-39歳	315	(99.1)	2	(.6)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.3)	318	(100.0)
40-44歳	347	(98.9)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	4	(1.1)	351	(100.0)
45-49歳	332	(99.7)	1	(.3)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	333	(100.0)
50-54歳	326	(98.8)	1	(.3)	0	(.0)	0	(.0)	3	(.9)	330	(100.0)
55-59歳	351	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	351	(100.0)
60-64歳	460	(98.5)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	7	(1.5)	467	(100.0)
合計	2904	(99.2)	5	(.2)	0	(.0)	1	(.0)	16	(.5)	2926	(100.0)

表105 脱法ドラッグは一回使っただけで、身体的や精神的に不安定になる可能性のある法の網をかいくぐった非常に危険な薬物であることを知っているか？（%）

	男		女		全体	
知らなかった	460	(33.6)	632	(40.6)	1092	(37.3)
知っていた	892	(65.1)	907	(58.3)	1799	(61.5)
無回答	18	(1.3)	17	(1.1)	35	(1.2)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表106 身近な人で、脱法ドラッグをこの1年間に使用した人を知っているか？ (%)

	男		女		全体	
知らない	1346	(98.2)	1529	(98.3)	2875	(98.3)
知っている	11	(.8)	13	(.8)	24	(.8)
無回答	13	(.9)	14	(.9)	27	(.9)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表107 身近な人で、脱法ドラッグをこの1年間に使用したことのある人を知っているか？ (年齢群別) (%)

	過去1年脱法ドラッグを使った人							
	知らない		知っている		無回答		合計	
15-19歳	187	(6.5)	2	(8.3)	0	(.0)	189	(6.5)
20-24歳	142	(4.9)	4	(16.7)	0	(.0)	146	(5.0)
25-29歳	188	(6.5)	5	(20.8)	1	(3.7)	194	(6.6)
30-34歳	246	(8.6)	0	(.0)	1	(3.7)	247	(8.4)
35-39歳	312	(10.9)	4	(16.7)	2	(7.4)	318	(10.9)
40-44歳	343	(11.9)	3	(12.5)	5	(18.5)	351	(12.0)
45-49歳	330	(11.5)	2	(8.3)	1	(3.7)	333	(11.4)
50-54歳	323	(11.2)	2	(8.3)	5	(18.5)	330	(11.3)
55-59歳	346	(12.0)	2	(8.3)	3	(11.1)	351	(12.0)
60-64歳	458	(15.9)	0	(.0)	9	(33.3)	467	(16.0)
合計	2875	(100.0)	24	(100.0)	27	(100.0)	2926	(100.0)

表108 身近な人で、脱法ドラッグをこの1年間に使った人を何人知っているか？ (%)

	男		女		全体	
1人	4	(36.4)	7	(53.8)	11	(45.8)
2人	2	(18.2)	1	(7.7)	3	(12.5)
3人	2	(18.2)	3	(23.1)	5	(20.8)
5人	0	(.0)	1	(7.7)	1	(4.2)
10人	2	(18.2)	1	(7.7)	3	(12.5)
無回答	1	(9.1)	0	(.0)	1	(4.2)
合計	11	(100.0)	13	(100.0)	24	(100.0)
平均±SD	3.40±3.57		2.54±2.57		2.91±3.00	
	n=10		n=13		n=23	

表109 これまでに脱法ドラッグを使用した経験 (脱法ドラッグ生涯経験率) (%)

	未補正					
	男		女		全体	
ない	1360	(99.3)	1550	(99.6)	2910	(99.5)
1年より前にのみあった	4	(.3)	4	(.3)	8	(.3)
1年より前にも、この1年間にもあった	1	(.1)	0	(.0)	1	(.0)
この1年間にのみあった	3	(.2)	0	(.0)	3	(.1)
無回答	2	(.1)	2	(.1)	4	(.1)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表110 脱法ドラッグ使用のこれまでの経験（脱法ドラッグ生涯経験）（年齢群別）（%） 未補正

	脱法ドラッグ使用経験										合計	
	ない		1年より前にのみあった		1年より前にも、この1年間にもあった		この1年間にのみあった		無回答			
15-19歳	189	(6.5)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	189	(6.5)
20-24歳	144	(4.9)	1	(12.5)	0	(.0)	1	(33.3)	0	(.0)	146	(5.0)
25-29歳	193	(6.6)	1	(12.5)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	194	(6.6)
30-34歳	243	(8.4)	3	(37.5)	0	(.0)	1	(33.3)	0	(.0)	247	(8.4)
35-39歳	316	(10.9)	1	(12.5)	0	(.0)	1	(33.3)	0	(.0)	318	(10.9)
40-44歳	349	(12.0)	2	(25.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	351	(12.0)
45-49歳	332	(11.4)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(25.0)	333	(11.4)
50-54歳	328	(11.3)	0	(.0)	1	(100.0)	0	(.0)	1	(25.0)	330	(11.3)
55-59歳	350	(12.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(25.0)	351	(12.0)
60-64歳	466	(16.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(25.0)	467	(16.0)
合計	2910	(100.0)	8	(100.0)	1	(100.0)	3	(100.0)	4	(100.0)	2926	(100.0)

表111 脱法ドラッグ使用のこれまでの経験（脱法ドラッグ生涯経験）（年齢群別）（%） 未補正

	脱法ドラッグ使用経験										合計	
	ない		1年より前にのみあった		1年より前にも、この1年間にもあった		この1年間にのみあった		無回答			
15-19歳	189	(100.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	189	(100.0)
20-24歳	144	(98.6)	1	(.7)	0	(.0)	1	(.7)	0	(.0)	146	(100.0)
25-29歳	193	(99.5)	1	(.5)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	194	(100.0)
30-34歳	243	(98.4)	3	(1.2)	0	(.0)	1	(.4)	0	(.0)	247	(100.0)
35-39歳	316	(99.4)	1	(.3)	0	(.0)	1	(.3)	0	(.0)	318	(100.0)
40-44歳	349	(99.4)	2	(.6)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	351	(100.0)
45-49歳	332	(99.7)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.3)	333	(100.0)
50-54歳	328	(99.4)	0	(.0)	1	(.3)	0	(.0)	1	(.3)	330	(100.0)
55-59歳	350	(99.7)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.3)	351	(100.0)
60-64歳	466	(99.8)	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)	1	(.2)	467	(100.0)
合計	2910	(99.5)	8	(.3)	1	(.0)	3	(.1)	4	(.1)	2926	(100.0)

表112 これまでに使用した脱法ドラッグの形状（生涯脱法ドラッグ経験者のみ）（複数回答）（%）

	男		女		全体	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
ハーブ（植物）系	5	(62.5)	2	(50.0)	7	(58.3)
リキッド（液体）系	3	(37.5)	3	(75.0)	6	(50.0)
パウダー（粉）系	3	(37.5)	1	(25.0)	4	(33.3)
その他	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
使用歴あるが形状不明	1	(12.5)	0	(.0)	1	(8.3)
無回答	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
合計	8	(100.0)	4	(100.0)	12	(100.0)

表113 過去1年に使用した脱法ドラッグの形状（過去1年脱法ドラッグ経験者のみ）（複数回答）（%）

	男		女		全体	
ハーブ（植物）系	3	(100.0)	0	(.0)	3	(100.0)
リキッド（液体）系	1	(33.3)	0	(.0)	1	(33.3)
パウダー（粉）系	1	(33.3)	0	(.0)	1	(33.3)
その他	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
使用歴あるが形状不明	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
無回答	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
合計	3	(100.0)	0	(.0)	3	(100.0)

表114 脱法ドラッグ使用が原因で、これまでに病院を受診したことがある科（複数回答）（%）

	男		女		全体	
脱法ドラッグを使ったことがない	1360	(99.3)	1550	(99.6)	2910	(99.5)
病院受診はない	7	(.5)	3	(.2)	10	(.3)
救急車	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
内科	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
外科	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
精神科	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
その他の科	0	(.0)	0	(.0)	0	(.0)
使用歴あるが病院での受診歴不明	1	(.1)	1	(.1)	2	(.1)
無回答	2	(.1)	2	(.1)	4	(.1)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表115 有機溶剤の入手（%）

	男		女		全体	
絶対不可能	299	(21.8)	642	(41.3)	941	(32.2)
ほとんど不可能	205	(15.0)	293	(18.8)	498	(17.0)
少々苦勞するがなんとか手に入る	277	(20.2)	260	(16.7)	537	(18.4)
簡単に手に入る	543	(39.6)	328	(21.1)	871	(29.8)
無回答	46	(3.4)	33	(2.1)	79	(2.7)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表116 大麻の入手（%）

	男		女		全体	
絶対不可能	710	(51.8)	1098	(70.6)	1808	(61.8)
ほとんど不可能	378	(27.6)	262	(16.8)	640	(21.9)
少々苦勞するがなんとか手に入る	187	(13.6)	139	(8.9)	326	(11.1)
簡単に手に入る	56	(4.1)	33	(2.1)	89	(3.0)
無回答	39	(2.8)	24	(1.5)	63	(2.2)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表117 覚せい剤の入手 (%)

	男		女		全体	
絶対不可能	754	(55.0)	1118	(71.9)	1872	(64.0)
ほとんど不可能	372	(27.2)	261	(16.8)	633	(21.6)
少々苦勞するがなんとか手に入る	162	(11.8)	123	(7.9)	285	(9.7)
簡単に手に入る	45	(3.3)	29	(1.9)	74	(2.5)
無回答	37	(2.7)	25	(1.6)	62	(2.1)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表118 ヘロインの入手 (%)

	男		女		全体	
絶対不可能	772	(56.4)	1144	(73.5)	1916	(65.5)
ほとんど不可能	387	(28.2)	266	(17.1)	653	(22.3)
少々苦勞するがなんとか手に入る	136	(9.9)	104	(6.7)	240	(8.2)
簡単に手に入る	41	(3.0)	19	(1.2)	60	(2.1)
無回答	34	(2.5)	23	(1.5)	57	(1.9)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表119 コカインの入手 (%)

	男		女		全体	
絶対不可能	771	(56.3)	1144	(73.5)	1915	(65.4)
ほとんど不可能	379	(27.7)	262	(16.8)	641	(21.9)
少々苦勞するがなんとか手に入る	145	(10.6)	101	(6.5)	246	(8.4)
簡単に手に入る	41	(3.0)	26	(1.7)	67	(2.3)
無回答	34	(2.5)	23	(1.5)	57	(1.9)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表120 MDMAの入手 (%)

	男		女		全体	
絶対不可能	757	(55.3)	1131	(72.7)	1888	(64.5)
ほとんど不可能	375	(27.4)	257	(16.5)	632	(21.6)
少々苦勞するがなんとか手に入る	158	(11.5)	116	(7.5)	274	(9.4)
簡単に手に入る	44	(3.2)	28	(1.8)	72	(2.5)
無回答	36	(2.6)	24	(1.5)	60	(2.1)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表121 大麻を吸うことについてどう思うか？ (%)

	男		女		全体	
法律で云々言う以前にすべきではない	1062	(77.5)	1400	(90.0)	2462	(84.1)
法律で禁止されているからすべきではない	190	(13.9)	97	(6.2)	287	(9.8)
法律で禁止されているが少々ならかまわない	13	(.9)	4	(.3)	17	(.6)
法律で決める必要はなく個人の自由	34	(2.5)	18	(1.2)	52	(1.8)
知らないから判断できない	51	(3.7)	26	(1.7)	77	(2.6)
無回答	20	(1.5)	11	(.7)	31	(1.1)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表122 覚せい剤を使用することについてどう思うか？ (%)

	男		女		全体	
法律で云々言う以前にすべきではない	1179	(86.1)	1453	(93.4)	2632	(90.0)
法律で禁止されているからすべきではない	129	(9.4)	61	(3.9)	190	(6.5)
法律で禁止されているが少々ならかまわない	1	(.1)	0	(.0)	1	(.0)
法律で決める必要はなく個人の自由	13	(.9)	13	(.8)	26	(.9)
知らないから判断できない	29	(2.1)	19	(1.2)	48	(1.6)
無回答	19	(1.4)	10	(.6)	29	(1.0)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表123 この1年間に受診した科（複数回答） (%)

	男		女		全体	
どこにも受診していない	334	(24.4)	219	(14.1)	553	(18.9)
内科	677	(49.4)	905	(58.2)	1582	(54.1)
神経科・精神科	27	(2.0)	31	(2.0)	58	(2.0)
神経内科	11	(.8)	17	(1.1)	28	(1.0)
外科	83	(6.1)	79	(5.1)	162	(5.5)
整形外科	224	(16.4)	288	(18.5)	512	(17.5)
皮膚科	172	(12.6)	338	(21.7)	510	(17.4)
脳神経外科	29	(2.1)	39	(2.5)	68	(2.3)
泌尿器科	62	(4.5)	34	(2.2)	96	(3.3)
産婦人科	0	(.0)	304	(19.5)	304	(10.4)
眼科	181	(13.2)	373	(24.0)	554	(18.9)
歯科	413	(30.1)	599	(38.5)	1012	(34.6)
耳鼻咽喉科	174	(12.7)	313	(20.1)	487	(16.6)
心療内科	20	(1.5)	25	(1.6)	45	(1.5)
その他	23	(1.7)	17	(1.1)	40	(1.4)
無回答	16	(1.2)	10	(.6)	26	(.9)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表124 薬物使用（医薬品も含めて）が原因で、これまでに受診したことがある科（複数回答）（%）

	男		女		全体	
どこにも受診していない	1249	(91.2)	1379	(88.6)	2628	(89.8)
内科	61	(4.5)	108	(6.9)	169	(5.8)
神経科・精神科	6	(.4)	9	(.6)	15	(.5)
神経内科	0	(.0)	4	(.3)	4	(.1)
外科	14	(1.0)	7	(.4)	21	(.7)
整形外科	17	(1.2)	27	(1.7)	44	(1.5)
皮膚科	21	(1.5)	52	(3.3)	73	(2.5)
脳神経外科	5	(.4)	2	(.1)	7	(.2)
泌尿器科	4	(.3)	3	(.2)	7	(.2)
産婦人科	0	(.0)	25	(1.6)	25	(.9)
眼科	16	(1.2)	29	(1.9)	45	(1.5)
歯科	25	(1.8)	27	(1.7)	52	(1.8)
耳鼻咽喉科	15	(1.1)	20	(1.3)	35	(1.2)
心療内科	3	(.2)	6	(.4)	9	(.3)
その他	4	(.3)	3	(.2)	7	(.2)
無回答	22	(1.6)	20	(1.3)	42	(1.4)
合計	1370	(100.0)	1556	(100.0)	2926	(100.0)

表125 全国の15歳以上の住民の1年経験率(%)（性別、年代別に地区ごとに補正）

	飲酒			喫煙		
	全体	男	女	全体	男	女
2003年	85.1	89.2	81.3	32.8	49.5	17.2
2005年	84.2	88.9	79.9	33.3	48.3	19.5
2007年	83.8	88.8	79.3	30.4	44.6	17.3
2009年	83.7	88.5	79.2	32.1	48.9	16.1
2011年	85.3	88.9	81.9	29.3	43.4	16.2
2013年	82.2	85.7	79.1	27.2	39.4	16.5

	鎮痛薬			精神安定薬			睡眠薬		
	全体	男	女	全体	男	女	全体	男	女
2003年	55.2	47.1	62.8	7.4	5.6	9.1	6.2	6.0	6.3
2005年	55.1	48.9	60.8	8.1	6.4	9.7	6.2	4.7	7.6
2007年	55.3	47.0	63.0	8.1	6.2	9.9	7.7	6.5	8.7
2009年	58.1	49.0	66.8	7.1	6.1	8.1	6.5	5.5	7.4
2011年	58.6	46.4	69.9	5.6	4.8	6.3	5.6	4.9	6.3
2013年	61.4	59.4	63.4	6.2	5.1	7.6	5.6	4.5	7.0

表126 全国の15歳以上の住民の生涯被誘惑率(%)（性別、年代別に地区ごとに補正）

	有機溶剤	大麻	覚せい剤	コカイン	ヘロイン	MDMA	いずれか	有機溶剤以外のいずれ
1995	2.0	1.3	0.7	0.2	0.2		2.9	1.7
1997	1.7	1.6	0.4	0.1	0.2		3.2	2.0
1999	2.9	1.6	1.0	0.5	0.2		4.1	2.3
2001	3.9	2.1	1.1	0.3	0.2		5.0	2.3
2003	2.7	1.4	0.9	0.3	0.2	0.2	3.8	1.9
2005	2.7	2.0	0.9	0.4	0.2	0.2	4.0	2.5
2007	3.0	1.8	1.0	0.3	0.2	0.4	4.4	2.7
2009	3.6	2.8	1.2	0.4	0.1	0.6	6.4	4.1
2011	2.9	2.0	0.9	0.2	0.2	0.2	4.6	2.8
2013	2.6	2.7	0.9	0.3	統計誤差内	0.4	4.8	2.6

表127 生涯被誘惑経験者推計人数(人)

	有機溶剤								
	全体			男			女		
	生涯被誘惑者数	下限	上限	生涯被誘惑者数	下限	上限	生涯被誘惑者数	下限	上限
2003年	3,226,949	2,558,285	3,895,612	2,102,885	1,612,304	2,593,467	1,124,063	690,698	1,557,429
2005年	3,327,335	2,575,055	4,079,615	1,880,665	1,306,516	2,454,813	1,446,670	946,809	1,946,532
2007年	3,578,721	2,814,702	4,342,740	2,489,324	1,855,080	3,123,568	1,089,397	645,159	1,533,636
2009年	3,410,271	2,749,052	4,071,491	2,379,363	1,828,276	2,930,449	1,030,909	649,260	1,412,557
2011年	2,707,312	2,111,043	3,303,580	1,971,377	1,450,806	2,491,948	735,935	449,695	1,022,174
2013年	2,510,411	1,909,630	3,111,191	1,652,457	1,181,965	2,122,950	857,953	497,656	1,218,250
	大麻								
	全体			男			女		
	生涯被誘惑者数	下限	上限	生涯被誘惑者数	下限	上限	生涯被誘惑者数	下限	上限
2003年	1,625,669	1,110,178	2,141,161	844,844	509,544	1,180,144	780,825	376,074	1,185,577
2005年	2,469,019	1,821,518	3,116,520	1,567,729	1,044,808	2,090,649	901,290	473,796	1,328,784
2007年	2,160,162	1,562,619	2,757,704	1,407,150	904,006	1,910,294	753,012	407,905	1,098,118
2009年	2,683,957	2,033,104	3,334,810	1,795,410	1,286,427	2,304,392	888,547	548,116	1,228,978
2011年	1,907,924	1,361,705	2,454,144	1,254,092	820,903	1,687,281	653,832	357,972	949,693
2013年	2,671,872	1,625,383	3,718,361	2,014,082	1,006,378	3,021,787	657,790	338,947	976,633
	覚せい剤								
	全体			男			女		
	生涯被誘惑者数	下限	上限	生涯被誘惑者数	下限	上限	生涯被誘惑者数	下限	上限
2003年	1,036,408	630,743	1,442,074	461,636	225,078	698,195	574,772	224,185	925,358
2005年	1,078,081	588,153	1,568,008	503,991	223,707	784,275	574,090	253,558	894,622
2007年	1,203,439	753,289	1,653,590	861,915	488,901	1,234,930	341,524	109,808	573,240
2009年	1,171,001.0	734,182	1,607,821	602,661	321,784	883,538	568,340	244,158	892,523
2011年	830,029	505,108	1,154,950	526,470	249,257	803,683	303,558	125,956	481,161
2013年	928,581	549,479	1,307,682	582,003	271,613	892,393	346,578	118,935	574,220
	ヘロイン								
	全体			男			女		
	生涯被誘惑者数	下限	上限	生涯被誘惑者数	下限	上限	生涯被誘惑者数	下限	上限
2003年	250,292	46,103	454,481	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内
2005年	187,947	32,663	343,230	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内
2007年	245,514	24,782	466,245	203,468	35,570	371,367	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内
2009年	139,300	13,092	265,509	99,561	502	198,621	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内
2011年	148,309	26,256	270,363	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内	117,023	8,842	225,204
2013年	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内
	コカイン								
	全体			男			女		
	生涯被誘惑者数	下限	上限	生涯被誘惑者数	下限	上限	生涯被誘惑者数	下限	上限
2003年	343,025	101,546	584,504	227,511	47,742	407,280	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内
2005年	445,093	163,654	726,532	298,031	56,370	539,693	147,062	1,406	292,717
2007年	408,925	127,275	690,575	249,214	38,013	460,415	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内
2009年	425,567	138,889	712,245	171,807	21,630	321,984	253,760	39,906	467,614
2011年	228,319	79,568	377,070	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内	160,824	34,994	286,654
2013年	319,198	116,423	521,973	168,863	19,550	318,176	150,335	12,551	288,120
	MDMA								
	全体			男			女		
	生涯被誘惑者数	下限	上限	生涯被誘惑者数	下限	上限	生涯被誘惑者数	下限	上限
2003年	284,157	89,892	478,422	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内	156,659	10,259	303,058
2005年	199,470	21,993	376,947	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内
2007年	500,445	213,622	787,269	337,088	97,954	576,222	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内
2009年	571,689	269,053	874,324	169,461	18,247	320,676	402,227	165,065	639,390
2011年	226,187	73,289	379,086	120,739	10,157	231,320	105,449	7,335	203,563
2013年	421,940	161,430	682,449	246,878	61,407	432,350	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内
	上記いずれか								
	全体			男			女		
	生涯被誘惑者数	下限	上限	生涯被誘惑者数	下限	上限	生涯被誘惑者数	下限	上限
2003年	4,496,271	3,685,964	5,306,577	2,686,630	2,157,971	3,215,290	1,809,640	1,219,391	2,399,890
2005年	4,854,569	3,934,099	5,775,039	2,737,955	2,058,196	3,417,714	2,116,614	1,496,584	2,736,644
2007年	5,299,142	4,372,991	6,225,293	3,455,308	2,694,445	4,216,170	1,843,834	1,297,620	2,390,048
2009年	6,114,892	5,211,889	7,017,894	3,912,521	3,228,707	4,596,336	2,202,371	1,587,472	2,817,269
2011年	4,345,720	3,537,799	5,153,642	2,947,843	2,272,755	3,622,931	1,397,877	969,168	1,826,587
2013年	4,644,870	3,461,837	5,827,904	3,145,687	2,061,827	4,229,548	1,499,183	1,039,005	1,959,362
	有機溶剤を除いたいずれか								
	全体			男			女		
	生涯被誘惑者数	下限	上限	生涯被誘惑者数	下限	上限	生涯被誘惑者数	下限	上限
2003年	2,266,799	1,660,902	2,872,695	1,187,102	803,991	1,570,213	1,079,697	597,579	1,561,815

表128 全国の15歳以上の住民の違法薬物1年被誘惑率(%) (2013年調査では調べず)

	1995年	1997年	1999年	2001年	2003年	2005年	2007年	2009年	2011年
有機溶剤	0.16	0.09	0.04	0.03	0.04	0.06	0.07	0	0
大麻	0.25	0.26	0.12	0.3	0.12	0.15	0.20	0.12	0.10
覚せい剤	0.07	0	0.1	0.07	0.07	0	0.18	0.03	0
ヘロイン	0	0.13	0.03	0.03	0	0	0.03	0.03	0
コカイン	0.05	0.03	0.03	0.03	0	0	0.07	0	0
LSD	—	—	0.08	0.04	—	—	—	—	—
MDMA	—	—	—	—	0	0.06	0.13	0.03	0
上記いずれか	0.43	0.42	0.2	0.3	0.23	0.2	0.47	0.19	0.20
有機溶剤を除いたいずれか	0.32	0.36	0.16	0.3	0.19	0.2	0.40	0.19	0.10

表129 全国の15歳以上の住民の生涯経験率(%) (性別、年代別に地区ごとに補正)

	有機溶剤	大麻	覚せい剤	コカイン	ヘロイン	MDMA	脱法ドラッグ	いずれか	有機溶剤以外のいずれか	有機溶剤・脱法ドラッグ以外のいずれか
1995	1.7	0.5	0.3	統計誤差内	統計誤差内			2.2	0.8	
1997	1.9	0.6	0.3	統計誤差内	統計誤差内			2.5	0.8	
1999	1.7	1.0	0.4	0.2	統計誤差内			2.6	1.3	
2001	2.0	1.1	0.3	0.1	統計誤差内			2.7	1.3	
2003	1.5	0.5	0.4	0.1	統計誤差内	統計誤差内		2.0	0.8	
2005	1.3	1.2	0.3	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内		2.2	1.4	
2007	2.0	0.8	0.4	統計誤差内	統計誤差内	0.2		2.6	1.2	
2009	1.9	1.4	0.3	統計誤差内	統計誤差内	0.2		2.9	1.7	
2011	1.6	1.2	0.4	統計誤差内	統計誤差内	0.1		2.7	1.5	
2013	1.9	1.1	0.5	統計誤差内	統計誤差内	0.3	0.4	2.5	1.3	1.3

表130 全国の15歳以上の住民の生涯経験者数推計値(人)
(層化二段無作為抽出に基づく補正済み)

	有機溶剤			大麻			覚せい剤		
	生涯経験者数	下限	上限	生涯経験者数	下限	上限	生涯経験者数	下限	上限
2003	1,764,691	1,260,296	2,269,087	550,303	271,190	829,416	498,948	233,751	764,145
2005	1,560,170	1,047,149	2,073,191	1,416,593	892,019	1,941,167	315,282	20,842	609,722
2007	2,444,351	1,822,901	3,065,802	1,014,207	590,083	1,438,330	527,409	206,178	848,640
2009	1,798,329	1,299,177	2,297,482	1,363,965	909,827	1,818,102	323,006	122,634	523,378
2011	1,477,421	1,022,845	1,931,998	1,138,402	691,848	1,584,956	381,272	145,917	616,627
2013	1,825,431	1,279,188	2,371,675	1,073,212	667,074	1,479,350	519,721	236,800	802,642

	コカイン	ヘロイン	MDMA			脱法ドラッグ		
	生涯経験者	生涯経験者	生涯経験者	下限	上限	生涯経験者	下限	上限
2003	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内			
2005	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内	統計誤差内			
2007	統計誤差内	統計誤差内	232,984	24,111	441,857			
2009	統計誤差内	統計誤差内	207,868	35,795	379,942			
2011	統計誤差内	統計誤差内	140,042	18,831	261,252			
2013	統計誤差内	統計誤差内	260,762	45,744	475,780	399,773	168,771	630,774

	上記いずれか			有機溶剤以外のいずれか			有機溶剤・脱法ドラッグ以外のい		
	生涯経験者数	下限	上限	生涯経験者数	下限	上限	生涯経験者数	下限	上限
2003	2,373,965	1,769,084	2,978,845	957,607	540,964	1,374,249			
2005	2,663,656	1,929,692	3,397,619	1,699,592	1,104,595	2,294,590			
2007	3,086,607	2,400,434	3,772,780	1,462,326	953,452	1,971,199			
2009	2,768,501	2,127,456	3,409,546	1,637,934	1,128,141	2,147,727			
2011	2,510,211	1,896,082	3,124,340	1,386,459	903,104	1,869,813			
2013	2,489,112	1,830,464	3,147,760	1,308,259	845,581	1,770,937	1,279,528	820,319	1,738,736

表131 全国の15歳以上の住民の違法薬物1年経験率(%) 未補正值(そもそも、統計誤差)

	1995年	1997年	1999年	2001年	2003年	2005年	2007年	2009年	2011年	2013年
有機溶剤	0.08	0.02	0.04	0	0.07	0	0	0	0	0
大麻	0.07	0.1	0.04	0.11	0	0.04	0.04	0.03	0.1	0
覚せい剤	0.06	0.06	0.07	0	0	0	0	0	0	0
ヘロイン	0	0.02	0.03	0	0	0	0	0	0	0
コカイン	0.06	0.02	0.03	0.03	0	0	0	0	0	0
LSD	—	—	0.04	0.01	—	—	—	—	—	—
MDMA	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0
脱法ドラッグ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1
上記いずれか	0.16	0.14	0.13	0.16	0.07	0.04	0.04	0.03	0.1	0.1
有機溶剤を除いたいずれか	0.09	0.14	0.12	0.16	0	0.04	0.04	0.03	0.1	0.1
有機溶剤・脱法ドラッグを除いたいずれか	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0

第10回 飲酒・喫煙・くすりの使用についてのアンケート調査

ご記入に際してのお願い

- 1) ご記入は、エンピツ、または黒・青のボールペンでお願いします。
- 2) 回答は、あなたの気持ち・考え・実情に最も近いものの番号を○印で囲んで下さい。
必要に応じて、() 内にご記入下さい。

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部

【あなたご自身について、おたずねします。】

問1 性別を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 年齢は何歳(満)ですか?()内にご記入ください。

() 歳

問3 (中退も含めて)最後に出られた学校は、次のどれにあたりますか?

(○は1つ) (在学中の方は、現在の学校を選んで下さい)

- | | |
|------------------------|------------|
| 1. 小学校 | 5. 高等学校 |
| 2. 中学校 | 6. 短大・大学以上 |
| 3. 専門学校(中卒後) | 7. その他 |
| 4. 専門学校(高校中退後、ないしは高卒後) | |

問4 あなたは、現在、学生・専業主婦・パートタイム・アルバイトなどを含めて、以下のどれに該当しますか?(○は1つ) (学生で、働いている方は、学生の中から自分に該当するものを選んで下さい。)

学生

1. 中学生
2. 高校生
3. 予備校生(含: 自宅浪人生)
4. 専門学校・各種学校生徒
5. 短大生・大学生・大学院生

自営業種、家族従業員

10. 農林漁業の営業者
11. 商店主(小売業・卸売店の店主など)
12. 工場主(製造工場・自動車整備工場・印刷工場主など)
13. 土木建設業種(工務店主など)
14. 医療関係業種(病院経営、薬局・薬店主など)
15. サービス業事業主(旅館主、喫茶店主、理・美容店主、クリーニング店主、運送店主など)
16. その他の事業主(弁護士・会計士事務所経営、宗教家、プロスポーツ選手など)

勤め人

17. 販売従業者(販売店員、外交員、行商人、セールスマンなど)
18. 保安従業者(警察官、消防士・自衛官、守衛・管理人・ガードマンなど)
19. 運輸従業者(運転手、機関士・車掌など)
20. 通信従事者(電話交換手、通信士など)
21. サービス業従事者(ウエイター、ホステス、家政婦、ガイドなど)
22. 技能職従事者(理容師、美容師、調理師など)
23. 土木建築業従事者(大工、とび職、土工、左官、配管工、その他建設作業員など)

24. 工場労働者、工業作業者（洋服仕立て工、印刷工、板金工、自動車修理工、旋盤工、メッキ工など）
25. その他の労務従事者（採鉱員、荷役作業員、清掃員など）
26. 専務従事者（事務系会社員、事務系公務員、タイピスト、記者など）
27. 管理的職業（課長以上の公務員、民間会社の部長以上など）
28. 医療職従事者（医師、看護師、薬剤師など）
29. その他の専門・技術職従事者（技術者、弁護士、教師、研究者など）
30. 専業主婦・専業主夫
31. 無 職
32. その他（具体的に： _____）

【あなたの飲酒習慣について、おたずねします。】

問5 これまでに、一回でも飲酒したことがありますか？

（ない方は「1.」を、ある方は、飲酒したことのある機会すべてに○をして下さい。）

※この調査で言う飲酒には、梅酒など、アルコールが入ったものすべてを含みます。
また、「飲む」とは、「なめる」「口をつける」も含めます。

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 一度も飲酒したことがない | 7. 家での食事や団らんで |
| 2. 冠婚葬祭時（正月や各種儀式も含める） | 8. 外での家族との食事や団らんで |
| 3. 仕事や商売上の必要で | 10. 仕事や職場でいやなことがあったとき |
| 4. 上司とのつきあいで | 11. 家の中でおもしろくないことがあったとき |
| 5. 友人・同僚とのつきあいで | 12. 寝る前に |
| 6. その他のつきあいで | 13. その他(具体的に: _____) |

問6 あなたが、「いたずら」を含めて、初めてアルコールを口にしたのはいつ頃ですか？
（○は1つ）

- | | | |
|----------------------|------------|----------|
| 1. これまでに一度も飲酒したことがない | 4. 中学校時代 | 7. 20歳以降 |
| 2. 小学校以前 | 5. 中卒後～17歳 | |
| 3. 小学校時代 | 6. 18歳～19歳 | |

問7 あなたが、それなりに飲酒をするようになったのはいつ頃からですか？（○は1つ）

※「それなりに飲酒をする」とは、一回の飲酒の量にかかわらず、「月に1回以上、飲酒すること」を指します。

- | | | |
|--------------------------|----------|------------|
| 1. これまでに一度も飲酒したことがない | 4. 小学校時代 | 6. 中卒後～17歳 |
| 2. それなりに飲酒するまでには至ったことがない | | 7. 18歳～19歳 |
| 3. 小学校以前 | 5. 中学校時代 | 8. 20歳以降 |

問8 この一年間に、一回でも飲酒したことがありますか？

（ない方は「1.」を、ある方は、飲酒したことのある機会すべてに○をして下さい。）

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 一度も飲酒したことがない | 7. 家での食事や団らんで |
| 2. 冠婚葬祭時 | 8. 外での家族との食事や団らんで |
| 3. 仕事や商売上の必要で | 10. 仕事や職場でいやなことがあったとき |
| 4. 上司とのつきあいで | 11. 家の中でおもしろくないことがあったとき |
| 5. 友人・同僚とのつきあいで | 12. 寝る前に |
| 6. その他のつきあいで | 13. その他(具体的に: _____) |

問9 この一年間の飲酒頻度は、以下のどれに該当しますか？ (○は1つ)

1. この1年間で、一度も飲んでいない
2. この1年間で、数回飲んだ (年間5回以内)
3. 2ヶ月に1回程度、飲んだ (年間約6～11回)
4. 月に1～2回程度、飲んだ (年間約12～24回)
5. 月に数回程度、飲んだ (年間約25～51回)
6. 週に1～2回程度、飲んでいる
7. 週に3～6回程度、飲んでいる
8. ほとんど毎日、飲んでいる

問10 現在のあなたは、禁酒に関してどれに該当しますか？ (○は1つ)

1. これまでに一度も飲酒したことがない または 禁酒を考えたことがない
2. 禁酒を考えたことはあるが、実行したことがない
3. 禁酒を試みたが、現在、禁酒に至っていない
4. 禁酒し、今も禁酒しているが、未だ1年は経っていない (初めての禁酒挑戦)
5. 禁酒し、今も禁酒しているが、未だ1年は経っていない (禁酒への再挑戦中)
6. 禁酒し、既に1年以上禁酒を続けている

問11 禁酒しようかと考えた大きな理由は何ですか？ (○はいくつでもけっこうです)
(禁酒を考えたことがない方や、飲酒経験のない方は1. に○をしてください。)

1. 禁酒を考えたことがない または 飲酒経験がない
2. 健康上の不調を感じたことはないが、その可能性が心配になったから
3. 健康上の不調を感じたから
4. 問題(対人関係、社会生活上)を起こしたことはないが、自分の飲酒にその可能性を感じたから
5. 飲酒で問題(対人関係、社会生活上)を起こしたから
6. その他(具体的に:)

【あなたの喫煙習慣について、おたずねします。】

問12 これまでに、一回でも (いたずらを含めて)、喫煙したことがありますか？ (○は1つ)

1. ない
2. ある

問13 あなたが、「いたずら」を含めて、初めてたばこを吸ったのはいつ頃ですか？
(○は1つ)

1. これまでに一度も喫煙したことがない
2. 小学校以前
3. 小学校時代
4. 中学校時代
5. 中卒後～17歳
6. 18歳～19歳
7. 20歳以降

問14 あなたが、それなりに喫煙するようになったのはいつ頃からですか？ (○は1つ)

※「それなりに喫煙をする」とは、1回の喫煙の量にかかわらず、「週1回以上、喫煙すること」を指します。

1. これまでに一度も喫煙したことがない
2. それなりに喫煙するまでには至ったことがない
3. 小学校以前
4. 小学校時代
5. 中学校時代
6. 中卒後～17歳
7. 18歳～19歳
8. 20歳以降

問15 この一年間の喫煙頻度は、以下のどれに該当しますか？（○は1つ）

1. この1年間で、一回も喫煙していない
2. この1年間で、数回喫煙した（年間5回以内）
3. 2ヶ月に1回程度、喫煙した（年間約6～11回）
4. 月に1～2回程度、喫煙した（年間約12～24回）
5. 月に数回程度、喫煙した（年間約25～51回）
6. 週に1～2回程度、喫煙している
7. 週に3～6回程度、喫煙している
8. ほとんど毎日、喫煙している（1日に1～10本）
10. ほとんど毎日、喫煙している（1日に11～20本）
11. ほとんど毎日、喫煙している（1日に21本以上）
12. ほとんど毎日、喫煙している（パイプたばこ）

問16 現在のあなたは、禁煙に関してどれに該当しますか？（○は1つ）

1. これまでに一度も喫煙したことがない または 禁煙を考えたことがない
2. 禁煙を考えたことはあるが、実行したことがない
3. 禁煙を試みたが、現在、禁煙に至っていない
4. 禁煙し、今も禁煙しているが、未だ1年は経っていない（初めての禁煙挑戦）
5. 禁煙し、今も禁煙しているが、未だ1年は経っていない（禁煙への再挑戦中）
6. 禁煙し、既に1年以上禁煙を続けている

問17 禁煙しようかと考えた大きな理由は何ですか？（○はいくつでもけっこうです）
（禁煙を考えたことがない方や、喫煙経験のない方は1.に○をしてください。）

1. 禁煙を考えたことがない または 喫煙経験がない
2. 健康上の不調を感じたことはないが、その可能性が心配になったから
3. 健康上の不調を感じたから
4. 人から禁煙を勧められたわけではないが、喫煙者は「白い目」で見られるようになってきたから
5. 人から禁煙を勧められたから
6. 家族や他者の健康への影響を考えて
8. 吸える場所が少なくなってきたから
7. その他（具体的に：_____）

【鎮痛薬、精神安定薬（抗不安薬）、睡眠薬についておたずねします。】

問18 あなたの家庭に常備している薬に○をつけて下さい。（○はいくつでもけっこうです）

- | | | | |
|----------|-----------|----------|--------------|
| 1. 特にない | 6. 糖尿病薬 | 12. 鎮痛薬 | 17. セットの置き薬 |
| 2. 風邪薬 | 7. 精神安定薬 | 13. 抗生物質 | 18. その他 |
| 3. 胃腸薬 | 8. 湿布薬 | 14. 便秘薬 | （具体的に：_____） |
| 4. ビタミン剤 | 10. 強精強肝薬 | 15. 目薬 | |
| 5. 高血圧薬 | 11. 睡眠薬 | 16. 鼻炎薬 | |

問19 次の薬のうち、この一年間に一回でも使ったことのある薬があったら、○をつけて下さい。（○はいくつでもけっこうです）（この調査での「薬」には、医療機関からの薬も市販薬も含まれます）

- | | | | |
|----------|----------|----------|--------------|
| 1. 特にない | 5. 高血圧薬 | 10. 抗生物質 | 13. 鼻炎薬 |
| 2. 風邪薬 | 6. 糖尿病薬 | 11. 便秘薬 | 14. セットの置き薬 |
| 3. 胃腸薬 | 7. 湿布薬 | 12. 目薬 | 15. その他 |
| 4. ビタミン剤 | 8. 強精強肝薬 | | （具体的に：_____） |

問20 あなたは、この一年間で、平均すると鎮痛薬（頭痛薬、歯痛止め、生理痛止め、も含まれます）をどのくらいの頻度で使用しましたか？（○は1つ）

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1. 一度も飲んでいない | 5. 月に数回程度、飲んだ（年間約25～51回） |
| 2. この1年間で、数回飲んだ（年間5回以内） | 6. 週に1～2回程度、飲んでいる |
| 3. 2ヶ月に1回程度、飲んだ（年間約6～11回） | 7. 週に3～6回程度、飲んでいる |
| 4. 月に1～2回程度、飲んだ（年間約12～24回） | 8. ほとんど毎日、飲んでいる |

問21 この一年間で、鎮痛薬は、どこから入手しましたか？（○はいくつでもけっこうです）

- | | | |
|------------|------------|--------------|
| 1. 入手していない | 4. 医院・病院から | 7. 愛人・恋人から |
| 2. 常備薬から | 5. 薬局・薬店から | 8. その他 |
| 3. 家族から | 6. 友人・知人から | （具体的に：_____） |

問22 鎮痛薬の、この一年間での使用理由は、以下のどれですか？

（○はいくつでもけっこうです）

- | | | |
|-----------|--------------|---------------|
| 1. 使っていない | 5. 生理痛 | 10. 遊び（快感）目的で |
| 2. 頭痛 | 6. 胃痛 | 11. その他 |
| 3. 歯痛 | 7. 肩こり | （具体的に：_____） |
| 4. 腰痛 | 8. その他の痛みのため | |

問23 鎮痛薬の中には、依存（やめようと思っても、簡単にはやめられなくなる状態）を作り得るものもありますが、そのような鎮痛薬も含めて、鎮痛薬の使用についての、あなたの実情・心情は次のどれに該当しますか？（○は1つ）

- | |
|------------------------------|
| 1. 使う必要がないので、考えたことがない |
| 2. 必要な時には、心配せずに、使う |
| 3. 必要な時には、心配もあるが、どちらかというを使う |
| 4. 必要な時でも、心配だから、どちらかというを使わない |
| 5. 必要な時でも、心配だから、とにかく使わない |

問24 あなたは、この一年間で、平均すると精神安定薬（抗不安薬）をどのくらいの頻度で使用しましたか？（○は1つ）

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1. 一度も飲んでいない | 5. 月に数回程度、飲んだ（年間約25～51回） |
| 2. この1年間で、数回飲んだ（年間5回以内） | 6. 週に1～2回程度、飲んでいる |
| 3. 2ヶ月に1回程度、飲んだ（年間約6～11回） | 7. 週に3～6回程度、飲んでいる |
| 4. 月に1～2回程度、飲んだ（年間約12～24回） | 8. ほとんど毎日、飲んでいる |

問25 この一年間に、精神安定薬（抗不安薬）は、どこから入手しましたか？

（○はいくつでもけっこうです）

- | | | |
|------------|------------|--------------|
| 1. 入手していない | 4. 医院・病院から | 7. 愛人・恋人から |
| 2. 常備薬から | 5. 薬局・薬店から | 8. その他 |
| 3. 家族から | 6. 友人・知人から | （具体的に：_____） |

問26 精神安定薬（抗不安薬）の、この一年間での使用理由は以下のどれですか？

（○はいくつでもけっこうです）

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1. 使っていない | 4. ストレス軽減のため | 7. その他 |
| 2. 不眠改善のため | 5. 高血圧の治療のため | （具体的に：_____） |
| 3. 不安解消のため | 6. 遊び（快感）目的で | |

問27 精神安定薬（抗不安薬）の中には、依存を作り得るものもありますが、そのような精神安定薬（抗不安薬）も含めて、精神安定薬（抗不安薬）の使用についての、あなたの実情・心情は、次のどれに該当しますか？（○は1つ）

- | |
|------------------------------|
| 1. 使う必要がないので、考えたことがない |
| 2. 必要な時には、心配せずに、使う |
| 3. 必要な時には、心配もあるが、どちらかというを使う |
| 4. 必要な時でも、心配だから、どちらかというと使わない |
| 5. 必要な時でも、心配だから、とにかく使わない |

問28 あなたは、この一年間で、平均すると睡眠薬をどのくらいの頻度で使用しましたか？（○は1つ）

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1. 一度も飲んでいない | 5. 月に数回程度、飲んだ（年間約25～51回） |
| 2. この1年間で、数回飲んだ（年間5回以内） | 6. 週に1～2回程度、飲んでいる |
| 3. 2ヶ月に1回程度、飲んだ（年間約6～11回） | 7. 週に3～6回程度、飲んでいる |
| 4. 月に1～2回程度、飲んだ（年間約12～24回） | 8. ほとんど毎日、飲んでいる |

問29 この一年間に、睡眠薬はどこから入手しましたか？（○はいくつでもけっこうです）

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 入手していない | 4. 医院・病院から | 7. 愛人・恋人から |
| 2. 常備薬から | 5. 薬局・薬店から | 8. その他 |
| 3. 家族から | 6. 友人・知人から | （具体的に： ） |

問30 睡眠薬の、この一年間での使用理由は以下のどれですか？（○はいくつでもけっこうです）

- | | | |
|------------|--------------|----------|
| 1. 使っていない | 4. ストレス軽減のため | 7. その他 |
| 2. 不眠改善のため | 5. 高血圧の治療のため | （具体的に： ） |
| 3. 不安解消のため | 6. 遊び（快感）目的で | |

問31 睡眠薬の中には、依存を作り得るものもありますが、そのような睡眠薬も含めて、睡眠薬の使用についての、あなたの実情・心情は、次のどれに該当しますか？（○は1つ）

- | |
|------------------------------|
| 1. 使う必要がないので、考えたことがない |
| 2. 必要な時には、心配せずに、使う |
| 3. 必要な時には、心配もあるが、どちらかというを使う |
| 4. 必要な時でも、心配だから、どちらかというと使わない |
| 5. 必要な時でも、心配だから、とにかく使わない |

【薬物乱用・依存についておたずねします。】

問32 以下の薬物は、すべて依存（止めようと思っても簡単には止められない状態）を作り得る薬物です。あなたが聞いたことのある薬物があったら、○をつけて下さい。

(○はいくつでもけっこうです)

1. 大麻	7. LSD	13. スピード	19. コカイン
2. モルヒネ	8. 有機溶剤	14. 麻薬	20. クラック
3. マリファナ	10. アシッド	15. ヒロポン	21. 覚せい剤
4. トルエン	11. シンナー	16. ヘロイン	22. エクスタシー
5. ハシッシ	12. エス	17. MDMA	23. シャブ
6. マジック・マッシュルーム		18. エックス	24. すべて知らない

問33 薬物乱用を繰り返すと、依存状態になることを知っていますか？ (○は1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問34 「シンナー遊び」(有機溶剤の乱用。以下、同じ。)で死亡すること(急性中毒死)があるのを知っていますか？ (○は1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問35 「シンナー遊び」を繰り返すと、何も無いのに物が見えたり(幻視)、実際には何も聞こえないのに、声が聞こえたり(幻聴)、誰も何とも思っていないのに、人が自分の事を非難していると思ひ込んだり(妄想)する状態(精神病状態)になることがあるのを知っていますか？ (○は1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問36 「シンナー遊び」の結果、幻視、幻聴、妄想が出るようになってしまうと、それを治療して治っても、その後、疲れ・ストレス・飲酒などで、幻視、幻聴、妄想が再び出現すること(フラッシュバック)があるのを知っていますか？ (○は1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問37 「シンナー遊び」を繰り返すと、何事にも関心が持てなくなり、結果的に学校を欠席しがちになったり、どんな仕事に就いても、長続きしなくなる(無動機症候群)を知っていますか？ (○は1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問38 あなたは、国内で、自分の身近にいた、あるいは、身近にいる人の中で、この一年間に「シンナー遊び」を一回でも行ったことのある人を、何人知っていますか？

(身近でなくても、実際に目撃した場合は人数に含めてください。2. 「いる」を選んだ場合は、()内に、その人数をお書き下さい。数人とか多数とかは書かないでください。)

1. いない (知らない)	2. いる → () 人
---------------	---------------

問39 あなたは、これまでに、「シンナー遊び」に一回でも誘われたことがありますか？

(○は1. の場合は1つ、それ以外の場合には、1つまたは2つ)

1. ない	2. この1年間より前にあった	3. この1年間にあった
-------	-----------------	--------------

問40 あなたは、これまでに一回でも、「シンナー遊び」を経験したことがありますか？
(○は1.の場合は1つ、それ以外の場合には、1つまたは2つ)

1. ない 2. この1年間より前にあった 3. この1年間にあった

問41 あなたは、大麻を吸っている人の数について、どのような印象をお持ちですか？
(○は1つ) (マリファナ、ハシッシもすべて大麻です)

1. 以前より増えている 2. 変わらない 3. 以前より減っている 4. わからない

問42 あなたは大麻を吸うと、問35～問37と同じ^{せいしんびょうじょうたい}精神病状態、フラッシュバック、
^{むじつきしょうこうぐん}無動機症候群になることがあるのを知っていますか？ (○は1つ)

1. 知っている 2. 知らない

問43 あなたは、国内で、自分の身近にいた、あるいは、身近にいる人の中で、この一年間
に大麻を一回でも使ったことのある人を、何人知っていますか？
(身近でなくても、実際に目撃した場合は人数に含めてください。2. 「いる」を選んだ場
合は、()内に、その人数をお書き下さい。数人とか多数とかは書かないでください。)

1. いない (知らない) 2. いる → () 人

問44 あなたは、これまでに、大麻使用に一回でも誘われたことがありますか？
(○は1.の場合は1つ、それ以外の場合には、1つまたは2つ)

1. ない 2. この1年間より前にあった 3. この1年間にあった

問45 あなたは、これまでに一回でも、大麻を吸ったことがありますか？
(○は1.の場合は1つ、それ以外の場合には、1つまたは2つ)

1. ない 2. この1年間より前にあった 3. この1年間にあった

問46 あなたは、覚せい剤を使っている人の数について、どのような印象をお持ちですか？
(○は1つ) (ヒロポン、シャブ、エス、スピードも覚せい剤です)

1. 以前より増えている 2. 変わらない 3. 以前より減っている 4. わからない

問47 覚せい剤を使うと、質問35と同じ精神病状態になりやすく、また質問36のようなフラ
ッシュバックがあることを知っていますか？ (○は1つ)

1. 知っている 2. 知らない

問48 あなたは、国内で、自分の身近にいた、あるいは、身近にいる人の中で、この一年間
に覚せい剤を一回でも使ったことのある人を、何人知っていますか？
(身近でなくても、実際に目撃した場合は人数に含めてください。2. 「いる」を選んだ場
合は、()内に、その人数をお書き下さい。数人とか多数とかは書かないでください。)

1. いない (知らない) 2. いる → () 人

問49 あなたは、これまでに、覚せい剤使用に一回でも誘われたことがありますか？
(○は1.の場合は1つ、それ以外の場合には、1つまたは2つ)

1. ない 2. この1年間より前にあった 3. この1年間にあった

問50 あなたは、これまでに一回でも、覚せい剤を使用したことがありますか？

(○は1.の場合は1つ、それ以外の場合には、1つまたは2つ)

1. ない 2. この1年間より前にあった 3. この1年間にあった

問51 あなたは、ヘロインを使用している人の数について、どのような印象をお持ちですか？
(○は1つ)

1. 以前より増えている 2. 変わらない 3. 以前より減っている 4. わからない

問52 あなたは、国内で、自分の身近にいた、あるいは、身近にいる人の中で、この一年間にヘロインを一回でも使ったことのある人を、何人知っていますか？

(身近でなくても、実際に目撃した場合は人数に含めてください。2. 「いる」を選んだ場合は、()内に、その人数をお書き下さい。数人とか多数とかは書かないでください。)

1. いない (知らない) 2. いる → () 人

問53 あなたは、これまでに、ヘロイン使用に一回でも誘われたことがありますか？

(○は1.の場合は1つ、それ以外の場合には、1つまたは2つ)

1. ない 2. この1年間より前にあった 3. この1年間にあった

問54 あなたは、これまでに一回でも、ヘロインを使用したことがありますか？

(○は1.の場合は1つ、それ以外の場合には、1つまたは2つ)

1. ない 2. この1年間より前にあった 3. この1年間にあった

問55 あなたは、コカインを使用している人の数について、どのような印象をお持ちですか？
(○は1つ) (クラックもコカインです)

1. 以前より増えている 2. 変わらない 3. 以前より減っている 4. わからない

問56 あなたは、国内で、自分の身近にいた、あるいは、身近にいる人の中で、この一年間にコカインを一回でも使ったことのある人を、何人知っていますか？

(身近でなくても、実際に目撃した場合は人数に含めてください。2. 「いる」を選んだ場合は、()内に、その人数をお書き下さい。数人とか多数とかは書かないでください。)

1. いない (知らない) 2. いる → () 人

問57 あなたは、これまでに、コカイン使用に一回でも誘われたことがありますか？

(○は1.の場合は1つ、それ以外の場合には、1つまたは2つ)

1. ない 2. この1年間より前にあった 3. この1年間にあった

問58 あなたは、これまでに一回でも、コカインを使用したことがありますか？

(○は1.の場合は1つ、それ以外の場合には、1つまたは2つ)

1. ない 2. この1年間より前にあった 3. この1年間にあった

問59 あなたは、MDMAを使用している人の数について、どのような印象をお持ちですか？
(エクスタシー、エックスもMDMAです) (○は1つ)

1. 以前より増えている 2. 変わらない 3. 以前より減っている 4. わからない

問60 あなたは、国内で、自分の身近にいた、あるいは、身近にいる人の中で、この一年間にMDMAを一回でも使ったことのある人を、何人知っていますか？

(身近でなくても、実際に目撃した場合は人数に含めてください。2. 「いる」を選んだ場合は、()内に、その人数をお書き下さい。数人とか多数とかは書かないでください。)

1. いない (知らない) 2. いる → () 人

問61 あなたは、これまでに、MDMA使用に一回でも誘われたことがありますか？

(○は1. の場合は1つ、それ以外の場合には、1つまたは2つ)

1. ない 2. この1年間より前にあった 3. この1年間にあった

問62 あなたは、これまでに一回でも、MDMAを使ったことがありますか？

(○は1. の場合は1つ、それ以外の場合には、1つまたは2つ)

1. ない 2. この1年間より前にあった 3. この1年間にあった

問63 あなたが「シンナー遊び」のためにシンナーなどの有機溶剤を手に入れようとした場合、それはどの程度むずかしいことですか？ (○は1つ)

1. 絶対不可能だ 3. 少々苦勞するが、なんとか手に入る
2. ほとんど不可能だ 4. 簡単に手に入る

問64 あなたが大麻を手に入れようとした場合、それはどの程度むずかしいですか？ (○は1つ)

1. 絶対不可能だ 3. 少々苦勞するが、なんとか手に入る
2. ほとんど不可能だ 4. 簡単に手に入る

問65 あなたが覚せい剤を手に入れようとした場合、それはどの程度むずかしいですか？ (○は1つ)

1. 絶対不可能だ 3. 少々苦勞するが、なんとか手に入る
2. ほとんど不可能だ 4. 簡単に手に入る

問66 あなたがヘロインを手に入れようとした場合、それはどの程度むずかしいですか？ (○は1つ)

1. 絶対不可能だ 3. 少々苦勞するが、なんとか手に入る
2. ほとんど不可能だ 4. 簡単に手に入る

問67 あなたがコカインを手に入れようとした場合、それはどの程度むずかしいですか？ (○は1つ)

1. 絶対不可能だ 3. 少々苦勞するが、なんとか手に入る
2. ほとんど不可能だ 4. 簡単に手に入る

問68 あなたがMDMAを手に入れようとした場合、それはどの程度むずかしいですか？ (○は1つ)

1. 絶対不可能だ 3. 少々苦勞するが、なんとか手に入る
2. ほとんど不可能だ 4. 簡単に手に入る

問69 大麻を吸うことは法律で禁止されていますが、あなたは大麻を吸うことについて、どう思いますか？（○は1つ）

1. 法律で云々言う以前に、そもそも、すべきではないと思う
2. 法律で禁止されているから、すべきではないと思う
3. 法律で禁止されてはいるが、少々ならかまわないと思う
4. 法律で禁止されてはいるが、そもそも法律で決める必要はなく、個人の判断だと思う
5. 大麻による害を知らないから、判断できない

問70 覚せい剤を使用することは法律で禁止されていますが、あなたは覚せい剤を使用することを、どう思いますか？（○は1つ）

1. 法律で云々言う以前に、そもそも、すべきではないと思う
2. 法律で禁止されているから、すべきではないと思う
3. 法律で禁止されてはいるが、少々ならかまわないと思う
4. 法律で禁止されてはいるが、そもそも法律で決める必要はなく、個人の判断だと思う
5. 覚せい剤による害を知らないから、判断できない

問71 「脱法ドラッグ」とは、大麻や覚せい剤に似た作用があるにも関わらず、法律で禁止されていないことを利用して、法の網をかいくぐるかのように売られている薬物です。しかし、一回使っただけで、呼吸ができなくなったり、体が動かなくなったり、意識がなくなったり、精神的に不安定になる可能性のある非常に危険な薬物であることを知っていますか？（○は1つ）

1. 知らなかった
2. 知っていた

問72 あなたは、国内で、自分の身近にいた、あるいは、身近にいる人の中で、この一年間に「脱法ドラッグ」を一回でも使ったことのある人を、何人知っていますか？
(身近でなくても、実際に目撃した場合は人数に含めてください。2. 「いる」を選んだ場合は、()内に、その人数をお書き下さい。数人とか多数とかは書かないでください。)

1. いない (知らない)
2. いる → () 人

問73 あなたは、これまでに一回でも、「脱法ドラッグ」を使ったことがありますか？
(○は、1. の場合は1つ、それ以外の場合には、1つまたは2つ)

1. ない
2. この1年間より前にあった
3. この1年間にあった

問74 これまでに一回でも使ったことのある「脱法ドラッグ」の形状は、以下のどれでしたか？(使ったことのない人は、1. に○をしてください。使ったことのある人は、該当するものすべてに○をしてください)

1. 使ったことがない
2. ハーブ (植物片) 系
3. リキッド (液体) 系
4. パウダー (粉) 系
5. その他 ()

問75 この1年間に一回でも使ったことのある「脱法ドラッグ」の形状は、以下のどれでしたか？(使ったことのない人は、1.に○をしてください。使ったことのある人は、該当するものすべてに○をしてください)

- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 使ったことがない | 2. ハーブ(植物片)系 | 3. リキッド(液体)系 |
| 4. パウダー(粉)系 | 5. その他() | |

問76 これまでに「脱法ドラッグ」を使うことによって、具合が悪くなり、病院を受診したことが、一回でもありますか。(使ったことのない人は、1.に○をしてください。使ったことのある人は、1.以外、該当するものすべてに○をしてください)

- | | | |
|------------------|------------|--------------|
| 1. 使ったことがない | 2. 病院受診はない | 3. 救急車で搬送された |
| 4. 内科を受診した | 5. 外科を受診した | 6. 精神科を受診した |
| 7. その他の科を受診した() | | |

問77 薬物に関わりなく、あなたが、この一年間に受診したことがある診療科に○をして下さい。(○はいくつでもけっこうです)

- | | | | |
|---------------|----------|----------|-----------|
| 1. どれも受診していない | 5. 外科 | 10. 泌尿器科 | 14. 耳鼻咽喉科 |
| 2. 内科 | 6. 整形外科 | 11. 産婦人科 | 15. 心療内科 |
| 3. 神経科・精神科 | 7. 皮膚科 | 12. 眼科 | 16. その他 |
| 4. 神経内科 | 8. 脳神経外科 | 13. 歯科 | (具体的に:) |

問78 あなたが、これまでに、何らかの薬物(医薬品も含めて)の使用が原因で受診したことがある診療科に○をして下さい。(○はいくつでもけっこうです)

- | | | | |
|---------------|----------|----------|-----------|
| 1. どれも受診していない | 5. 外科 | 10. 泌尿器科 | 14. 耳鼻咽喉科 |
| 2. 内科 | 6. 整形外科 | 11. 産婦人科 | 15. 心療内科 |
| 3. 神経科・精神科 | 7. 皮膚科 | 12. 眼科 | 16. その他 |
| 4. 神経内科 | 8. 脳神経外科 | 13. 歯科 | (具体的に:) |

ご協力ありがとうございました。

なお、この調査についての結果は、来年の7月頃に公表します。

結果をお知りになりたい方は、ハガキにあなた様の住所、氏名をご記入になり、下記の「結果請求用紙」を点線に沿って切り取り、ハガキに貼付の上、2013年11月末日までに、下記住所(点線に沿って切り取り、ハガキに添付して下さい)までご請求下さい。来年の7月頃に郵送させていただきます。(結果は、調査対象全員について、統計的にまとめられたものであり、個人について論じたものではありません。ただし、郵送の必要上、あなた様が本調査の対象の一人であったことが、当研究部にはわかりますが、当研究部では、あなた様ご自身の記載内容を特定することはできませんし、あなた様が本調査の対象の一人であったことを漏らすことは、一切ありません。)

注：下記を切り取る際は、裏面の回答部分の番号が切り取られないよう、点線に沿ってお切り下さい。

結果請求用紙 結果請求先
 住民調査13の 千187-8553 東京都小平市小川東町4-1-1
 結果を 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
 請求します 薬物依存研究部 住民調査 担当者 宛

第9版-2013